

Ⅱ アクティブシニアへの学びのニーズ及びメニューについての調査

1. 大都市圏のアクティブシニアを対象とした学びのニーズ調査

(1) 調査方法

1) 調査手法および対象者

大都市圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）に在住する、地方移住に関心のある 50 代、60 代男女を対象に、平成 28 年 10 月にインターネット調査を実施した。

対象者については、「居住地」「年齢」「移住の意向や予定」の各項目につき下記のとおり選定要件を設定の上、スクリーニング調査を実施し、いずれにも該当する回答者を本調査の対象として選定したものである。

【居住地】

東京都、神奈川県（川崎市・横浜市）、千葉県（千葉市、柏市、市川市、浦安市、船橋市）、埼玉県（さいたま市、所沢市、川口市）、大阪府、京都府（京都市）、兵庫県（神戸市、姫路市）、愛知県（名古屋市）、三重県（四日市市、津市（※1））

【年齢】

50 歳から 69 歳

【移住の意向や予定】

移住・二地域居住について「予定・検討している人」、および「具体的に決定している人」、「興味関心のある人」（※2）

※1 本調査にて三重県在住者から対象予定件数が出現しなかったため、途中より津市を追加した。

※2 本来、移住・二地域居住について「予定・検討している人」のみを対象とする予定であったが、一部の地域で回収予定数を満たせなかったため、途中から「興味関心のある人」、「具体的に決定している人」も対象とした。（該当回答数は 196 件（回収全体の 19.4%））

2) 調査目的

移住全体に関する意向や十勝地域へのイメージ、「学び」のメニューへのニーズを把握するため。

3) 回収数

合計 1,013 件（内訳：50 代男性 255 件、50 代女性 255 件、60 代男性 255 件、60 代女性 248 件）（対象出現率 3.8%（※3））

【回答者割付】

都府県	市区	性別	年代	回収数	都府県	市区	性別	年代	回収数
東京	全域	男性	50 代	75	京都	京都	男性	50 代	15
			60 代	75				60 代	15
		女性	50 代	75			女性	50 代	15
			60 代	75				60 代	15
神奈川	横浜 川崎	男性	50 代	50	兵庫	神戸 姫路	男性	50 代	15
			60 代	50				60 代	15
		女性	50 代	50			女性	50 代	15
			60 代	50				60 代	15

千葉	千葉市川	男性	50代	25	愛知	名古屋	男性	50代	15
			60代	25			女性	60代	15
	女性	50代	25	女性			50代	15	
		60代	25	女性			60代	15	
埼玉	さいたま所沢	男性	50代	25	三重	四日市津	男性	50代	10
			60代	25			女性	60代	10
	女性	50代	25	女性			50代	10	
		60代	25	女性			60代	3	
大阪	全域	男性	50代	25					
			60代	25					
		女性	50代	25					
			60代	25					

※3 対象者の選定にあたっては、事前にスクリーニング調査を実施しており、本調査の対象者（回答者）数1,013を、スクリーニング調査の参加者26,627で除した割合を対象出現率として記載したものの。

4) 調査項目

本調査にて実施した調査項目は次のとおり。

【調査項目】

	調査項目
移住や二地域居住に関して	問1 検討する理由
	問2 検討・候補地域
	問3 参考情報源
	問4 検討の際、重要視するポイント
	問5 不安や阻害の要因
	問6 コンテンツへの要望
	問7 「学びや体験・交流」への参加意向
	問8 興味のある「学びや体験・交流」メニュー
	問9 移住開始希望時期
十勝地域に関して	問10 地域への自身とのかかわり
	問11 イメージ・印象
	問12 移住や二地域居住の候補になるか
	問13 移住体験に対する予算
	問14 移住体験の希望滞在期間
	問15 移住体験で参考になること
	問16 移住先候補となる理由
	問17 移住の際、参加したい「学びや体験・交流」
	問18 移住先候補とならない理由
	問19 十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」

回答者自身について	問 20 回答者の考え方や思い
	問 21 保有金融資産
	問 22 世帯年収

(2) 調査結果

※集計・分析上の注意事項

- ・図表中の上段は回答件数、下段は構成比（％）を表している。
- ・図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表している。
- ・図表中の構成比（％）については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100.0％にならない場合がある。

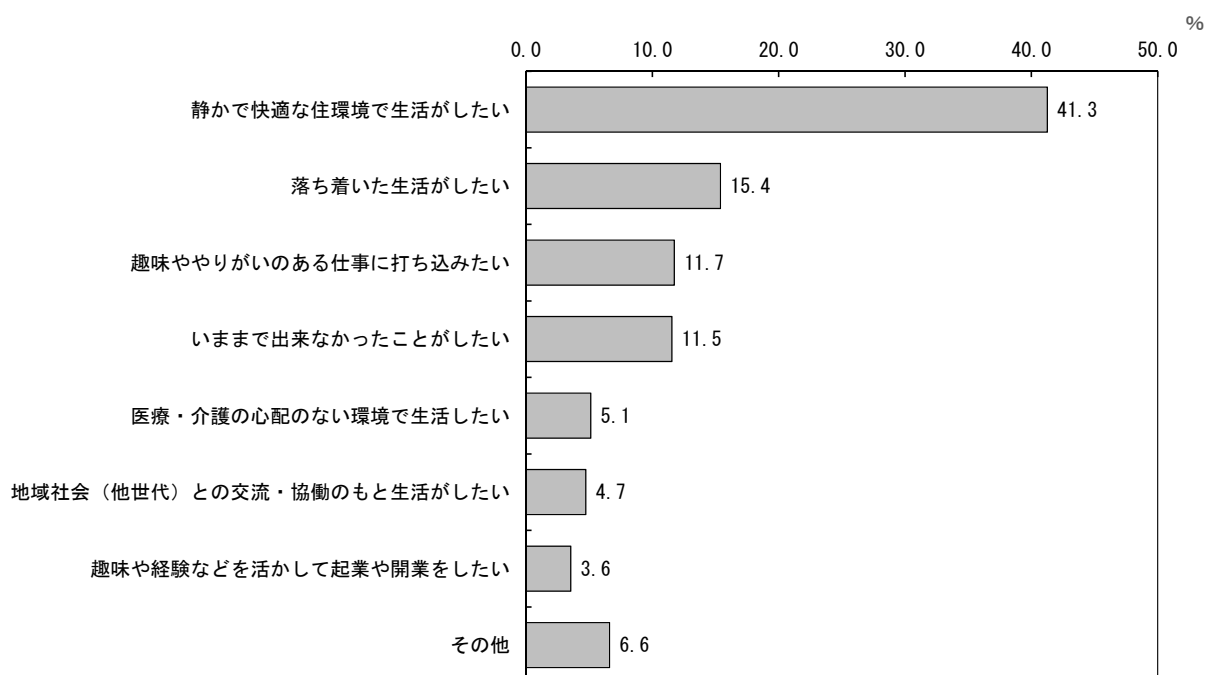
1) 移住や二地域居住に関して

【検討する理由】

問1 地方への移住や二地居住をしたいと考えている理由は何ですか。（単数回答方式）

移住（二地域居住）を検討する理由については、『静かで快適な住環境で生活がしたい』が最も多く41.3%、次いで『落ち着いた生活がしたい』が15.4%、『趣味ややりがいがある仕事に打ち込みたい』が11.7%となった。

図表 1-1 移住検討理由（SA）



n=1,013 件

		合計	静かで快適な住環境で生活がしたい	落ち着いた生活がしたい	趣味ややりがいのある仕事に打ち込みたい	いままで出来なかったことがしたい	医療・介護の心配のない環境で生活したい	地域・社会（他世代）との交流・協働のもと生活がしたい	趣味や経験などを活かして起業や開業をしたい	その他
全体		1,013	418	156	119	117	52	48	36	67
		100.0	41.3	15.4	11.7	11.5	5.1	4.7	3.6	6.6
性別	男性	510	219	72	69	59	20	24	21	26
		100.0	42.9	14.1	13.5	11.6	3.9	4.7	4.1	5.1
	女性	503	199	84	50	58	32	24	15	41
		100.0	39.6	16.7	9.9	11.5	6.4	4.8	3.0	8.2
年代	50代	510	199	84	76	54	21	14	19	43
		100.0	39.0	16.5	14.9	10.6	4.1	2.7	3.7	8.4
	60代	503	219	72	43	63	31	34	17	24
		100.0	43.5	14.3	8.5	12.5	6.2	6.8	3.4	4.8
性年代	男性 50代	255	101	42	45	25	10	6	12	14
		100.0	39.6	16.5	17.6	9.8	3.9	2.4	4.7	5.5
	男性 60代	255	118	30	24	34	10	18	9	12
		100.0	46.3	11.8	9.4	13.3	3.9	7.1	3.5	4.7
	女性 50代	255	98	42	31	29	11	8	7	29
		100.0	38.4	16.5	12.2	11.4	4.3	3.1	2.7	11.4
	女性 60代	248	101	42	19	29	21	16	8	12
		100.0	40.7	16.9	7.7	11.7	8.5	6.5	3.2	4.8

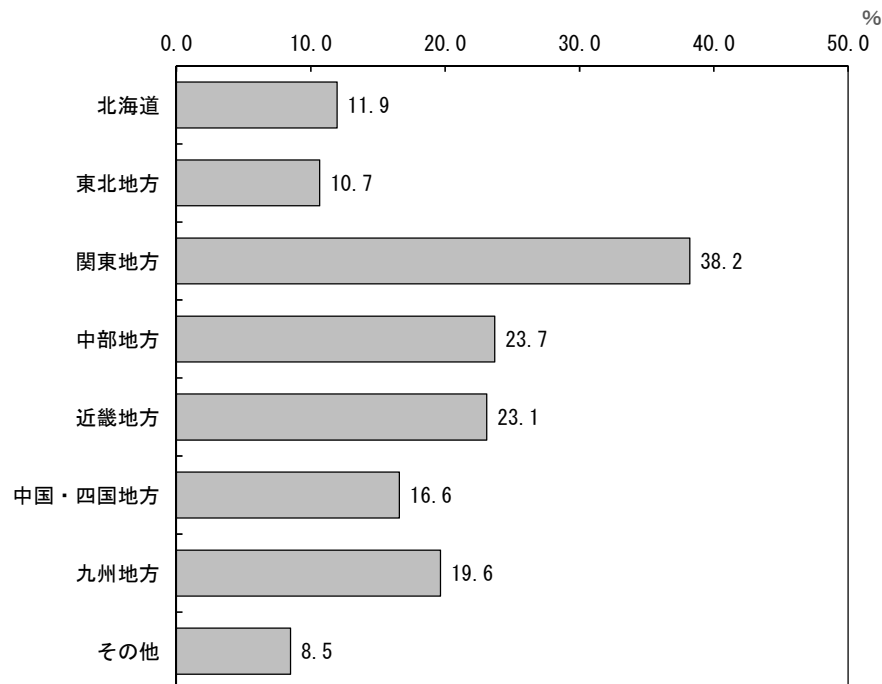
【検討・候補地域】

問2 現在、移住や二地域居住の候補となる地域は具体的にどこですか。

対象となる地域をすべてお選びください。(複数回答方式)

移住先の候補地域については、『関東地方』が最も多く38.2%、次いで『中部地方』が23.7%、『近畿地方』が23.1%であった。『北海道』は11.9%と、『東北地方』に次いで下から2番目となっている。

図表 1-2 移住先候補地域 (MA)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、1,013件とはならない。

		合計	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国・四国地方	九州地方	その他
全体		1,013	121	108	387	240	234	168	199	86
		100.0	11.9	10.7	38.2	23.7	23.1	16.6	19.6	8.5
性別	男性	510	65	53	180	131	113	88	116	43
		100.0	12.7	10.4	35.3	25.7	22.2	17.3	22.7	8.4
性別	女性	503	56	55	207	109	121	80	83	43
		100.0	11.1	10.9	41.2	21.7	24.1	15.9	16.5	8.5
年代	50代	510	66	69	202	123	117	82	118	45
		100.0	12.9	13.5	39.6	24.1	22.9	16.1	23.1	8.8
年代	60代	503	55	39	185	117	117	86	81	41
		100.0	10.9	7.8	36.8	23.3	23.3	17.1	16.1	8.2
性年代	男性 50代	255	37	36	92	65	56	50	73	19
		100.0	14.5	14.1	36.1	25.5	22.0	19.6	28.6	7.5
性年代	男性 60代	255	28	17	88	66	57	38	43	24
		100.0	11.0	6.7	34.5	25.9	22.4	14.9	16.9	9.4
性年代	女性 50代	255	29	33	110	58	61	32	45	26
		100.0	11.4	12.9	43.1	22.7	23.9	12.5	17.6	10.2
性年代	女性 60代	248	27	22	97	51	60	48	38	17
		100.0	10.9	8.9	39.1	20.6	24.2	19.4	15.3	6.9

注：各地方の地域区分は下記のとおり

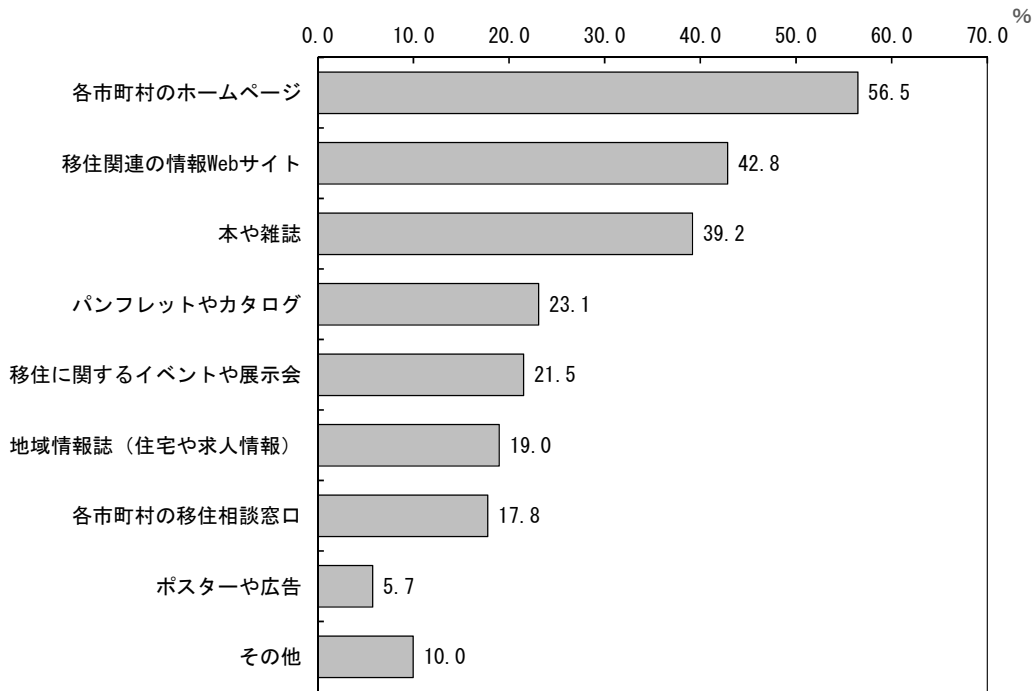
東北地方	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東地方	茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部地方	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿地方	三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国地方	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州地方	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【参考情報源】

問3 移住や二地域居住先を決めるために、参考にする情報源は何ですか。(複数回答方式)

移住に関する情報源については、『各市町村のホームページ』が最も多く 56.5%、次いで『移住関連の情報 web サイト』が 42.8%、『本や雑誌』が 39.2%であった。

図表 1-3 移住に関する情報源 (MA)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

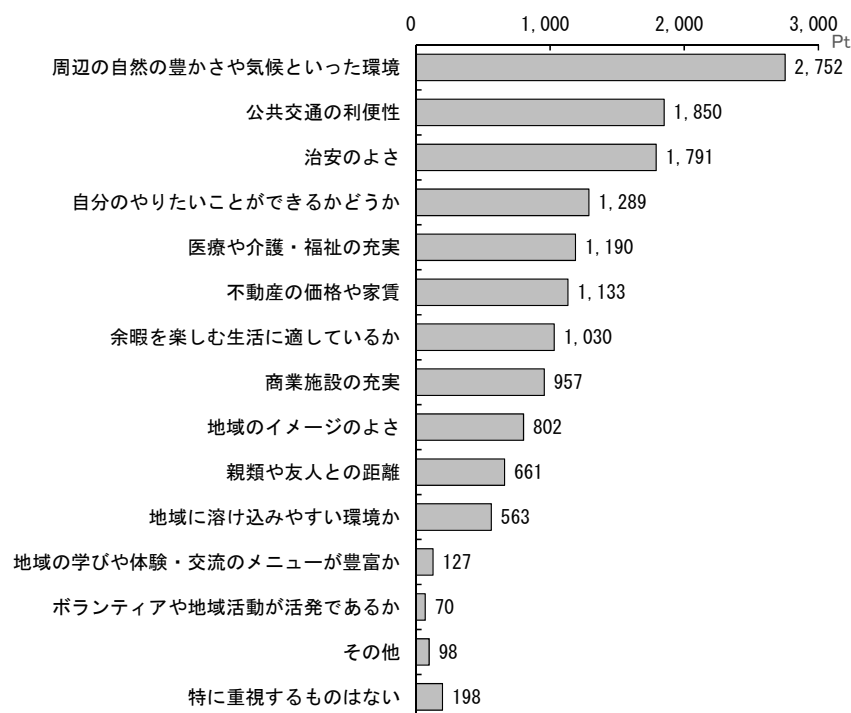
		合計	各市町村のホームページ	移住関連の情報Webサイト	本や雑誌	パンフレットやカタログ	移住に関するイベントや展示会	地域情報誌 (住宅や求人情報)	各市町村の移住相談窓口	ポスターや広告	その他
全体		1,013	572	434	397	234	218	192	180	58	101
		100.0	56.5	42.8	39.2	23.1	21.5	19.0	17.8	5.7	10.0
性別	男性	510	305	223	218	115	119	98	90	24	49
		100.0	59.8	43.7	42.7	22.5	23.3	19.2	17.6	4.7	9.6
女性		503	267	211	179	119	99	94	90	34	52
		100.0	53.1	41.9	35.6	23.7	19.7	18.7	17.9	6.8	10.3
年代	50代	510	276	217	199	111	111	107	87	32	57
		100.0	54.1	42.5	39.0	21.8	21.8	21.0	17.1	6.3	11.2
60代		503	296	217	198	123	107	85	93	26	44
		100.0	58.8	43.1	39.4	24.5	21.3	16.9	18.5	5.2	8.7
性年代	男性 50代	255	146	120	109	50	61	51	50	16	22
		100.0	57.3	47.1	42.7	19.6	23.9	20.0	19.6	6.3	8.6
	男性 60代	255	159	103	109	65	58	47	40	8	27
		100.0	62.4	40.4	42.7	25.5	22.7	18.4	15.7	3.1	10.6
女性 50代	255	130	97	90	61	50	56	37	16	35	
	100.0	51.0	38.0	35.3	23.9	19.6	22.0	14.5	6.3	13.7	
女性 60代	248	137	114	89	58	49	38	53	18	17	
	100.0	55.2	46.0	35.9	23.4	19.8	15.3	21.4	7.3	6.9	

【検討の際、重要視するポイント】

問4 移住や二地域居住先を検討するために重視するポイントは何ですか。(順位回答方式：7つまで)

移住先の検討のために重視するポイントについては、「周辺の自然の豊かさや気候といった環境」(2,752pt)が最も多く、次いで「公共交通の利便性」(1,850pt)、「治安のよさ」(1,791pt)となっている。

図表 1-4 移住先検討のための重視するポイント (MA7)



ランキング形式 (MA7) n=1,013 件

※ 1位から7位まで順位付けされた回答について、順位ごとに回答数を集計し、各集計値に1位には5ポイント、2位には4ポイント、3位には3ポイント、4位には2ポイント、5位には1ポイントを乗算・累計し集計した。

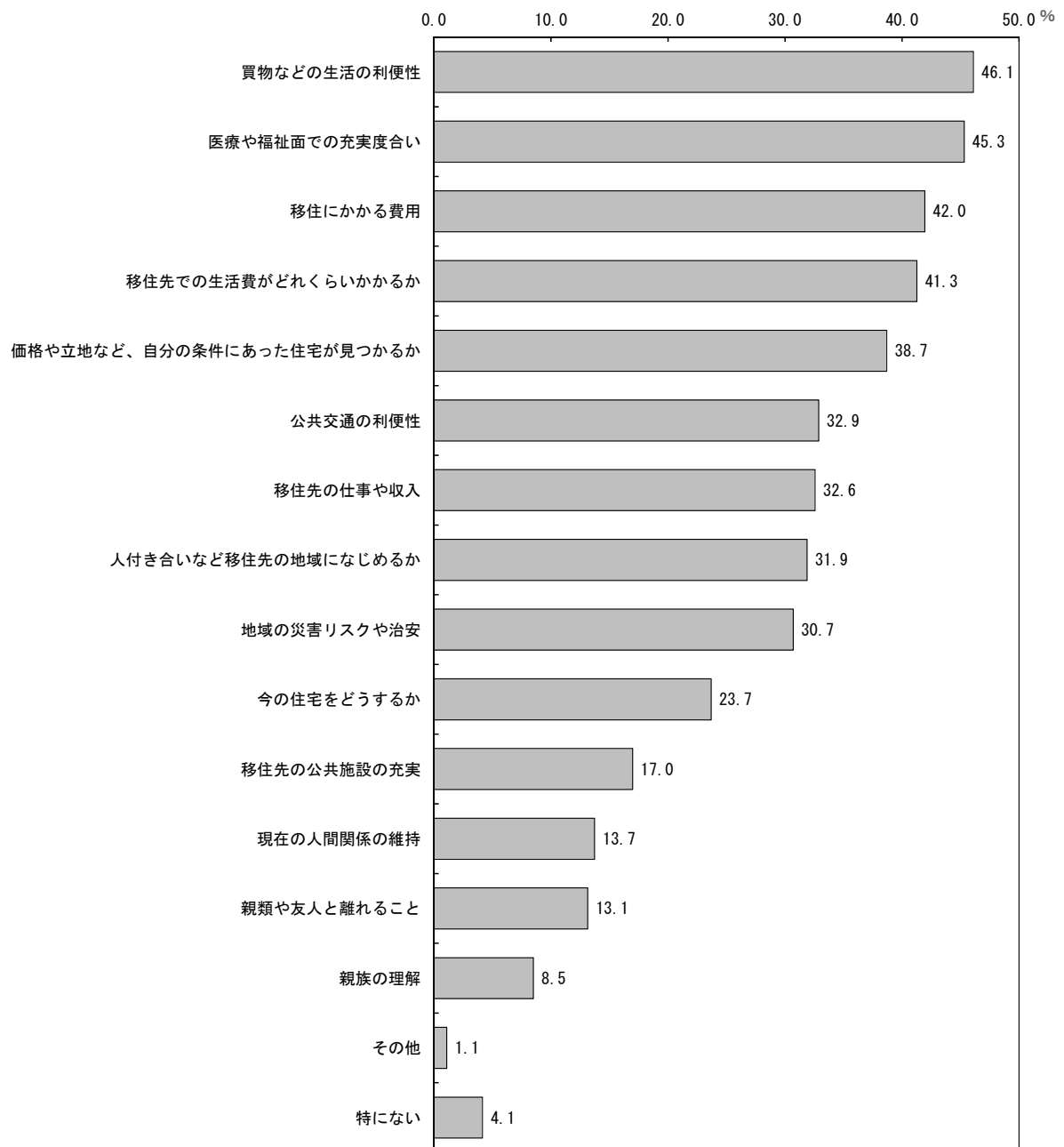
	や周 気 候 と 自 然 の 豊 か さ の 環 境	公 共 交 通 の 利 便 性	治 安 の よ さ	自 分 の や り た い こ と が で き る か ど う か	医 療 や 介 護 ・ 福 祉 の 充 実	不 動 産 の 価 格 や 家 賃	余 暇 を 楽 し む 生 活 に 適 合 し て い る か	商 業 施 設 の 充 実	地 域 の イ メ ー ジ の よ さ	親 類 や 友 人 と の 距 離	地 域 に 溶 け 込 み や す い 環 境 か	地 域 の 学 び や 体 験 ・ 交 流 の メ ニ ュ ー が 豊 富 か	ボ ラ ン テ ィ ア や 地 域 活 動 が 活 発 か	そ の 他	特 に 重 視 す る も の は な い
ポイント 数	2,752	1,850	1,791	1,289	1,190	1,133	1,030	957	802	661	563	127	70	98	198
合計票数	809	704	686	568	598	536	520	576	457	293	355	110	44	28	47
1位	327	108	114	101	51	67	49	23	33	56	24	5	5	14	36
2位	140	166	137	89	83	92	62	50	60	35	43	4	2	4	2
3位	108	121	133	74	100	67	95	98	58	40	39	13	6	2	2
4位	82	99	98	68	104	77	91	114	68	41	52	14	7	3	2
5位	69	85	78	70	95	75	70	120	87	39	50	19	5	0	0
6位	40	71	77	88	92	63	69	90	78	45	74	20	10	1	2
7位	43	54	49	78	73	95	84	81	73	37	73	35	9	4	3

【不安や阻害の要因】

問5 移住や二地域居住先を検討する上で、不安や阻害になるものはありますか。(複数回答方式)

移住の阻害要因については、『買物などの生活の利便性』が最も多く46.1%、次いで『医療や福祉面での充実度合い』が45.3%、『移住にかかる費用』が42.0%となった。

図表 1-5 移住の阻害要因 (MA)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、1,013件とはならない。

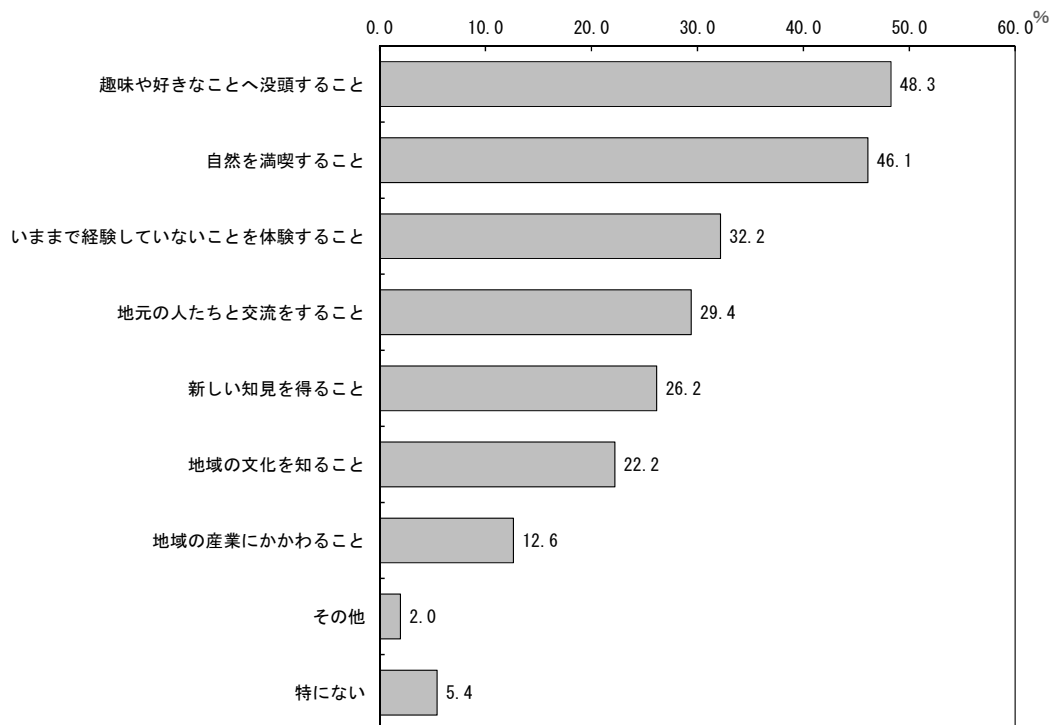
		合計	買物などの生活の利便性	医療や福祉面での充実具合	移住にかかる費用	移住先での生活費がどれくらいかかるか	物件にあった住宅が見つかるか	価格や立地など、自分の条件にあった住宅が見つかると	公共交通の利便性	移住先の仕事や収入	人付き合いなど移住先の地域になじめるか
全体		1,013 100.0	467 46.1	459 45.3	425 42.0	418 41.3	392 38.7	333 32.9	330 32.6	323 31.9	
性別	男性	510 100.0	223 43.7	222 43.5	229 44.9	227 44.5	203 39.8	146 28.6	156 30.6	180 35.3	
	女性	503 100.0	244 48.5	237 47.1	196 39.0	191 38.0	189 37.6	187 37.2	174 34.6	143 28.4	
年代	50代	510 100.0	219 42.9	205 40.2	224 43.9	206 40.4	198 38.8	150 29.4	233 45.7	148 29.0	
	60代	503 100.0	248 49.3	254 50.5	201 40.0	212 42.1	194 38.6	183 36.4	97 19.3	175 34.8	
性年代	男性 50代	255 100.0	105 41.2	94 36.9	115 45.1	112 43.9	105 41.2	66 25.9	112 43.9	77 30.2	
	男性 60代	255 100.0	118 46.3	128 50.2	114 44.7	115 45.1	98 38.4	80 31.4	44 17.3	103 40.4	
	女性 50代	255 100.0	114 44.7	111 43.5	109 42.7	94 36.9	93 36.5	84 32.9	121 47.5	71 27.8	
	女性 60代	248 100.0	130 52.4	126 50.8	87 35.1	97 39.1	96 38.7	103 41.5	53 21.4	72 29.0	
		地域の災害リスクや治安	今の住宅をどうするか	移住先の公共施設の充実	現在の人間関係の維持	親類や友人と離れること	親族の理解	その他	特になし		
全体		311 30.7	240 23.7	172 17.0	139 13.7	133 13.1	86 8.5	11 1.1	42 4.1		
性別	男性	138 27.1	129 25.3	91 17.8	68 13.3	49 9.6	48 9.4	5 1.0	20 3.9		
	女性	173 34.4	111 22.1	81 16.1	71 14.1	84 16.7	38 7.6	6 1.2	22 4.4		
年代	50代	146 28.6	112 22.0	82 16.1	65 12.7	71 13.9	42 8.2	10 2.0	19 3.7		
	60代	165 32.8	128 25.4	90 17.9	74 14.7	62 12.3	44 8.7	1 0.2	23 4.6		
性年代	男性 50代	63 24.7	57 22.4	51 20.0	28 11.0	22 8.6	21 8.2	4 1.6	10 3.9		
	男性 60代	75 29.4	72 28.2	40 15.7	40 15.7	27 10.6	27 10.6	1 0.4	10 3.9		
	女性 50代	83 32.5	55 21.6	31 12.2	37 14.5	49 19.2	21 8.2	6 2.4	9 3.5		
	女性 60代	90 36.3	56 22.6	50 20.2	34 13.7	35 14.1	17 6.9	0 0.0	13 5.2		

【コンテンツへの要望】

問6 移住や二地域居住した先で期待するコンテンツはなんですか。(複数回答方式：3つまで)

移住先で期待することについては、『趣味や好きなことへ没頭すること』が48.3%、『自然を満喫すること』が46.1%、『いままで経験したことがないことを経験する』が32.2%であった。

図表1-6 移住先で期待すること (MA3)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、1,013件とはならない。

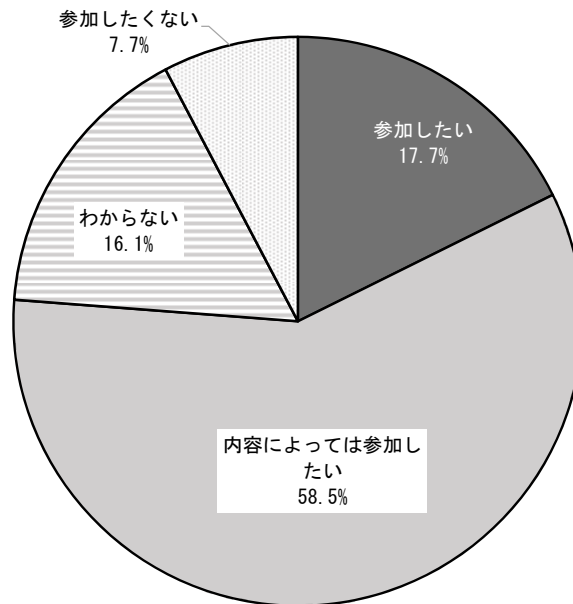
		合計	趣味や好きなことへ没頭すること	自然を満喫すること	いままで経験していないことを体験すること	地元の人たちと交流をすること	新しい知見を得ること	地域の文化を知ること	地域の産業にかかわること	その他	特にない
全体		1,013	489	467	326	298	265	225	128	20	55
		100.0	48.3	46.1	32.2	29.4	26.2	22.2	12.6	2.0	5.4
性別	男性	510	264	230	167	163	147	117	74	9	14
		100.0	51.8	45.1	32.7	32.0	28.8	22.9	14.5	1.8	2.7
女性	503	225	237	159	135	118	108	54	11	41	
		100.0	44.7	47.1	31.6	26.8	23.5	21.5	10.7	2.2	8.2
年代	50代	510	238	211	165	131	142	97	80	14	32
		100.0	46.7	41.4	32.4	25.7	27.8	19.0	15.7	2.7	6.3
60代	503	251	256	161	167	123	128	48	6	23	
		100.0	49.9	50.9	32.0	33.2	24.5	25.4	9.5	1.2	4.6
性年代	男性 50代	255	123	97	87	70	80	51	48	4	9
		100.0	48.2	38.0	34.1	27.5	31.4	20.0	18.8	1.6	3.5
	男性 60代	255	141	133	80	93	67	66	26	5	5
		100.0	55.3	52.2	31.4	36.5	26.3	25.9	10.2	2.0	2.0
	女性 50代	255	115	114	78	61	62	46	32	10	23
		100.0	45.1	44.7	30.6	23.9	24.3	18.0	12.5	3.9	9.0
女性 60代	248	110	123	81	74	56	62	22	1	18	
	100.0	44.4	49.6	32.7	29.8	22.6	25.0	8.9	0.4	7.3	

【「学びや体験・交流」への参加意向】

問7 移住や二地域居住先で、「学びや体験・交流」に参加したいと思いますか。(単数回答方式)

「学びや体験・交流」への参加意向については、「内容によっては参加したい」(58.5%)が最も多く、次いで「参加したい」(17.7%)、「わからない」(16.1%)となっている。

図表 1-7 移住先での「学びや体験・交流」への参加意向 (SA)



n=1,013 件

		合計	参加したい	内容によっては参加したい	わからない	参加したくない
全体		1,013	179	593	163	78
		100.0	17.7	58.5	16.1	7.7
性別	男性	510	94	304	70	42
		100.0	18.4	59.6	13.7	8.2
女性	503	85	289	93	36	
	100.0	16.9	57.5	18.5	7.2	
年代	50代	510	93	289	87	41
		100.0	18.2	56.7	17.1	8.0
60代	503	86	304	76	37	
	100.0	17.1	60.4	15.1	7.4	
性年代	男性 50代	255	50	146	37	22
		100.0	19.6	57.3	14.5	8.6
	男性 60代	255	44	158	33	20
		100.0	17.3	62.0	12.9	7.8
	女性 50代	255	43	143	50	19
		100.0	16.9	56.1	19.6	7.5
	女性 60代	248	42	146	43	17
		100.0	16.9	58.9	17.3	6.9

【興味のある「学びや体験・交流」メニュー】

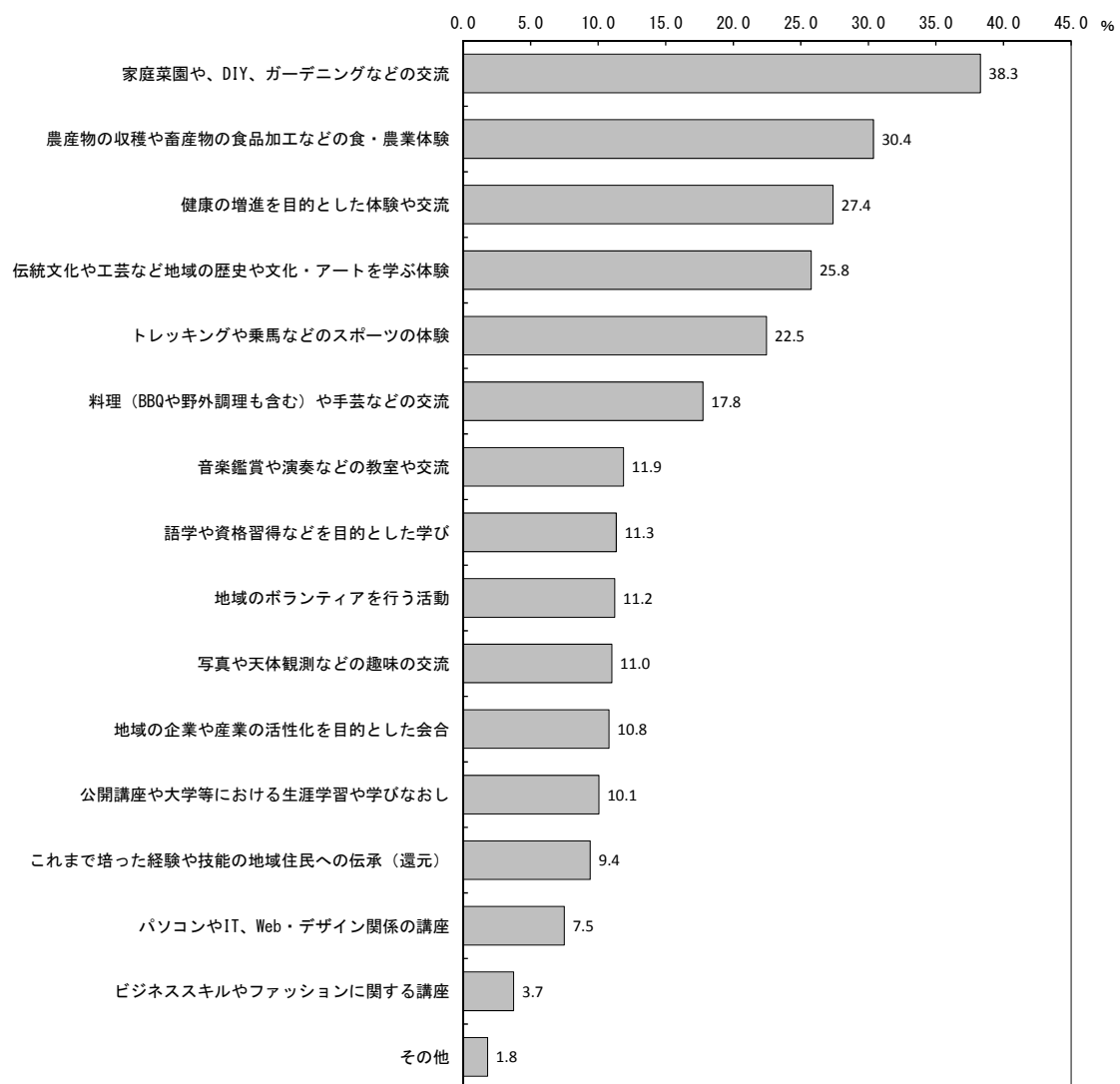
問8 どのような「学びや体験・交流」のメニューに興味がありますか。(複数回答方式：3つまで)

関心のある「学びや体験・交流」メニューについては、『家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流』が38.3%と最も多く、次いで『農作物の収穫や畜産物の食品加工などの食・農業体験』が30.4%、『健康の増進を目的とした体験や交流』が27.4%であった。

<分析・推測>

3大都市圏の住宅事情・周辺環境では出来ないであろうことや、自身の健康維持への関心が高いことが伺える。

図表 1-8 関心のある「学びや体験・交流」のメニューカテゴリー (MA3)



n=935 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、935件とはならない。

※ 問7で『参加したくない』と回答した78名を除く

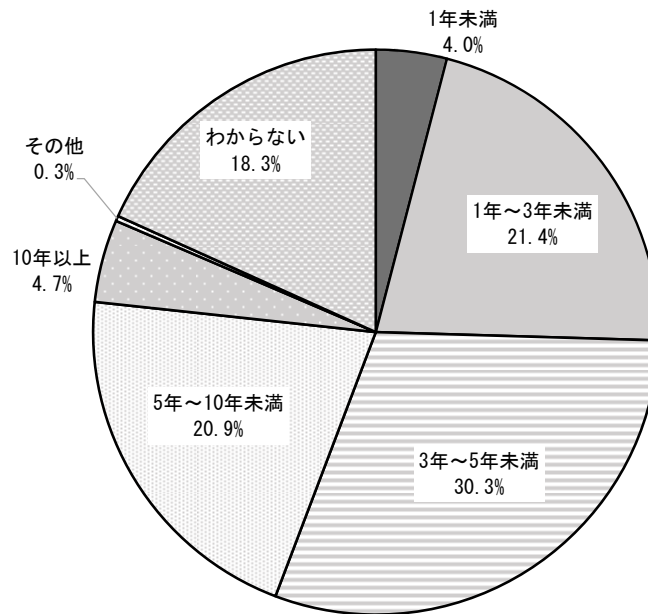
		ガー ー 庭 菜 園 や 、 D I Y 、 の 交 流	家 庭 菜 園 や 、 D I Y 、 の 交 流	農 産 物 の 収 穫 や 畜 産 物 の 農 業 の 交 流	食 品 加 工 な ど の 食 ・ 農 業 の 交 流	農 産 物 の 収 穫 や 畜 産 物 の 農 業 の 交 流	健 康 の 増 進 を 目 的 と し た 交 流	学 ぶ 体 験	伝 統 文 化 や 工 芸 な ど 地 域 の 歴 史 や 文 化 ・ ア ー ト を	の ス レ ッ キ ン グ や 乗 馬 な ど の 体 験	流 も 含 む ） や 手 芸 な ど の 交 流	料 理 （ B B Q や 野 外 調 理 室 や 交 流	音 楽 鑑 賞 や 演 奏 な ど の 教 育	語 学 や 資 格 習 得 な ど を 目 的 と し た 学 び
全体	935 100.0	358 38.3	284 30.4	256 27.4	241 25.8	210 22.5	166 17.8	111 11.9	106 11.3					
性別	男性	468 100.0	167 35.7	154 32.9	107 22.9	118 25.2	58 12.4	44 9.4	47 10.0					
	女性	467 100.0	191 40.9	130 27.8	149 31.9	123 26.3	91 19.5	108 23.1	67 14.3	59 12.6				
年代	50代	469 100.0	164 35.0	138 29.4	112 23.9	114 24.3	108 23.0	90 11.5	60 12.8					
	60代	466 100.0	194 41.6	146 31.3	144 30.9	127 27.3	102 21.9	76 16.3	46 9.9					
性年代	男性 50代	233 100.0	71 30.5	77 33.0	44 18.9	53 22.7	63 27.0	33 14.2	27 7.7	18 11.6				
	男性 60代	235 100.0	96 40.9	77 32.8	63 26.8	65 27.7	56 23.8	25 10.6	26 11.1	20 8.5				
	女性 50代	236 100.0	93 39.4	61 25.8	68 28.8	61 25.8	45 19.1	57 24.2	36 15.3	33 14.0				
	女性 60代	231 100.0	98 42.4	69 29.9	81 35.1	62 26.8	46 19.9	51 22.1	31 13.4	26 11.3				
		う 地 域 の ボ ラ ン テ ィ ア を 行 う 活 動	味 の 交 流 や 天 体 観 測 な ど の 趣 味	地 域 の 企 業 や 産 業 の 活 性 化 を 目 的 と し た 会 合	公 開 講 座 や 大 学 に お け る 学 習 や 学 び 等 に お け る	こ れ ま で 培 つ た 経 験 や 技 術 の 継 承 （ 還 元 ）	講 座 W e b ・ デ ザ ィ ン 関 係 の 講 座	パ ソ コ ン や I T 、 シ ョ ン に 関 ス キ ル や フ ァ ッ ク の 講 座	シ ョ ン に 関 ス キ ル や フ ァ ッ ク の 講 座	シ ョ ン に 関 ス キ ル や フ ァ ッ ク の 講 座	シ ョ ン に 関 ス キ ル や フ ァ ッ ク の 講 座	シ ョ ン に 関 ス キ ル や フ ァ ッ ク の 講 座	シ ョ ン に 関 ス キ ル や フ ァ ッ ク の 講 座	
全体	105 11.2	103 11.0	101 10.8	94 10.1	88 9.4	70 7.5	35 3.7	17 1.8						
性別	男性	68 14.5	58 12.4	66 14.1	47 10.0	57 12.2	40 8.5	20 4.3	10 2.1					
	女性	37 7.9	45 9.6	35 7.5	47 10.1	31 6.6	30 6.4	15 3.2	7 1.5					
年代	50代	49 10.4	58 12.4	55 11.7	56 11.9	42 9.0	28 6.0	23 4.9	9 1.9					
	60代	56 12.0	45 9.7	46 9.9	38 8.2	46 9.9	42 9.0	12 2.6	8 1.7					
性年代	男性 50代	28 12.0	32 13.7	39 16.7	26 11.2	24 10.3	13 5.6	12 5.2	6 2.6					
	男性 60代	40 17.0	26 11.1	27 11.5	21 8.9	33 14.0	27 11.5	8 3.4	4 1.7					
	女性 50代	21 8.9	26 11.0	16 6.8	30 12.7	18 7.6	15 6.4	11 4.7	3 1.3					
	女性 60代	16 6.9	19 8.2	19 8.2	17 7.4	13 5.6	15 6.5	4 1.7	4 1.7					

【移住開始希望時期】

問9 実際に移住を開始するとしたら、いつごろにしたいですか。(単数回答方式)

移住の予定時期については、『3年～5年未満』が最も多く30.3%、次いで『1年～3年未満』が21.4%、『5年～10年未満』が20.9%となった。

図表1-9 移住予定時期 (SA)



n=1,013 件

		合計	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	その他	わからない
全体		1,013 100.0	41 4.0	217 21.4	307 30.3	212 20.9	48 4.7	3 0.3	185 18.3
性別	男性	510 100.0	24 4.7	131 25.7	177 34.7	113 22.2	19 3.7	3 0.6	43 8.4
	女性	503 100.0	17 3.4	86 17.1	130 25.8	99 19.7	29 5.8	0 0.0	142 28.2
年代	50代	510 100.0	21 4.1	95 18.6	139 27.3	138 27.1	38 7.5	3 0.6	76 14.9
	60代	503 100.0	20 4.0	122 24.3	168 33.4	74 14.7	10 2.0	0 0.0	109 21.7
性年代	男性 50代	255 100.0	13 5.1	50 19.6	78 30.6	76 29.8	17 6.7	3 1.2	18 7.1
	男性 60代	255 100.0	11 4.3	81 31.8	99 38.8	37 14.5	2 0.8	0 0.0	25 9.8
	女性 50代	255 100.0	8 3.1	45 17.6	61 23.9	62 24.3	21 8.2	0 0.0	58 22.7
	女性 60代	248 100.0	9 3.6	41 16.5	69 27.8	37 14.9	8 3.2	0 0.0	84 33.9

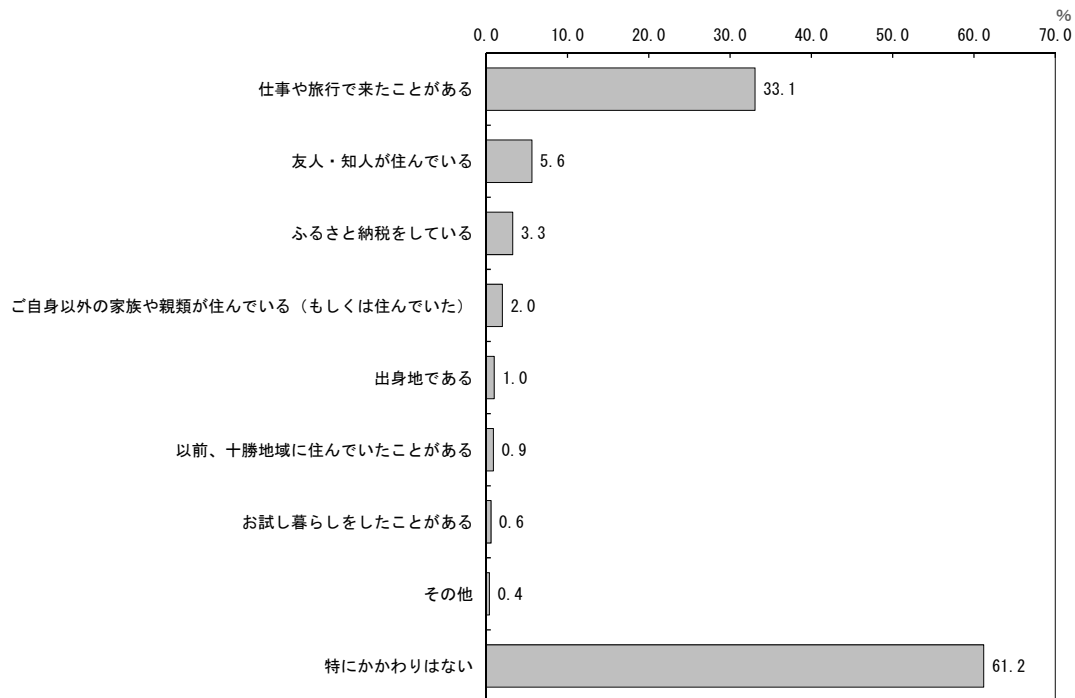
2) 十勝地域に関して

【地域への自身のかかわり】

問 10 あなたは十勝地域とのかかわりがありますか。(複数回答方式)

十勝地域との自身のかかわりについては、『特にかかわりはない』が 61.2%で最も多く、次いで『仕事や旅行で来たことがある』が 33.1%、『知人・友人が住んでいる』が 5.6%であった。

図表 1-10 十勝地域との自身のかかわり (MA)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

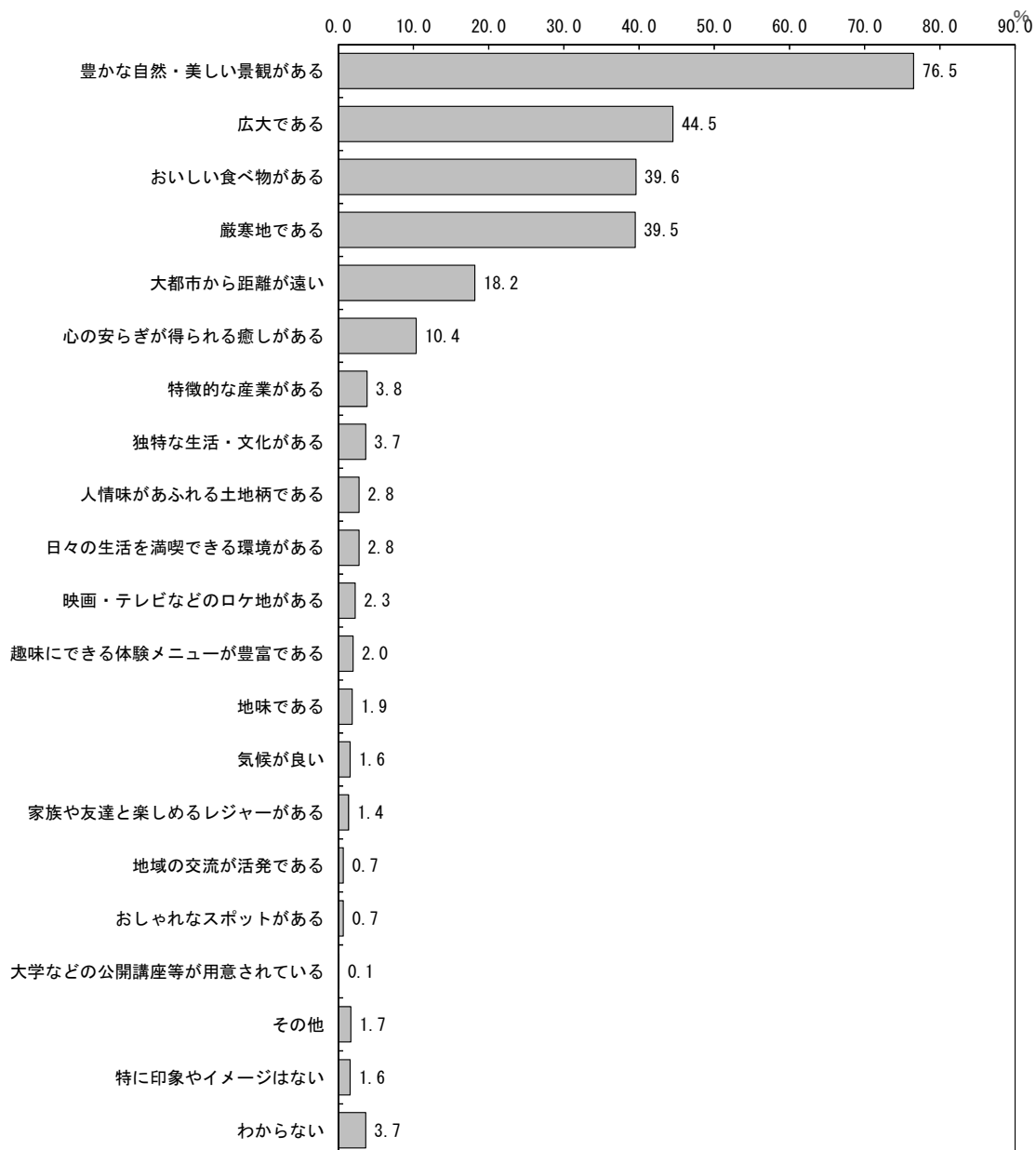
	合計	仕事や旅行で来たことがある	友人・知人が住んでいる	ふるさと納税をしている	ご自身以外の家族や親類が住んでいる (もしくは住んでいた)	出身地である	以前、十勝地域に住んでいたことがある	お試し暮らしをしたことがある	その他	特にかかわりはない	
全体	1,013 100.0	335 33.1	57 5.6	33 3.3	20 2.0	10 1.0	9 0.9	6 0.6	4 0.4	620 61.2	
性別	男性	510 100.0	193 37.8	35 6.9	21 4.1	11 2.2	8 1.6	5 1.0	2 0.4	1 0.2	285 55.9
	女性	503 100.0	142 28.2	22 4.4	12 2.4	9 1.8	2 0.4	4 0.8	4 0.8	3 0.6	335 66.6
年代	50代	510 100.0	186 36.5	34 6.7	25 4.9	10 2.0	8 1.6	7 1.4	6 1.2	1 0.2	291 57.1
	60代	503 100.0	149 29.6	23 4.6	8 1.6	10 2.0	2 0.4	2 0.4	0 0.0	3 0.6	329 65.4
性年代	男性 50代	255 100.0	102 40.0	22 8.6	16 6.3	6 2.4	6 2.4	4 1.6	2 0.8	0 0.0	134 52.5
	男性 60代	255 100.0	91 35.7	13 5.1	5 2.0	5 2.0	2 0.8	1 0.4	0 0.0	1 0.4	151 59.2
	女性 50代	255 100.0	84 32.9	12 4.7	9 3.5	4 1.6	2 0.8	3 1.2	4 1.6	1 0.4	157 61.6
	女性 60代	248 100.0	58 23.4	10 4.0	3 1.2	5 2.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	2 0.8	178 71.8

【イメージ・印象】

問 11 十勝地域について、どのようなイメージや印象をお持ちですか。(複数回答方式：3つまで)

十勝地域のイメージについては、『豊かな自然・美しい景観がある』が76.5%で最も多く、次いで『広大である』が44.5%、『おいしい食べ物がある』が39.6%であった。

図表 1-11 十勝地域のイメージ (MA3)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、1,013件とはならない。

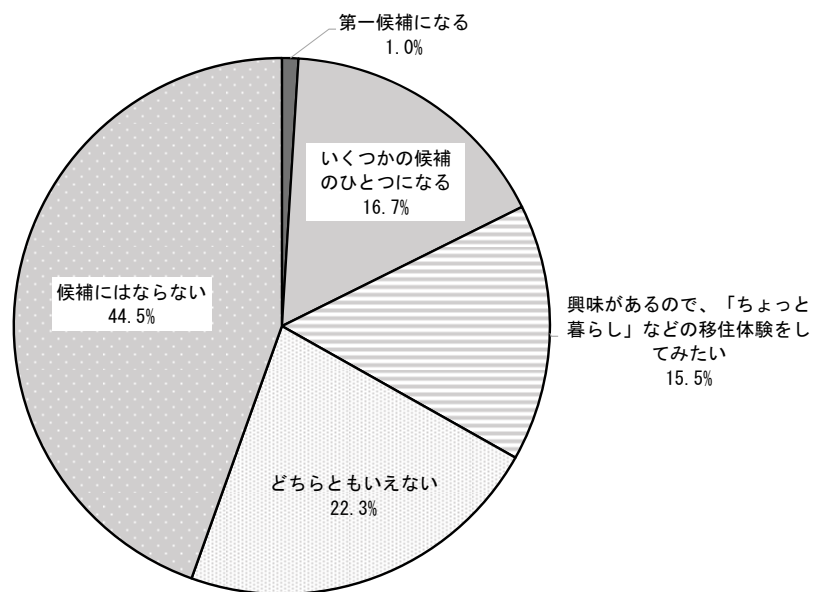
			豊かな自然・美しい景観がある	広大である	おいしい食べ物がある	厳寒地である	大都市から距離が遠い	心の安らぎが得られる癒しがある	特徴的な産業がある	独特な生活・文化がある	人情味があふれる土地柄である	日々の生活を満喫できる環境がある	
		合計											
全体		1,013 100.0	775 76.5	451 44.5	401 39.6	400 39.5	184 18.2	105 10.4	39 3.8	37 3.7	28 2.8	28 2.8	
性別	男性	510 100.0	378 74.1	216 42.4	188 36.9	209 41.0	89 17.5	60 11.8	27 5.3	22 4.3	14 2.7	17 3.3	
	女性	503 100.0	397 78.9	235 46.7	213 42.3	191 38.0	95 18.9	45 8.9	12 2.4	15 3.0	14 2.8	11 2.2	
年代	50代	510 100.0	398 78.0	221 43.3	224 43.9	189 37.1	83 16.3	64 12.5	21 4.1	20 3.9	11 2.2	8 1.6	
	60代	503 100.0	377 75.0	230 45.7	177 35.2	211 41.9	101 20.1	41 8.2	18 3.6	17 3.4	17 3.4	20 4.0	
性年代	男性 50代	255 100.0	190 74.5	110 43.1	104 40.8	97 38.0	41 16.1	38 14.9	16 6.3	14 5.5	6 2.4	4 1.6	
		255 100.0	188 73.7	106 41.6	84 32.9	112 43.9	48 18.8	22 8.6	11 4.3	8 3.1	8 3.1	13 5.1	
	女性 50代	255 100.0	208 81.6	111 43.5	120 47.1	92 36.1	42 16.5	26 10.2	5 2.0	6 2.4	5 2.0	4 1.6	
		248 100.0	189 76.2	124 50.0	93 37.5	99 39.9	53 21.4	19 7.7	7 2.8	9 3.6	9 3.6	7 2.8	
	全体		23 2.3	20 2.0	19 1.9	16 1.6	14 1.4	7 0.7	7 0.7	1 0.1	17 1.7	16 1.6	37 3.7
	性別	男性	13 2.5	13 2.5	12 2.4	7 1.4	9 1.8	4 0.8	3 0.6	0 0.0	10 2.0	8 1.6	23 4.5
女性		10 2.0	7 1.4	7 1.4	9 1.8	5 1.0	3 0.6	4 0.8	1 0.2	7 1.4	8 1.6	14 2.8	
年代	50代	15 2.9	12 2.4	9 1.8	11 2.2	11 2.2	5 1.0	2 0.4	0 0.0	9 1.8	9 1.8	14 2.7	
	60代	8 1.6	8 1.6	10 2.0	5 1.0	3 0.6	2 0.4	5 1.0	1 0.2	8 1.6	7 1.4	23 4.6	
性年代	男性 50代	8 3.1	7 2.7	5 2.0	5 2.0	7 2.7	3 1.2	1 0.4	0 0.0	5 2.0	5 2.0	9 3.5	
		5 2.0	6 2.4	7 2.7	2 0.8	2 0.8	1 0.4	2 0.8	0 0.0	5 2.0	3 1.2	14 5.5	
	女性 50代	7 2.7	5 2.0	4 1.6	6 2.4	4 1.6	2 0.8	1 0.4	0 0.0	4 1.6	4 1.6	5 2.0	
		3 1.2	2 0.8	3 1.2	3 1.2	1 0.4	1 0.4	3 1.2	1 0.4	3 1.2	4 1.6	9 3.6	
	全体		12 1.2	8 0.8	12 1.2	12 1.2	12 1.2	12 1.2	12 1.2	12 1.2	12 1.2	12 1.6	36 3.6
				あ映る 画・ テレビ などの ロケ地 がある	豊富 な 趣味に できる 体験メ ニユー がある	地味 である	気候 が良い	家族 や友達 と楽し めるレ ジャー がある	地域 の交流 が活発 である	おしゃ れなス ポーツ がある	大学 などの 公開講 座等が 用意さ れている	その他	特に 印象や イメージ はない

【移住や二地域居住の候補になるか】

問 12 あなたにとって十勝地域は移住や二地域居住の候補となりますか。(単数回答方式)

十勝地域への移住の意向については、『候補にならない』が 44.5%で最も多く、次いで『どちらともいえない』が 22.3%であった。『第一候補になる』と『いくつかの候補のひとつになる』の合計は 17.7%であった。

図表 1-12 十勝地域への移住意向 (SA)



n=1,013 件

		合計	第一候補になる	なくつかの候補のひとつに	興味があるので、「ちょっと暮らし」などの移住体験を試みたい	どちらともいえない	候補にはならない
全体		1,013 100.0	10 1.0	169 16.7	157 15.5	226 22.3	451 44.5
性別	男性	510 100.0	6 1.2	100 19.6	77 15.1	125 24.5	202 39.6
	女性	503 100.0	4 0.8	69 13.7	80 15.9	101 20.1	249 49.5
年代	50代	510 100.0	6 1.2	107 21.0	88 17.3	117 22.9	192 37.6
	60代	503 100.0	4 0.8	62 12.3	69 13.7	109 21.7	259 51.5
性年代	男性 50代	255 100.0	5 2.0	65 25.5	46 18.0	62 24.3	77 30.2
	男性 60代	255 100.0	1 0.4	35 13.7	31 12.2	63 24.7	125 49.0
	女性 50代	255 100.0	1 0.4	42 16.5	42 16.5	55 21.6	115 45.1
	女性 60代	248 100.0	3 1.2	27 10.9	38 15.3	46 18.5	134 54.0

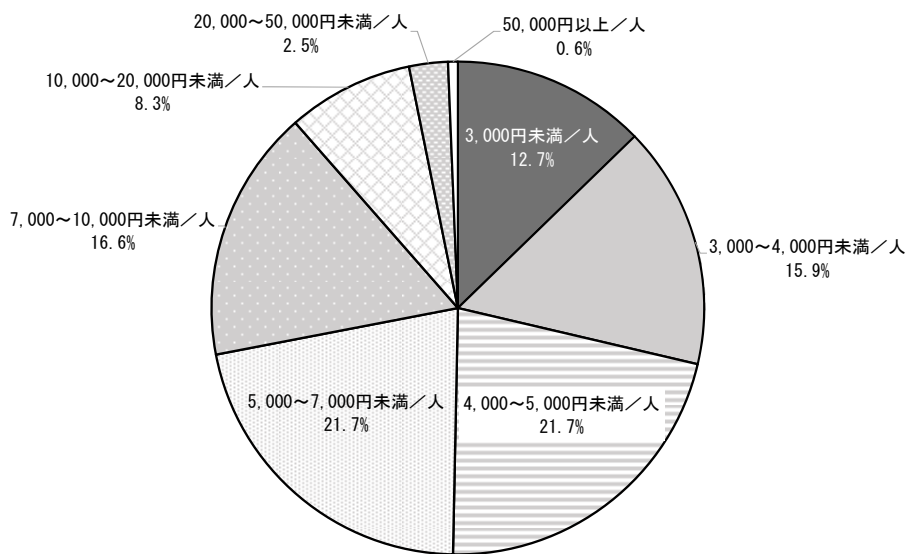
〔問 12〕で『興味があるので、「ちょっと暮らし」など体験移住をしてみたい』を選択した人（157人）にお聞きします。（問 13 から問 15）

【移住体験に対する予算】

問 13 短期間の移住体験をする場合、1 日に出費できる滞在予算はどれくらいですか。（単数回答方式）

短期滞在の予算については、『4,000～5,000円未満/人』『5,000～7,000円未満/人』がともに最も多く、21.7%であった。次いで『7,000～10,000円未満/人』が16.6%であった。

図表 1-13 短期滞在予算（SA）



n=157 件

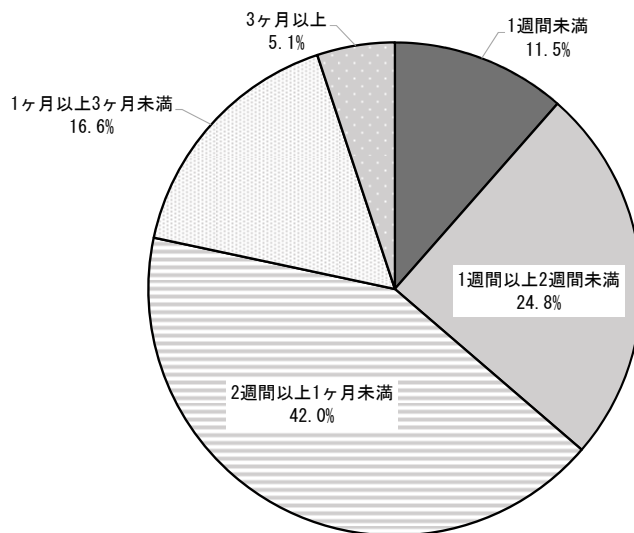
		合計	3,000円未満/人	3,000~4,000円未満/人	4,000~5,000円未満/人	5,000~7,000円未満/人	7,000~10,000円未満/人	10,000~20,000円未満/人	20,000~50,000円未満/人	50,000円以上/人
全体		157	20	25	34	34	26	13	4	1
		100.0	12.7	15.9	21.7	21.7	16.6	8.3	2.5	0.6
性別	男性	77	7	10	16	18	15	9	2	0
		100.0	9.1	13.0	20.8	23.4	19.5	11.7	2.6	0.0
性別	女性	80	13	15	18	16	11	4	2	1
		100.0	16.3	18.8	22.5	20.0	13.8	5.0	2.5	1.3
年代	50代	88	14	9	19	19	15	8	4	0
		100.0	15.9	10.2	21.6	21.6	17.0	9.1	4.5	0.0
年代	60代	69	6	16	15	15	11	5	0	1
		100.0	8.7	23.2	21.7	21.7	15.9	7.2	0.0	1.4
性年代	男性 50代	46	6	2	10	10	10	6	2	0
		100.0	13.0	4.3	21.7	21.7	21.7	13.0	4.3	0.0
	男性 60代	31	1	8	6	8	5	3	0	0
		100.0	3.2	25.8	19.4	25.8	16.1	9.7	0.0	0.0
	女性 50代	42	8	7	9	9	5	2	2	0
		100.0	19.0	16.7	21.4	21.4	11.9	4.8	4.8	0.0
女性 60代	38	5	8	9	7	6	2	0	1	
	100.0	13.2	21.1	23.7	18.4	15.8	5.3	0.0	2.6	

【移住体験の希望滞在期間】

問 14 具体的な移住先として検討するため、短期間の移住体験は、どれくらいの期間滞在する必要があると思いますか。（単数回答方式）

短期滞在の希望期間については、『2週間以上1ヶ月未満』が42.0%で最も多く、次いで『1週間以上2週間未満』が24.8%、『1ヶ月以上3ヶ月未満』が16.6%であった。

図表 1-14 短期滞在の希望滞在期間（SA）



n=157 件

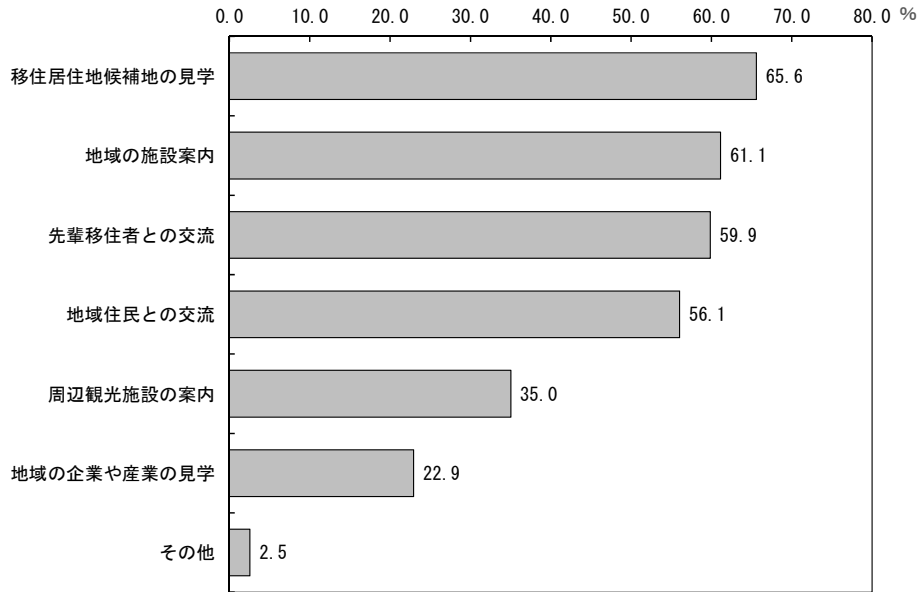
		合計	1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1ヶ月未満	1ヶ月以上3ヶ月未満	3ヶ月以上
全体		157 100.0	18 11.5	39 24.8	66 42.0	26 16.6	8 5.1
性別	男性	77 100.0	10 13.0	22 28.6	27 35.1	15 19.5	3 3.9
	女性	80 100.0	8 10.0	17 21.3	39 48.8	11 13.8	5 6.3
年代	50代	88 100.0	12 13.6	24 27.3	37 42.0	10 11.4	5 5.7
	60代	69 100.0	6 8.7	15 21.7	29 42.0	16 23.2	3 4.3
性年代	男性 50代	46 100.0	6 13.0	15 32.6	14 30.4	8 17.4	3 6.5
	男性 60代	31 100.0	4 12.9	7 22.6	13 41.9	7 22.6	0 0.0
	女性 50代	42 100.0	6 14.3	9 21.4	23 54.8	2 4.8	2 4.8
	女性 60代	38 100.0	2 5.3	8 21.1	16 42.1	9 23.7	3 7.9

【移住体験で参考になること】

問 15 「ちょっと暮らし」の際、滞在先でできると参考になることはなんですか。(複数回答方式)

短期滞在時の要望については、『移住居住地候補地の見学』が 65.6%、『地域の施設案内』が 61.1%、『先輩移住者との交流』が 59.9%、『地元住民との交流』が 56.1%であった。

図表 1-15 短期滞在時の要望 (MA)



n=157 件

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、157 件とはならない。

		合計	移住居住地候補地の見学	地域の施設案内	先輩移住者との交流	地域住民との交流	周辺観光施設の案内	地域の企業や産業の見学	その他
全体		157 100.0	103 65.6	96 61.1	94 59.9	88 56.1	55 35.0	36 22.9	4 2.5
性別	男性	77 100.0	53 68.8	44 57.1	42 54.5	40 51.9	26 33.8	14 18.2	2 2.6
	女性	80 100.0	50 62.5	52 65.0	52 65.0	48 60.0	29 36.3	22 27.5	2 2.5
年代	50代	88 100.0	56 63.6	51 58.0	55 62.5	46 52.3	26 29.5	23 26.1	3 3.4
	60代	69 100.0	47 68.1	45 65.2	39 56.5	42 60.9	29 42.0	13 18.8	1 1.4
性年代	男性 50代	46 100.0	28 60.9	25 54.3	25 54.3	23 50.0	12 26.1	11 23.9	1 2.2
	男性 60代	31 100.0	25 80.6	19 61.3	17 54.8	17 54.8	14 45.2	3 9.7	1 3.2
	女性 50代	42 100.0	28 66.7	26 61.9	30 71.4	23 54.8	14 33.3	12 28.6	2 4.8
	女性 60代	38 100.0	22 57.9	26 68.4	22 57.9	25 65.8	15 39.5	10 26.3	0 0.0

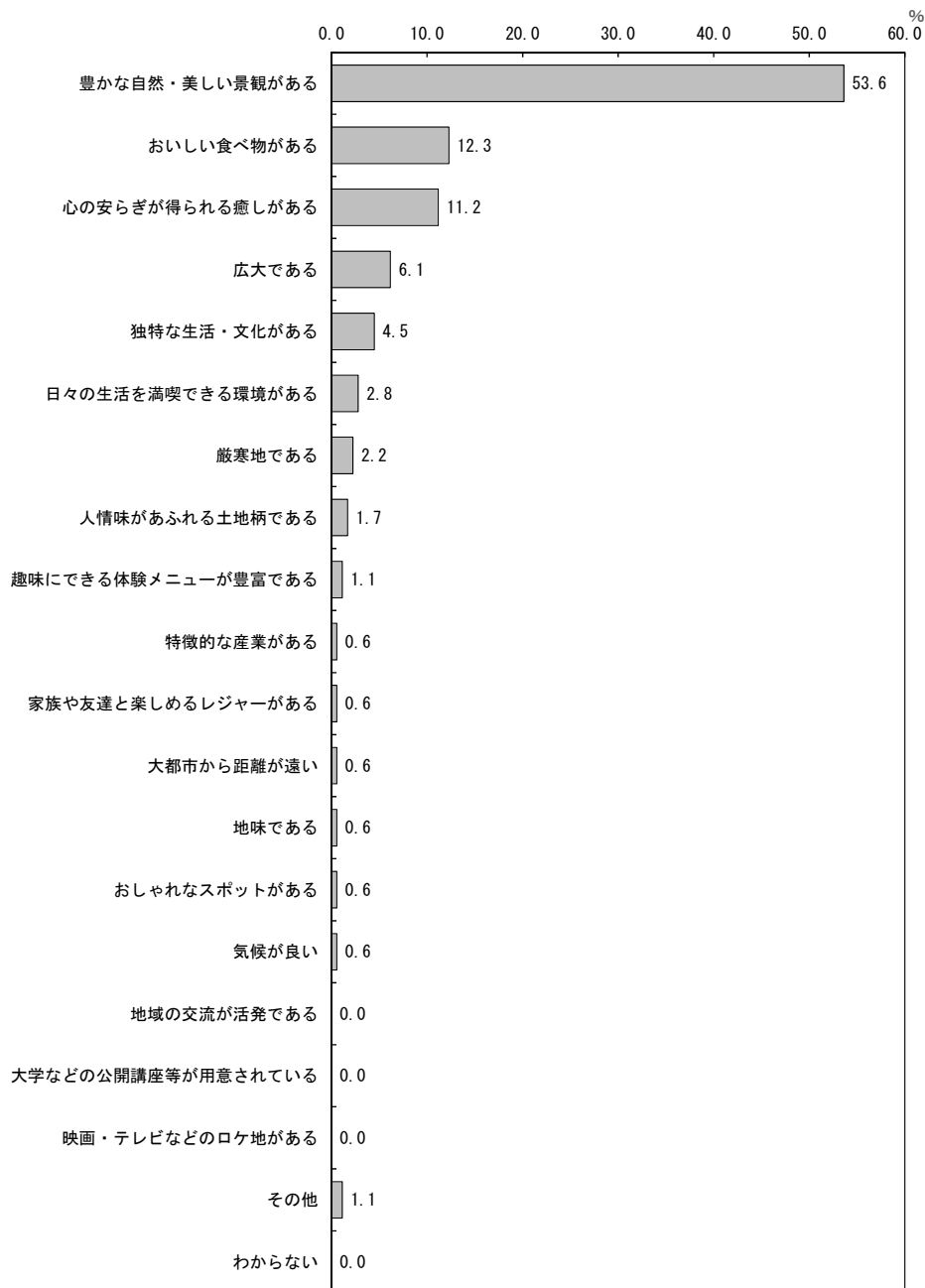
〔問 12〕で『第一候補となる』『いくつかの候補地のひとつとなる』を選択した人（179人）にお聞きします。（問 16 から問 17）

【移住先候補となる理由】

問 16 十勝地域について、候補とする理由として一番あてはまるものはどれですか。（単数回答方式）

十勝地域を移住候補とする理由については、『豊かな自然・美しい景観がある』が 53.6%で最も多く、次いで『おいしい食べ物がある』が 12.3%、『心の安らぎが得られる癒しがある』が 11.2%であった。

図表 1-16 十勝地域が移住候補地となる理由（SA）



n = 179 件

		合計	豊かな自然・美しい景観がある	おいしい食べ物がある	心の安らぎが得られる癒しがある	広大である	独特な生活・文化がある	日々の生活を満喫できる環境がある	厳寒地である	人情味があふれる土地柄である	趣味にできる体験メニューが豊富である	特徴的な産業がある
全体		179 100.0	96 53.6	22 12.3	20 11.2	11 6.1	8 4.5	5 2.8	4 2.2	3 1.7	2 1.1	1 0.6
性別	男性	106 100.0	65 51.9	14 13.2	13 12.3	6 5.7	6 5.7	3 2.8	4 3.8	2 1.9	0 0.0	1 0.9
	女性	73 100.0	41 56.2	8 11.0	7 9.6	5 6.8	2 2.7	2 2.7	0 0.0	1 1.4	2 2.7	0 0.0
年代	50代	113 100.0	56 49.6	15 13.3	13 11.5	7 6.2	4 3.5	5 4.4	4 3.5	2 1.8	1 0.9	1 0.9
	60代	66 100.0	40 60.6	7 10.6	7 10.6	4 6.1	4 6.1	0 0.0	0 0.0	1 1.5	1 1.5	0 0.0
性年代	男性 50代	70 100.0	32 45.7	10 14.3	9 12.9	4 5.7	3 4.3	3 4.3	4 5.7	2 2.9	0 0.0	1 1.4
	男性 60代	36 100.0	23 63.9	4 11.1	4 11.1	2 5.6	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性 50代	43 100.0	24 55.8	5 11.6	4 9.3	3 7.0	1 2.3	2 4.7	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0 0.0
	女性 60代	30 100.0	17 56.7	3 10.0	3 10.0	2 6.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0
		ジヤ ヤー があ る	大 都 市 か ら 距 離 が 遠 い	地 味 で あ る	お し や れ な ス ポ ッ ト が あ る	気 候 が 良 い	地 域 の 交 流 が 活 発 で あ る	大 学 な ど の 公 開 講 座 等 が 用 意 さ れ て い る	映 画 ・ テ レ ビ な ど の ロ ケ 地 が あ る	そ の 他	わ か ら な い	
全体		1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0
性別	男性	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	0 0.0	1 1.4	1 1.4	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.7	0 0.0	0 0.0
年代	50代	1 0.9	1 0.9	1 0.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0
	60代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0
性年代	男性 50代	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性 60代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性 50代	0 0.0	1 2.3	1 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0
	女性 60代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0

【移住の際、参加したい「学びや体験・交流」】

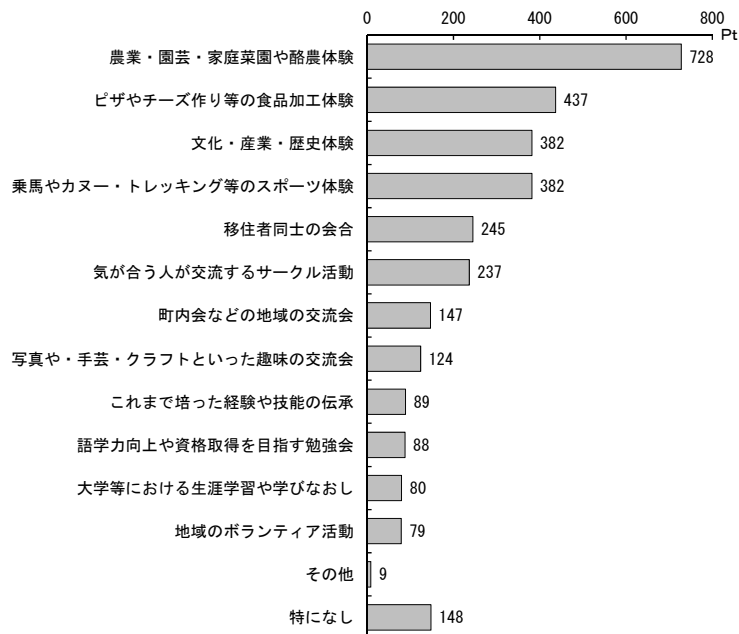
問 17 あなたがもし、十勝地域に移住した場合、参加してみたい活動や体験、交流はありますか。(順位回答方式：5 つまで)

十勝地域で参加したい「学びや体験・交流」のメニューについては、「農業・園芸・家庭菜園や酪農体験」(728pt)が最も多く、次いで「ピザやチーズ作り等の食品加工体験」(437pt)、「文化・産業・歴史体験」「乗馬やカヌー・トレッキング等のスポーツ体験」(382pt)となった。

<分析・推測>

十勝の地域資源を活用しうるものが上位に入った。「文化・産業・歴史体験」については、「冬季の暮らし」や「ばんえい」といった本州都市圏では接したことのない、十勝ならではの生活・慣習についても「学びのメニュー」となり得ることが伺える。

図表 1-17 十勝地域で参加したい「学びや体験・交流」のメニュー (MA5)



ランキング形式 (MA5) n=179 件

※ 1位から5位まで順位付けされた回答について、順位ごとに回答数を集計し、各集計値に1位には3ポイント、2位には2ポイント、3位には1ポイントを乗算・累計し集計した。

	農業・園芸・家庭菜園や酪農体験	ピザやチーズ作り等の食品加工体験	文化・産業・歴史体験	乗馬やカヌー・トレッキング等のスポーツ体験	移住者同士の会合	気が合う人が交流するサークル活動	町内会などの地域の交流会	写真や・手芸・クラフトといった趣味の交流会	これまで培った経験や技能の伝承	語学力向上や資格取得を目指す勉強会	大学等における生涯学習や学びなおし	地域のボランティア活動	その他	特になし
ポイント数	728	437	382	382	245	237	147	124	89	88	80	79	9	148
合計票数	347	293	282	257	226	230	176	121	89	70	87	104	5	58
1位	51.3	18.4	21.3	28.8	15.5	13.0	9.7	10.7	15.7	18.6	18.4	6.7	60.0	82.8
2位	21.0	35.2	23.0	23.0	20.4	20.0	16.5	23.1	16.9	28.6	4.6	16.3	0.0	1.7
3位	13.8	23.5	25.5	16.3	21.2	23.9	21.6	24.0	19.1	12.9	27.6	23.1	0.0	3.4
4位	9.2	14.3	17.7	19.5	22.1	22.6	25.0	16.5	20.2	21.4	21.8	25.0	0.0	1.7
5位	4.6	8.5	12.4	12.5	20.8	20.4	27.3	25.6	28.1	18.6	27.6	28.8	40.0	10.3

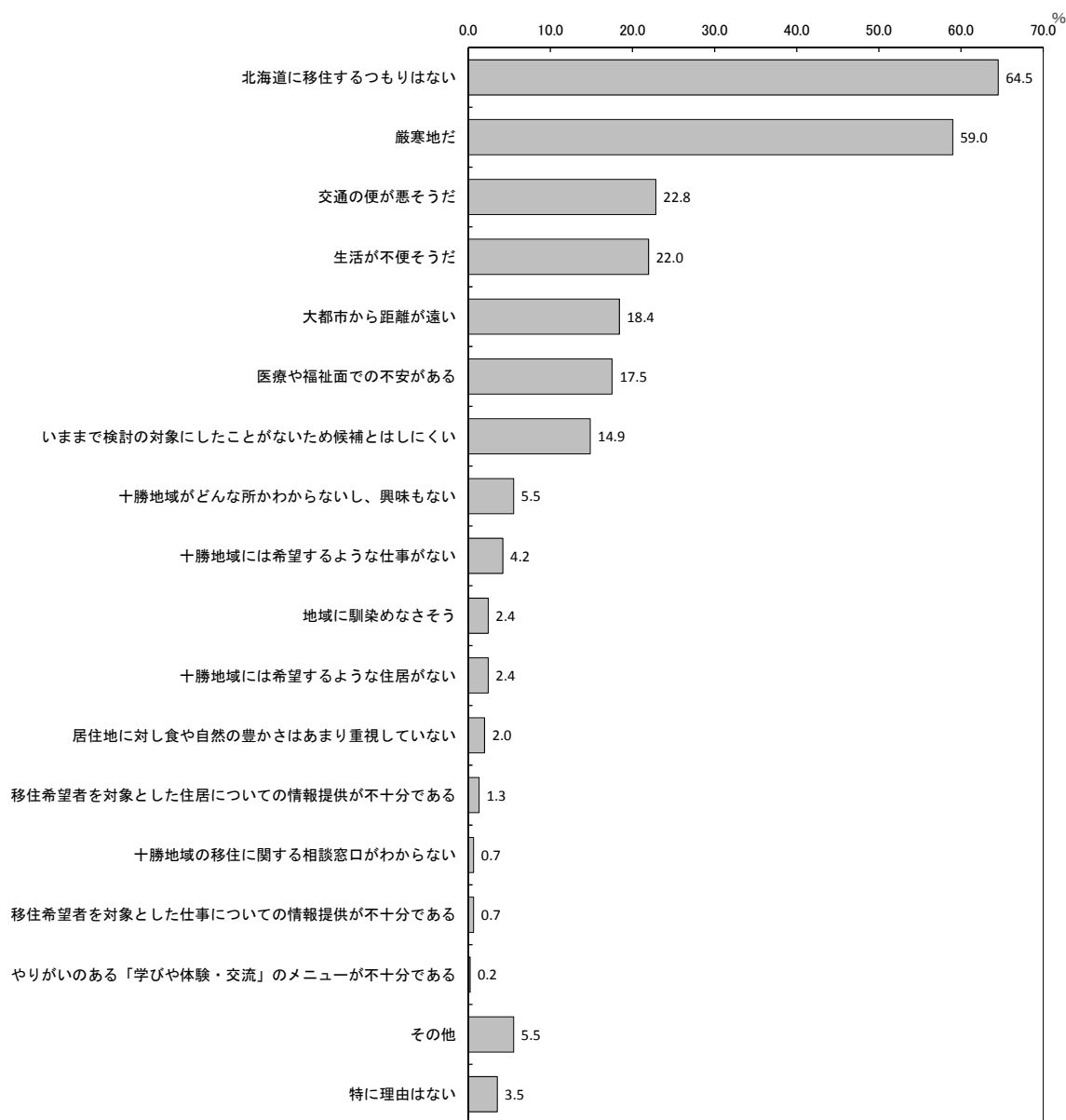
〔問 12〕で『候補にならない』を選択した人（451人）にお聞きします。

【移住先候補とならない理由】

問 18 候補とならない理由はなんですか。（複数回答方式）

十勝地域が移住候補地とならない理由については、『北海道に移住するつもりはない』が 64.5%と最も多く、次いで『厳寒地だ』が 59.0%であった。

図表 1-18 十勝地域が移住候補地とならない理由（MA）



n=451 件

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、451 件とはならない。

		合計	北海道に移住するつもりはない	严寒地だ	交通の便が悪そう	生活が不便そう	大都市から距離が遠い	医療や福祉面での不安がある	いままですぐ検討の対象にしたいこと	十勝地域がどんな所かわからないし、興味もない	十勝地域には希望するような仕事がない
全体		451	291	266	103	99	83	79	67	25	19
		100.0	64.5	59.0	22.8	22.0	18.4	17.5	14.9	5.5	4.2
性別	男性	202	130	120	37	43	39	31	26	8	4
		100.0	64.4	59.4	18.3	21.3	19.3	15.3	12.9	4.0	2.0
女性	249	161	146	66	56	44	48	41	17	15	
		100.0	64.7	58.6	26.5	22.5	17.7	19.3	16.5	6.8	6.0
年代	50代	192	114	103	38	43	29	25	23	10	11
		100.0	59.4	53.6	19.8	22.4	15.1	13.0	12.0	5.2	5.7
60代	259	177	163	65	56	54	54	44	15	8	
		100.0	68.3	62.9	25.1	21.6	20.8	20.8	17.0	5.8	3.1
性年代	男性 50代	77	44	44	14	21	14	9	8	3	4
			100.0	57.1	57.1	18.2	27.3	18.2	11.7	10.4	3.9
	男性 60代	125	86	76	23	22	25	22	18	5	0
			100.0	68.8	60.8	18.4	17.6	20.0	17.6	14.4	4.0
	女性 50代	115	70	59	24	22	15	16	15	7	7
			100.0	60.9	51.3	20.9	19.1	13.0	13.9	13.0	6.1
女性 60代	134	91	87	42	34	29	32	26	10	8	
		100.0	67.9	64.9	31.3	25.4	21.6	23.9	19.4	7.5	6.0
		地域に馴染めなさそう	十勝地域には希望するようない	居住地にあまり重視してない	移住希望者に対する情報が不十分	十勝地域の移住に関する相談窓口がわからない	移住希望者に対する情報が不十分	「交流」のメニューが不十分	その他	特に理由はない	
全体		11	11	9	6	3	3	1	25	16	
		2.4	2.4	2.0	1.3	0.7	0.7	0.2	5.5	3.5	
性別	男性	5	3	5	3	2	1	0	13	8	
		2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	0.5	0.0	6.4	4.0	
女性	6	8	4	3	1	2	1	12	8		
		2.4	3.2	1.6	1.2	0.4	0.8	0.4	4.8	3.2	
年代	50代	6	3	4	2	1	1	0	16	11	
		3.1	1.6	2.1	1.0	0.5	0.5	0.0	8.3	5.7	
60代	5	8	5	4	2	2	1	9	5		
		1.9	3.1	1.9	1.5	0.8	0.8	0.4	3.5	1.9	
性年代	男性 50代	2	2	2	1	1	0	0	7	4	
			2.6	2.6	2.6	1.3	1.3	0.0	0.0	9.1	5.2
	男性 60代	3	1	3	2	1	1	0	6	4	
			2.4	0.8	2.4	1.6	0.8	0.8	0.0	4.8	3.2
	女性 50代	4	1	2	1	0	1	0	9	7	
			3.5	0.9	1.7	0.9	0.0	0.9	0.0	7.8	6.1
女性 60代	2	7	2	2	1	1	1	3	1		
		1.5	5.2	1.5	1.5	0.7	0.7	0.7	2.2	0.7	

皆様にお聞きします。

【十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」】

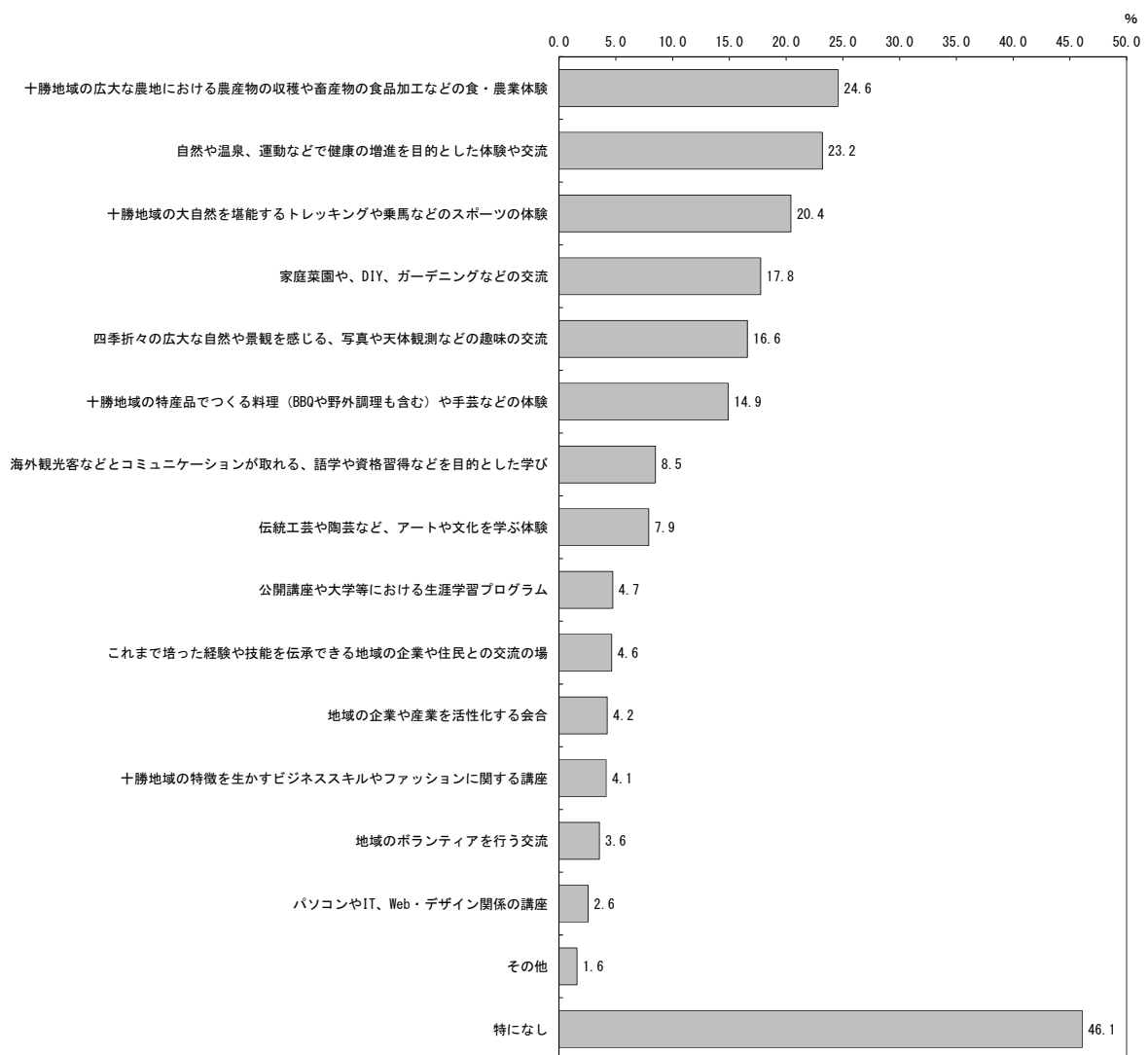
問 19_1 こんなことができるならば十勝地域に行ってみたい。という「学びや体験・交流」のメニューがありましたら教えてください。(複数回答方式)

十勝への移住の誘引となる「学びや体験・交流」については、『特になし』(46.1%)を除くと、『十勝地域の広大な農地における農作物の収穫や畜産物の食品加工などの食・農業体験』が最も多く24.6%、次いで『自然や温泉、運動などで健康の増進を目的とした体験や交流』が23.2%であった。

<分析・推測>

十勝の地域資源を活用しうるものが上位に入った。

図表 1-19 十勝地域に魅力を感じる「学びや体験・交流」のメニュー (MA)



n=1,013 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、1,013件とはならない。

		合計	十勝地域の広大な農地における農産物の収穫や畜産物の食品加工などの食・農業体験	自然や温泉、運動などで健康の増進を目的とした体験や交流	十勝地域の大自然を堪能するトレッキングや乗馬などのスポーツの体験	家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流	四季折々の広大な自然や景観を感じる、写真や天体観測などの趣味の交流	十勝地域の特産品でつくる料理（BBQや野外調理も含む）や手芸などの体験	海外観光客などとコミュニケーションが取れる、語学や資格習得などを目的とした学び	伝統工芸や陶芸など、アートや文芸を学ぶ体験
全体		1,013 100.0	249 24.6	235 23.2	207 20.4	180 17.8	168 16.6	151 14.9	86 8.5	80 7.9
性別	男性	510 100.0	129 25.3	126 24.7	111 21.8	92 18.0	83 16.3	64 12.5	47 9.2	35 6.9
	女性	503 100.0	120 23.9	109 21.7	96 19.1	88 17.5	85 16.9	87 17.3	39 7.8	45 8.9
年代	50代	510 100.0	140 27.5	123 24.1	110 21.6	100 19.6	85 16.7	83 16.3	50 9.8	42 8.2
	60代	503 100.0	109 21.7	112 22.3	97 19.3	80 15.9	83 16.5	68 13.5	36 7.2	38 7.6
性年代	男性 50代	255 100.0	71 27.8	64 25.1	58 22.7	51 20.0	45 17.6	36 14.1	25 9.8	20 7.8
	男性 60代	255 100.0	58 22.7	62 24.3	53 20.8	41 16.1	38 14.9	28 11.0	22 8.6	15 5.9
	女性 50代	255 100.0	69 27.1	59 23.1	52 20.4	49 19.2	40 15.7	47 18.4	25 9.8	22 8.6
	女性 60代	248 100.0	51 20.6	50 20.2	44 17.7	39 15.7	45 18.1	40 16.1	14 5.6	23 9.3
全体		48 4.7	47 4.6	43 4.2	42 4.1	36 3.6	26 2.6	16 1.6	467 46.1	
性別	男性	26 5.1	29 5.7	29 5.7	24 4.7	20 3.9	14 2.7	10 2.0	222 43.5	
	女性	22 4.4	18 3.6	14 2.8	18 3.6	16 3.2	12 2.4	6 1.2	245 48.7	
年代	50代	28 5.5	24 4.7	25 4.9	26 5.1	17 3.3	14 2.7	10 2.0	219 42.9	
	60代	20 4.0	23 4.6	18 3.6	16 3.2	19 3.8	12 2.4	6 1.2	248 49.3	
性年代	男性 50代	13 5.1	13 5.1	18 7.1	14 5.5	9 3.5	8 3.1	6 2.4	102 40.0	
	男性 60代	13 5.1	16 6.3	11 4.3	10 3.9	11 4.3	6 2.4	4 1.6	120 47.1	
	女性 50代	15 5.9	11 4.3	7 2.7	12 4.7	8 3.1	6 2.4	4 1.6	117 45.9	
	女性 60代	7 2.8	7 2.8	7 2.8	6 2.4	8 3.2	8 2.4	2 0.8	128 51.6	
	習公開講座や大学等における生涯学習		この場 で培った 企業や 住民との 交流	合 地域の 企業や 産業を 活性化 する会	座 十勝 地域の 特徴を 生かす ビジネス 講座	地 域の ボラン ティア を行う 交流	パ ンソ ンコ ンや IT、 Web ・デ ザイ	そ の 他	特 に な し	

回答者からの具体的な参加してみたいメニュー内容については、『地元料理』や『野菜作り』『乗馬』『天体観測』などであった。詳細は「図表1-20 十勝地域の移住誘引となる「学びや体験・交流」のメニュー具体的内容」のとおり。

問 19_2 こんなことができるならば十勝地域に行ってみたい。という「学びや体験・交流」のメニューがありましたら教えてください。また、選択されたメニューで具体的に参加してみたい内容がありましたらご記載ください。(自由記載/記述式)

十勝への移住の誘引となる「学びや体験・交流」の具体的内容については、「野菜作り/家庭菜園」(20件)が最も多く、次いで「乗馬」(18件)、「温泉/秘湯めぐり/湯治」(16件)となっている。

<分析・推測>

「食・農業体験」と分類した回答内容の中には、『土起しから具体的な野菜栽培方法、営農方法まで学びたい』といった記述や、『地元料理の教室』、『食品加工としてのワイン製造』など。「健康増進を目的とした体験や交流」では、『地域内の温泉めぐり』といった回答があり、1日体験のようなものではなく、一定期間を要する内容を求められている傾向が見受けられる。

図表1-20 十勝地域の移住誘引となる「学びや体験・交流」のメニュー-具体的内容[上位20件]

具体案	件数	具体案	件数
野菜作り/家庭菜園	20	語学力向上	6
乗馬	18	自然体験	5
温泉/秘湯めぐり/湯治	16	カヌー/川下り	5
地元料理/特産物調理体験	13	ワイン作り、ビジネスを学ぶ	4
トレッキング	11	園芸/ガーデニング	4
農産物収穫体験	11	登山	4
酪農/牧場体験	6	狩猟/食肉加工体験	3
酪農品加工体験	6	ランニング/トレイルラン	3
農業体験/学ぶ(主に営農)	6	競走馬育成/現場見学	3
天体観測	6	撮影会	3

※ 自由回答を内容ごとに分類し集計した。

- 「問 20 回答者の考え方や思い」については、各回答者の今後に対する考え方を類型化(6つのタイプに分類)するため、24問の思考テストを実施したもの。設問については巻末の資料編を、分析については「Ⅲ 3. 移住予定者・検討者の今後についての考え方による思考タイプの分類」を参照のこと。
- 「問 21 保有金融資産」「問 22 世帯年収」については、他の設問に関して高所得者の傾向を知るため、尋ねたもの。設問については巻末の資料編を、分析については「Ⅱ 1.(2) 3) 3-3) 高所得者の傾向について」を参照のこと。

3) 性年代、現居住地、所属層ごとの移住と学びのニーズ分析

3-1) 性年代での傾向について

移住に関する考え方や「学び」への感心など、性年代による傾向の違いを確認した。

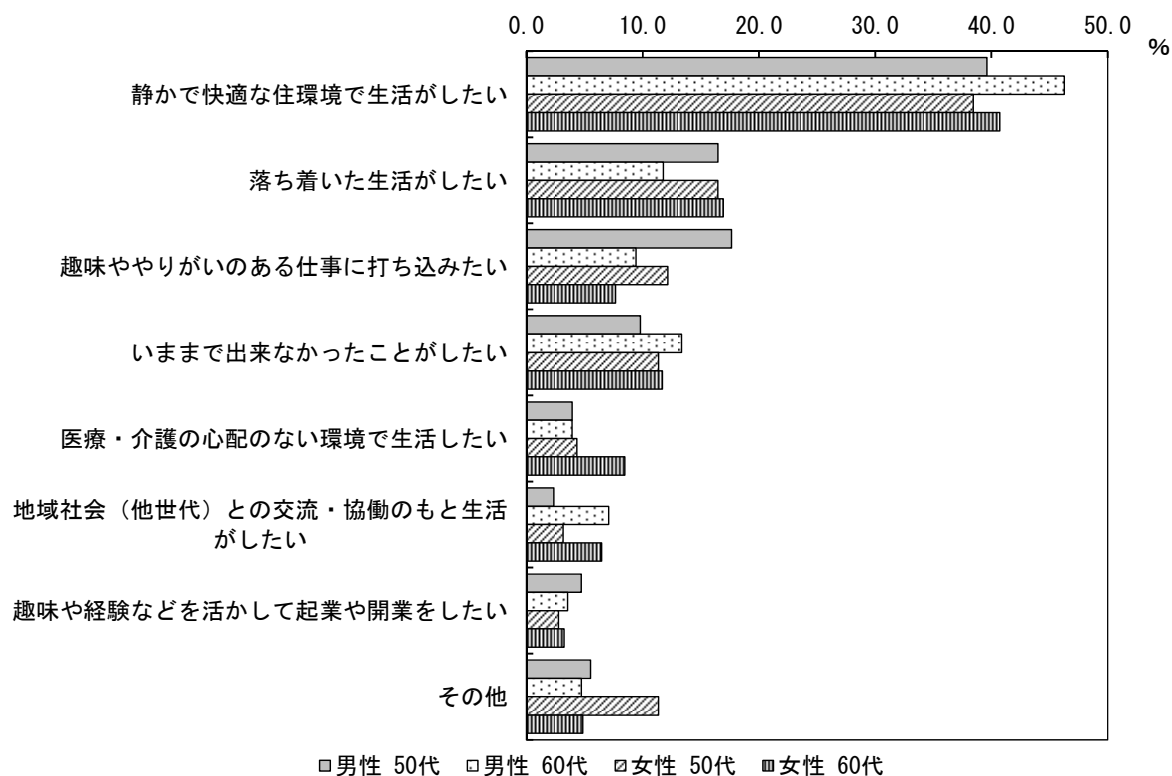
【分析対象設問】

	調査項目
移住や二地域居住に関して	問 1 検討する理由
	問 3 参考情報源
	問 5 不安や阻害の要因
	問 6 コンテンツへの要望
	問 7 「学びや体験・交流」への参加意向
	問 8 興味のある「学びや体験・交流」メニュー
十勝地域に関して	問 12 移住や二地域居住の候補になるか
	問 19 十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」

【検討する理由】

問 1 地方への移住や二地居住をしたいと考えている理由は何ですか。(単純回答方式)
「移住（二地域居住）を検討する理由」について性年代による傾向を確認した。いずれの性年代も大きな違いは見受けられないが、男性 60 代では「落ち着いた生活がしたい」の回答率が全体より 3.6% 低く、「いままで出来なかったことがしたい」の回答が 1.8% 高かった。

図表 2-1 移住検討理由 (SA)



		合計	静か で快適 な住環 境で生 活がし たい	落ち 着いた 生活が したい	趣味や やりが いのある 仕事に 打ち込 みたい	いまま で出来 なかつ たこと がまし たい	医療・ 介護の 心配の ない環 境で生 活し たい	地域社 会（他 世代） との交 流・協 働のも と生活 が したい	趣味や 経験な どを活 かし て起 業や開 業をし たい	その他
全体		1,013 100.0	418 41.3	156 15.4	119 11.7	117 11.5	52 5.1	48 4.7	36 3.6	67 6.6
性年代	男性 50代	255 100.0	101 39.6	42 16.5	45 17.6	25 9.8	10 3.9	6 2.4	12 4.7	14 5.5
	男性 60代	255 100.0	118 46.3	30 11.8	24 9.4	34 13.3	10 3.9	18 7.1	9 3.5	12 4.7
	女性 50代	255 100.0	98 38.4	42 16.5	31 12.2	29 11.4	11 4.3	8 3.1	7 2.7	29 11.4
	女性 60代	248 100.0	101 40.7	42 16.9	19 7.7	29 11.7	21 8.5	16 6.5	8 3.2	12 4.8

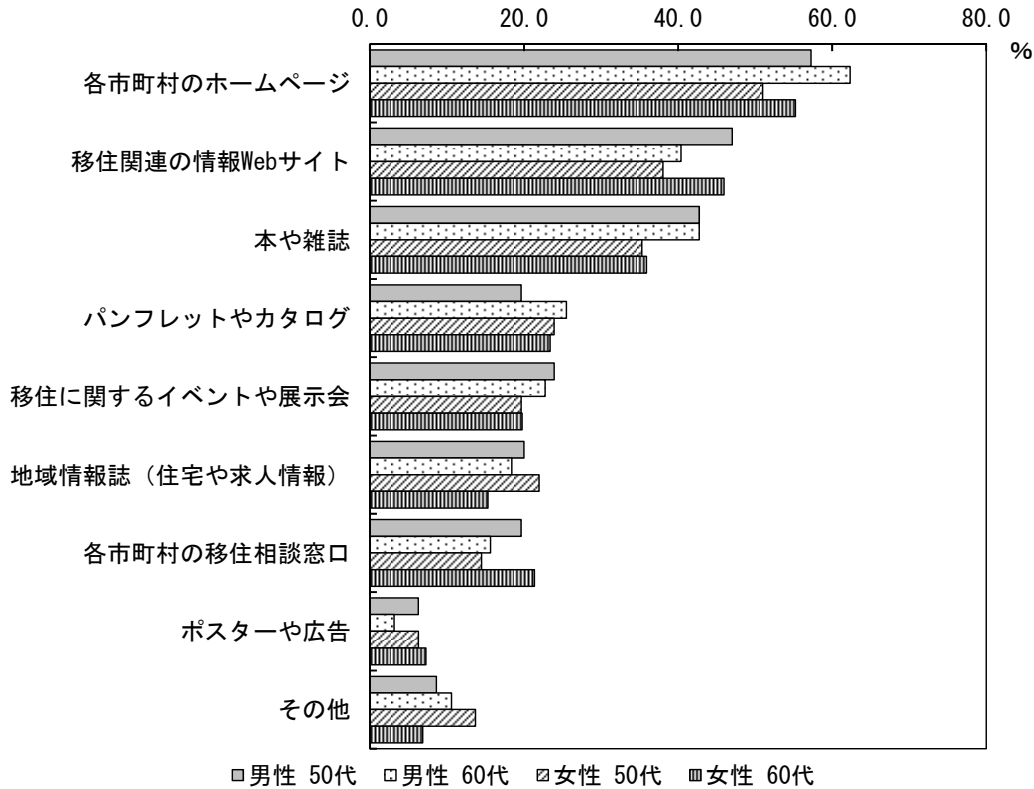
n 数（男性 50 代 255 件・60 代 255 件/女性 50 代 255 件・60 代 248 件）

【参考情報源】

問3 移住や二地域居住先を決めるために、参考にする情報源は何ですか。(複数回答方式)

「移住に関する情報源」について性年代による傾向を確認した。いずれの性年代も大きな違いは無いが、男性 50 代では「パンフレットやカタログ」が全体より 3.5%低かった。

図表 2-2 移住に関する情報源 (MA)



		合計	各市町村のホームページ	移住関連の情報Webサイト	本や雑誌	パンフレットやカタログ	移住に関するイベントや展示会	地域情報誌(住宅や求人情報)	各市町村の移住相談窓口	ポスターや広告	その他
全体		1,013	572	434	397	234	218	192	180	58	101
		100.0	56.5	42.8	39.2	23.1	21.5	19.0	17.8	5.7	10.0
性年代	男性 50代	255	146	120	109	50	61	51	50	16	22
		100.0	57.3	47.1	42.7	19.6	23.9	20.0	19.6	6.3	8.6
	男性 60代	255	159	103	109	65	58	47	40	8	27
		100.0	62.4	40.4	42.7	25.5	22.7	18.4	15.7	3.1	10.6
女性 50代		255	130	97	90	61	50	56	37	16	35
		100.0	51.0	38.0	35.3	23.9	19.6	22.0	14.5	6.3	13.7
女性 60代		248	137	114	89	58	49	38	53	18	17
		100.0	55.2	46.0	35.9	23.4	19.8	15.3	21.4	7.3	6.9

n 数 (男性 50 代 255 件・60 代 255 件/女性 50 代 255 件・60 代 248 件)

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

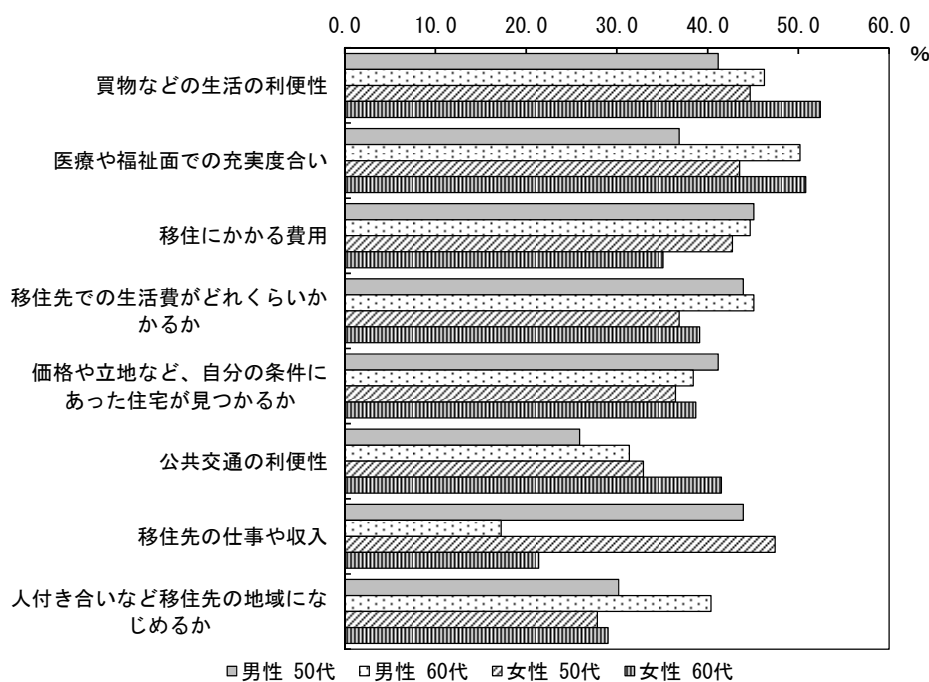
【不安や阻害の要因】

問5 移住や二地域居住先を検討する上で、不安や阻害になるものはありますか。(複数回答方式)

「移住の阻害要因」について性年代による傾向を確認した。50代では、男性は「移住にかかる費用」や「生活費」「仕事や収入」を、女性では「仕事や収入」と主に金銭面を阻害要因としている。60代では、男女ともに「医療や福祉」「買物などの生活の利便性」など生活面を阻害要因としている。

また、男性60代では「人付き合いなど移住先の地域になじめるか」が40.4%と、全体に対し8.5%高かった。

図表2-3 移住の阻害要因 (MA)



		合計	買物などの生活の利便性	医療や福祉面での充実度合い	移住にかかる費用	移住先での生活費がどれくらいかかるか	価格や立地など、自分の条件にあった住宅が見つかるか	公共交通の利便性	移住先の仕事や収入	人付き合いなど移住先の地域になじめるか
全体		1,013	467	459	425	418	392	333	330	323
		100.0	46.1	45.3	42.0	41.3	38.7	32.9	32.6	31.9
性年代	男性 50代	255	105	94	115	112	105	66	112	77
		100.0	41.2	36.9	45.1	43.9	41.2	25.9	43.9	30.2
	男性 60代	255	118	128	114	115	98	80	44	103
		100.0	46.3	50.2	44.7	45.1	38.4	31.4	17.3	40.4
	女性 50代	255	114	111	109	94	93	84	121	71
	100.0	44.7	43.5	42.7	36.9	36.5	32.9	47.5	27.8	
女性 60代	248	130	126	87	97	96	103	53	72	
	100.0	52.4	50.8	35.1	39.1	38.7	41.5	21.4	29.0	

n 数 (男性 50代 255 件・60代 255 件/女性 50代 255 件・60代 248 件)

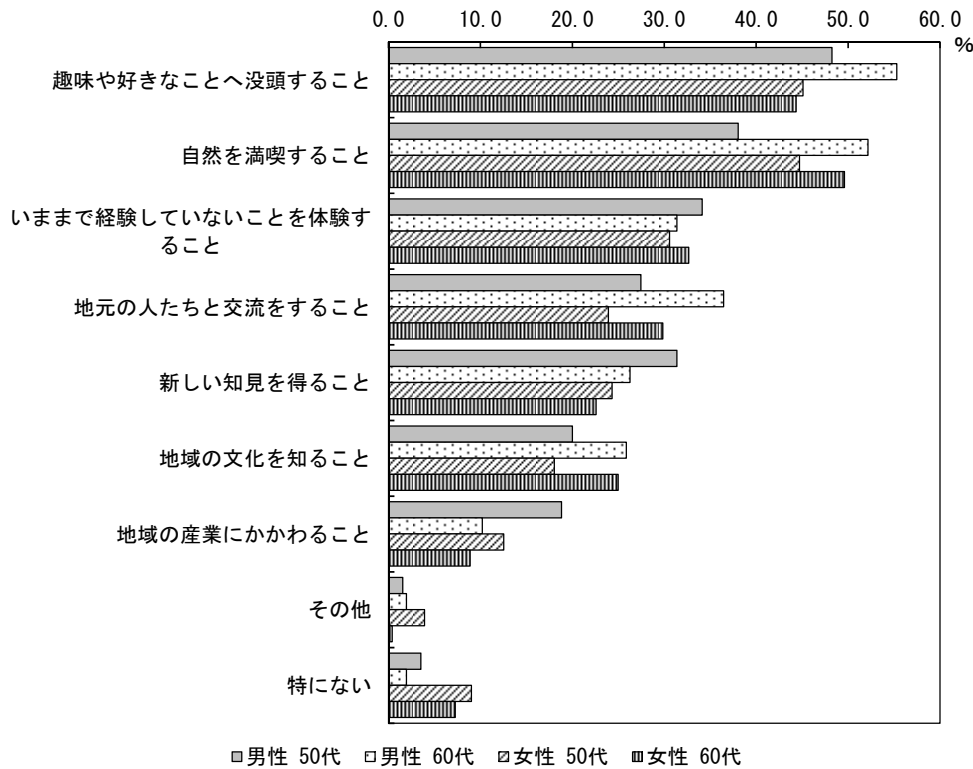
※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

【コンテンツへの要望】

問6 移住や二地域居住した先で期待するコンテンツはなんですか。(複数回答方式：3つまで)

「移住先で期待すること」について性年代による傾向を確認した。「自然を満喫すること」が全体と比較し、60代男性で6.1%、女性で3.5%高かった。また、「地元の人たちとの交流」は60代男性が最も高く、全体より7.1%高い。「地域の産業にかかわること」は、50代男性が全体より6.2%高かった。

図表2-4 移住先で期待すること (MA3)



	合計	趣味や好きなことへ没頭	自然を満喫すること	いままで経験していないことを体験すること	地元の人たちと交流をすること	新しい知見を得ること	地域の文化を知ること	地域の産業にかかわること	その他	特になし	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	1,013	489	467	326	298	265	225	128	20	55	
	100.0	48.3	46.1	32.2	29.4	26.2	22.2	12.6	2.0	5.4	
性年代	男性 50代	255	123	97	87	70	80	51	48	4	9
		100.0	48.2	38.0	34.1	27.5	31.4	20.0	18.8	1.6	3.5
	男性 60代	255	141	133	80	93	67	66	26	5	5
		100.0	55.3	52.2	31.4	36.5	26.3	25.9	10.2	2.0	2.0
女性 50代	255	115	114	78	61	62	46	32	10	23	
	100.0	45.1	44.7	30.6	23.9	24.3	18.0	12.5	3.9	9.0	
女性 60代	248	110	123	81	74	56	62	22	1	18	
	100.0	44.4	49.6	32.7	29.8	22.6	25.0	8.9	0.4	7.3	

n 数 (男性 50代 255件・60代 255件/女性 50代 255件・60代 248件)

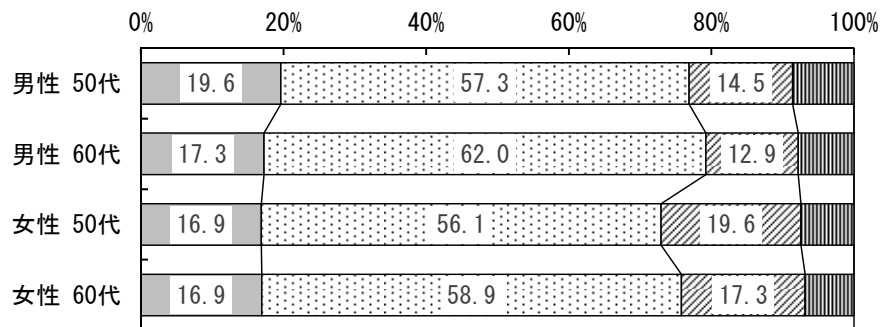
※ 複数回答方式であるため、合計が100%、1,013件とはならない。

【「学びや体験・交流」への参加意向】

問7 移住や二地域居住先で、「学びや体験・交流」に参加したいと思いますか。(単数回答方式)

「学びや体験・交流」への参加意向について性年代による傾向を確認した。「参加したい」は50代男性が、「内容によっては参加したい」は60代男性が最も高く、それぞれ全体より1.9%、3.5%高かった。

図表2-5 移住先での「学びや体験・交流」への参加意向 (SA)



■参加したい □内容によっては参加したい ▨わからない ▩参加したくない

		合計	参加したい	内容によっては参加したい	わからない	参加したくない
全体		1,013	179	593	163	78
		100.0	17.7	58.5	16.1	7.7
性年代	男性 50代	255	50	146	37	22
		100.0	19.6	57.3	14.5	8.6
	男性 60代	255	44	158	33	20
		100.0	17.3	62.0	12.9	7.8
	女性 50代	255	43	143	50	19
		100.0	16.9	56.1	19.6	7.5
女性 60代	248	42	146	43	17	
	100.0	16.9	58.9	17.3	6.9	

n 数 (男性 50代 255 件・60代 255 件/女性 50代 255 件・60代 248 件)

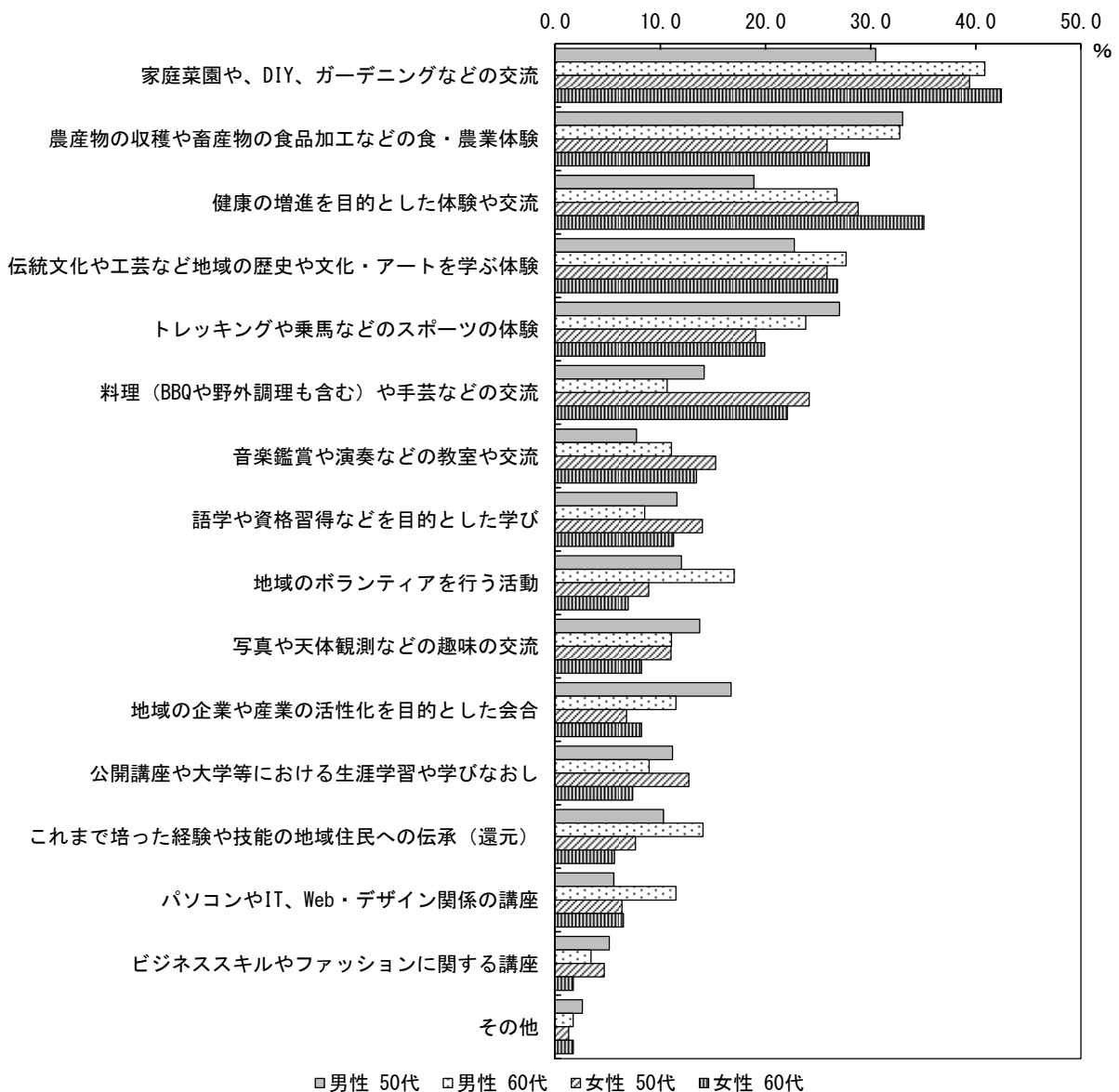
【興味のある「学びや体験・交流」メニュー】

問8 どのような「学びや体験・交流」のメニューに興味がありますか。(複数回答方式：3つまで)

「関心のある「学びや体験・交流」メニュー」について性年代による傾向を確認した。「農作物の収穫や畜産物の食品加工などの食・農業体験」は、全体と比較して、50代男性が2.6%、60代男性が2.4%高く、「健康の増進を目的とした体験や交流」は、全体と比較して、50代女性が1.4%、60代女性が7.7%高い。

その他、全体と比較して、50代男性では「トレッキングや乗馬などのスポーツ体験」が4.5%高く、50代女性では「料理や手芸などの交流」が6.4%高い。60代男性では「地域のボランティアを行う活動」が5.8%高かった。

図表2-6 関心のある「学びや体験・交流」のメニューカテゴリー (MA3)



		合計	家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流	農産物の収穫や畜産物の	健康の増進を目的とした	伝統文化や工芸など地域の歴史や文化・アートを学ぶ体験	のスポーツや乗馬などの体験	料理（BBQや野外調理も含む）や手芸などの交流	音楽鑑賞や演奏などの教室や交流	語学や資格習得などを目的とした学び	
全体		935 100.0	358 38.3	284 30.4	256 27.4	241 25.8	210 22.5	166 17.8	111 11.9	106 11.3	
性年代	男性 50代	233 100.0	71 30.5	77 33.0	44 18.9	53 22.7	63 27.0	33 14.2	18 7.7	27 11.6	
		男性 60代	235 100.0	96 40.9	77 32.8	63 26.8	65 27.7	56 23.8	25 10.6	26 11.1	20 8.5
	女性 50代	236 100.0	93 39.4	61 25.8	68 28.8	61 25.8	45 19.1	57 24.2	36 15.3	33 14.0	
		女性 60代	231 100.0	98 42.4	69 29.9	81 35.1	62 26.8	46 19.9	51 22.1	31 13.4	26 11.3
	全体		105 11.2	103 11.0	101 10.8	94 10.1	88 9.4	70 7.5	35 3.7	17 1.8	
	性年代	男性 50代	28 12.0	32 13.7	39 16.7	26 11.2	24 10.3	13 5.6	12 5.2	6 2.6	
男性 60代			40 17.0	26 11.1	27 11.5	21 8.9	33 14.0	27 11.5	8 3.4	4 1.7	
女性 50代		21 8.9	26 11.0	16 6.8	30 12.7	18 7.6	15 6.4	15 4.7	11 1.3	3 1.3	
		女性 60代	16 6.9	19 8.2	19 8.2	17 7.4	13 5.6	15 6.5	4 1.7	4 1.7	

n 数（男性 50 代 255 件・60 代 255 件/女性 50 代 255 件・60 代 248 件）

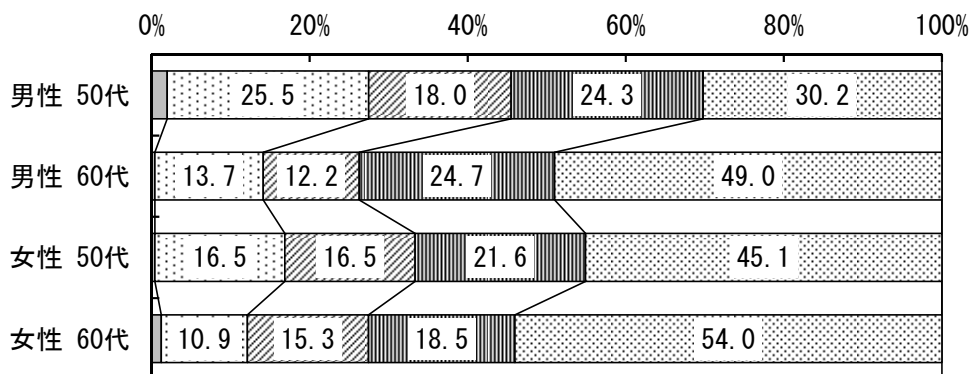
※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、935 件とはならない。

【移住や二地域居住の候補になるか】

問 12 あなたにとって十勝地域は移住や二地域居住の候補となりますか。(単数回答方式)

「十勝地域への移住の意向」について性年代による傾向を確認した。「第一候補となる」「いくつかの候補となる」を合わせると、全体に比べ50代男性が9.8%高く、60代女性では5.6%低かった。「候補とならない」については、60代女性が54.0%と最も高かった。

図表 2-7 十勝地域への移住意向 (SA)



- 第一候補になる
- いくつかの候補のひとつになる
- ▣ 興味があるので、「ちょっと暮らし」などの移住体験をしてみたい
- ▢ どちらともいえない
- 候補にはならない

		第一候補になる	いくつかの候補のひとつになる	興味があるので、「ちょっと暮らし」などの移住体験してみたい	どちらともいえない	候補にはならない	
合計		1,013	169	157	226	451	
		100.0	16.7	15.5	22.3	44.5	
性年代	男性 50代	255	65	46	62	77	
		100.0	2.0	25.5	18.0	24.3	30.2
	男性 60代	255	35	31	63	125	
		100.0	0.4	13.7	12.2	24.7	49.0
	女性 50代	255	42	42	55	115	
		100.0	0.4	16.5	16.5	21.6	45.1
女性 60代	248	27	38	46	134		
	100.0	1.2	10.9	15.3	18.5	54.0	

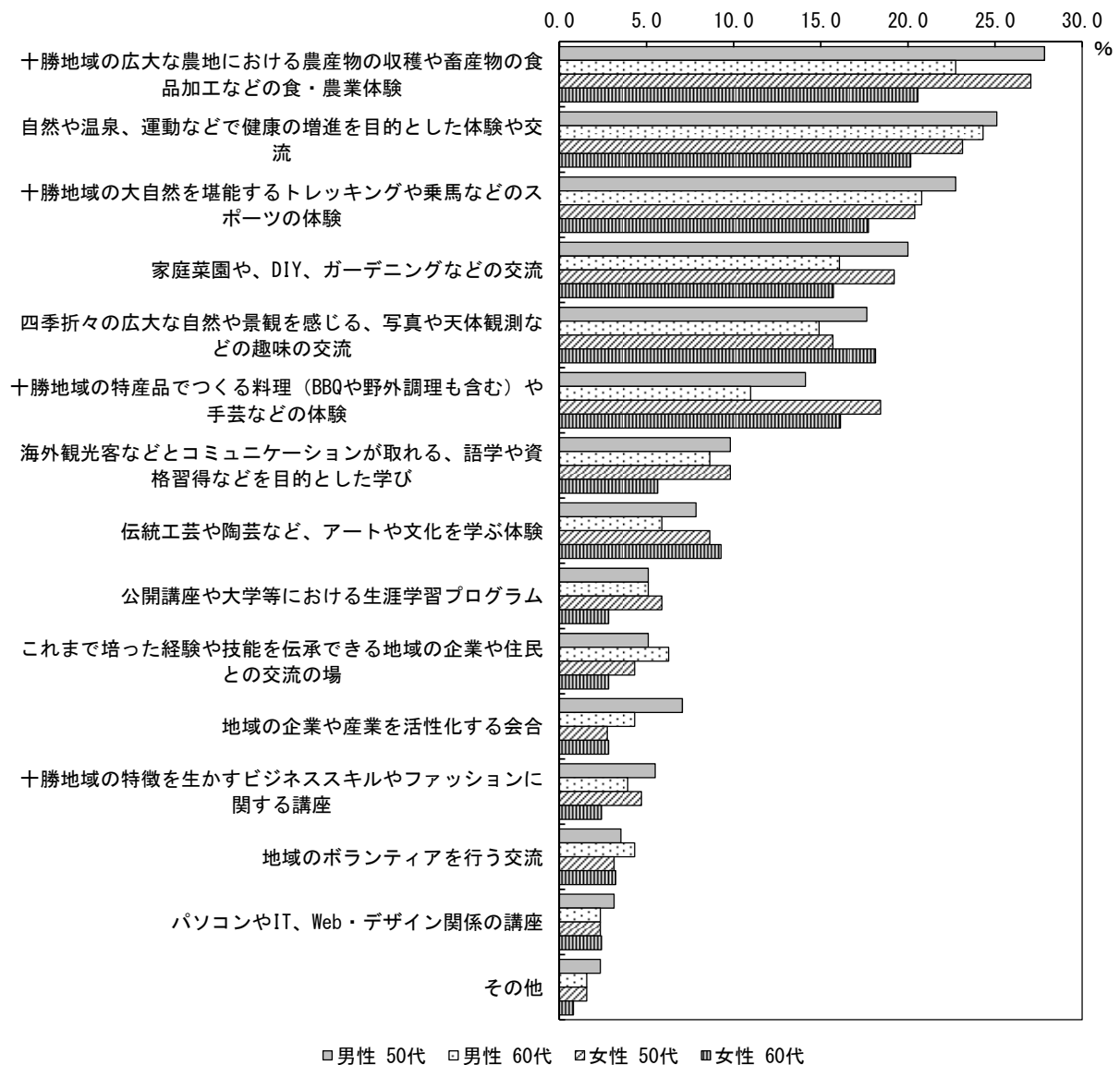
n 数 (男性 50代 255 件・60代 255 件/女性 50代 255 件・60代 248 件)

【十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」】

問 19 こんなことができるならば十勝地域に行ってみたい。という「学びや体験・交流」のメニューがありましたら教えてください。（複数回答方式）

「十勝地域への移住の誘引となる「学びや体験・交流」について性年代による傾向を確認した。他性年代では「食・農業体験」への回答が最も多いのに対し、60代男性では「健康増進を目的とした体験・交流」への回答が最も多くなっている。

図表 2-8 十勝地域に魅力を感じる「学びや体験・交流」のメニュー（MA）



3-2) 現居住地ごとの傾向について

移住に関する考え方や「学び」への感心など、現居住地による傾向の違いを確認した。

[分析対象設問]

	調査項目
移住や二地域居住に関して	問 2 検討・候補地域
	問 5 不安や阻害の要因
	問 7 「学びや体験・交流」への参加意向
	問 8 興味のある「学びや体験・交流」メニュー
	問 9 移住開始希望時期
十勝地域に関して	問 12 移住や二地域居住の候補になるか
	問 19 十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」

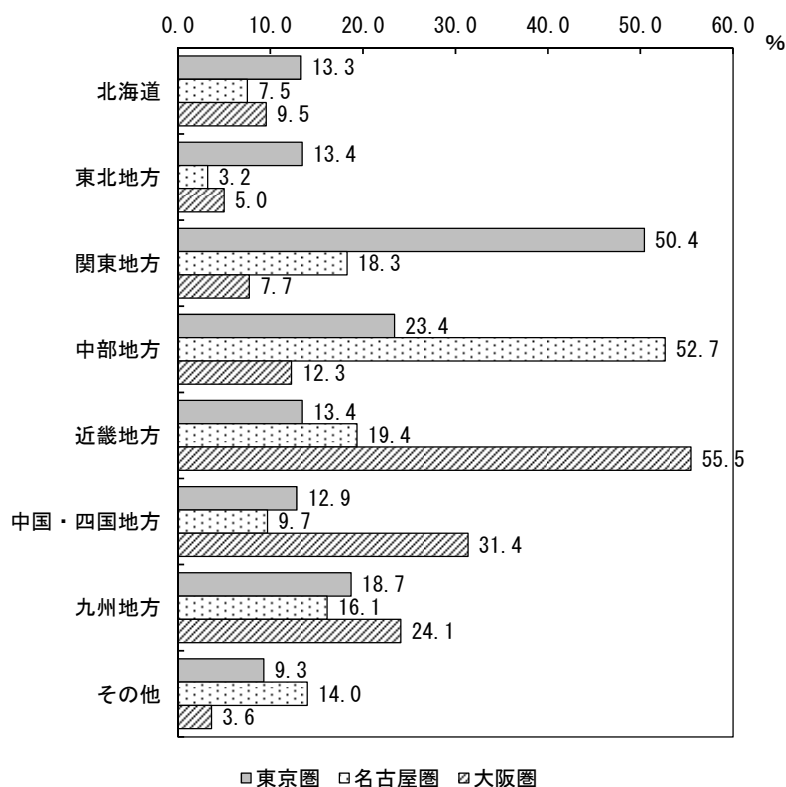
【検討・候補地域】

問 2 現在、移住や二地域居住の候補となる地域は具体的にどこですか。

対象となる地域をすべてお選びください。(複数回答方式)

「移住先の候補地域」について現居住地による傾向を確認した。全体的に、現居住地近郊もしくは、西側地域を候補する傾向が見られた。東京圏では「北海道」を候補とする傾向が他の地域よりも少し高いが「九州地方」に比べ5.3%低かった。

図表 3-1 移住先候補地域 (MA)



		北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国・四国地方	九州地方	その他	
合計										
全体	1,013	121	108	387	240	234	168	199	86	
	100.0	11.9	10.7	38.2	23.7	23.1	16.6	19.6	8.5	
居住地	東京圏	700	93	94	353	164	94	90	131	65
		100.0	13.3	13.4	50.4	23.4	13.4	12.9	18.7	9.3
	名古屋圏	93	7	3	17	49	18	9	15	13
		100.0	7.5	3.2	18.3	52.7	19.4	9.7	16.1	14.0
大阪圏	220	21	11	17	27	122	69	53	8	
	100.0	9.5	5.0	7.7	12.3	55.5	31.4	24.1	3.6	

n 数（東京圏 700 件・名古屋圏 93 件・大阪圏 220 件）

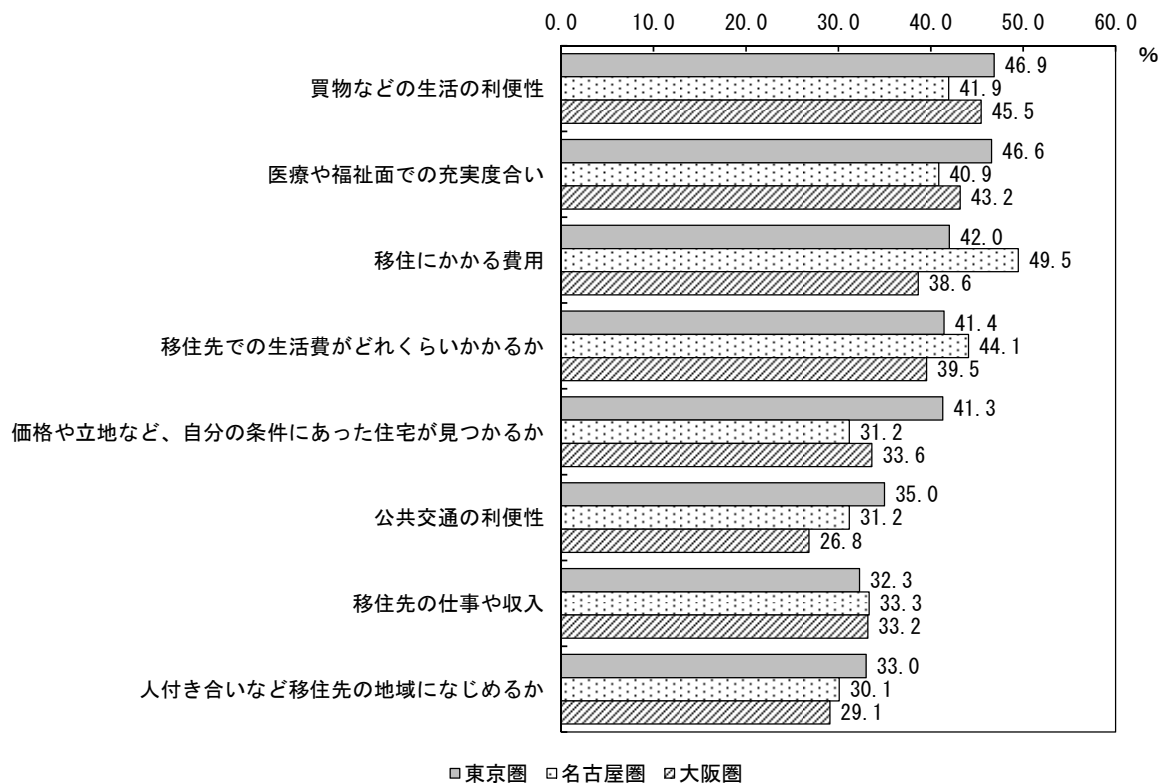
※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

【不安や阻害の要因】

問 5 移住や二地域居住先を検討する上で、不安や阻害になるものはありますか。（複数回答方式）

「移住の阻害要因」について現居住地による傾向を確認した。名古屋圏では「移住にかかる費用」や、「移住先での生活費」が他の地域に比べ高い傾向が見られた。また、東京圏では「自分の条件にあった住宅が見つかるか」が名古屋圏に比べ 10.1%、大阪圏に比べ 7.7%高かった。

図表 3-2 移住の阻害要因（MA）



		買物などの生活の利便性	医療や福祉面での充実度	移住にかかる費用	移住先での生活費がどれくらいかかるか	物件価格や立地など、自分が見つける条件	公共交通の利便性	移住先の仕事や収入	人付き合いなど移住先の地域になじめるか
	合計								
全体	1,013	467	459	425	418	392	333	330	323
	100.0	46.1	45.3	42.0	41.3	38.7	32.9	32.6	31.9
居住地	東京圏	700	328	326	294	290	245	226	231
		100.0	46.9	46.6	42.0	41.4	35.0	32.3	33.0
	名古屋圏	93	39	38	46	41	29	29	31
		100.0	41.9	40.9	49.5	44.1	31.2	31.2	33.3
大阪圏	220	100	95	85	87	74	59	73	64
	100.0	45.5	43.2	38.6	39.5	33.6	26.8	33.2	29.1

n 数（東京圏 700 件・名古屋圏 93 件・大阪圏 220 件）

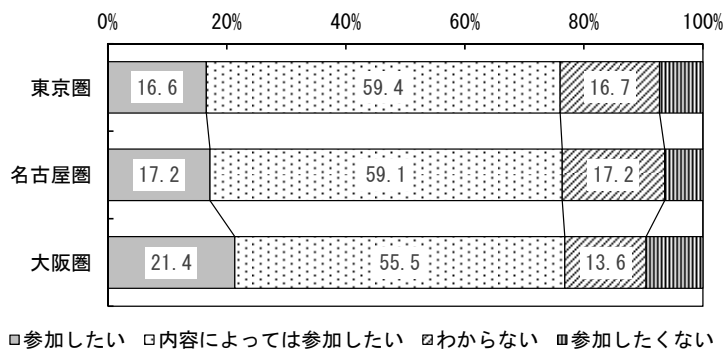
※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

【「学びや体験・交流」への参加意向】

問 7 移住や二地域居住先で、「学びや体験・交流」に参加したいと思いますか。（単数回答方式）

「学びや体験・交流」への参加意向について現居住地による傾向を確認した。「参加したい」は大阪圏が最も高く、全体より 3.7% 高かった。

図表 3-3 移住先での「学びや体験・交流」への参加意向（SA）



		参加したい	内容によっては参加したい	わからない	参加したくない	
	合計					
全体	1,013	179	593	163	78	
	100.0	17.7	58.5	16.1	7.7	
居住地	東京圏	700	116	416	117	51
		100.0	16.6	59.4	16.7	7.3
	名古屋圏	93	16	55	16	6
		100.0	17.2	59.1	17.2	6.5
大阪圏	220	47	122	30	21	
	100.0	21.4	55.5	13.6	9.5	

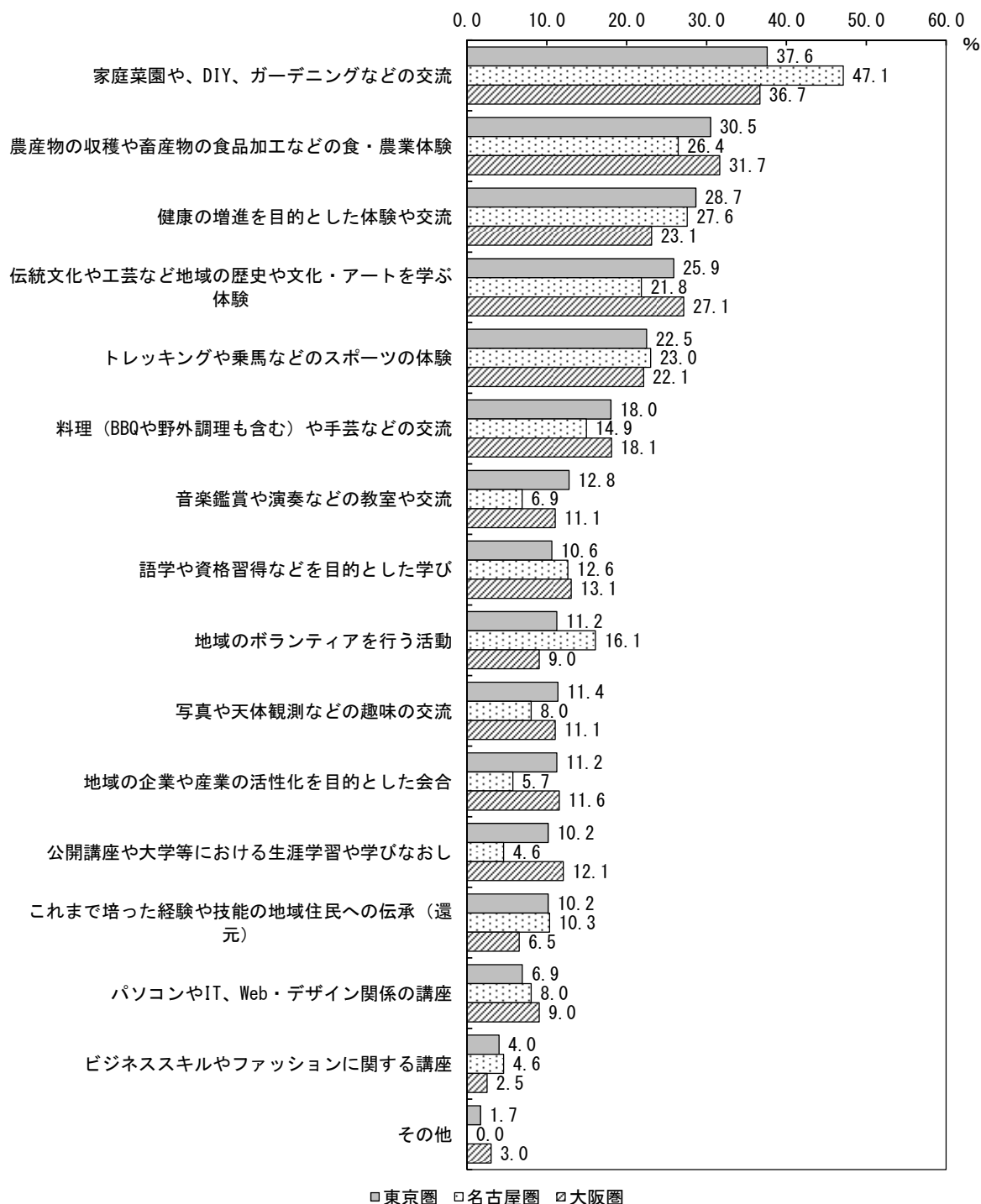
n 数（東京圏 700 件・名古屋圏 93 件・大阪圏 220 件）

【興味のある「学びや体験・交流」メニュー】

問8 どのような「学びや体験・交流」のメニューに興味がありますか。(複数回答方式：3つまで)

関心のある「学びや体験・交流」メニューについて現居住地による傾向を確認した。名古屋圏は「家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流」が他の地域よりも10%ほど高かった。

図表3-4 関心のある「学びや体験・交流」のメニューカテゴリー (MA3)



		合計	家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流	農産物の収穫や畜産物の加工などの食・農業の体験	健康の増進を目的とした体験や交流	伝統文化や工芸など地域の歴史や文化・アートを学ぶ体験	スポーツや乗馬などの体験	料理（BBQや野外調理も含む）や手芸などの交流	音楽鑑賞や演奏などの教室や交流	語学や資格習得などを目的とした学び
全体		935 100.0	358 38.3	284 30.4	256 27.4	241 25.8	210 22.5	166 17.8	111 11.9	106 11.3
居住地	東京圏	649 100.0	244 37.6	198 30.5	186 28.7	168 25.9	146 22.5	117 18.0	83 12.8	69 10.6
	名古屋圏	87 100.0	41 47.1	23 26.4	24 27.6	19 21.8	20 23.0	13 14.9	6 6.9	11 12.6
	大阪圏	199 100.0	73 36.7	63 31.7	46 23.1	54 27.1	44 22.1	36 18.1	22 11.1	26 13.1
		う地域のボランティアを行う活動	写真や天体観測などの趣味の交流	地域の企業や産業の活性化を目的とした会合	公開講座や大学等における生涯学習や学びなおし	（還元） この地域住民への経験や技能の地域住民への経験や技能の	講座 Web・デザイン関係の	パソコンやIT、 シヨニにススルやファツ	その他	
全体		105 11.2	103 11.0	101 10.8	94 10.1	88 9.4	70 7.5	35 3.7	17 1.8	
居住地	東京圏	73 11.2	74 11.4	73 11.2	66 10.2	66 10.2	45 6.9	26 4.0	11 1.7	
	名古屋圏	14 16.1	7 8.0	5 5.7	4 4.6	9 10.3	7 8.0	4 4.6	0 0.0	
	大阪圏	18 9.0	22 11.1	23 11.6	24 12.1	13 6.5	18 9.0	5 2.5	6 3.0	

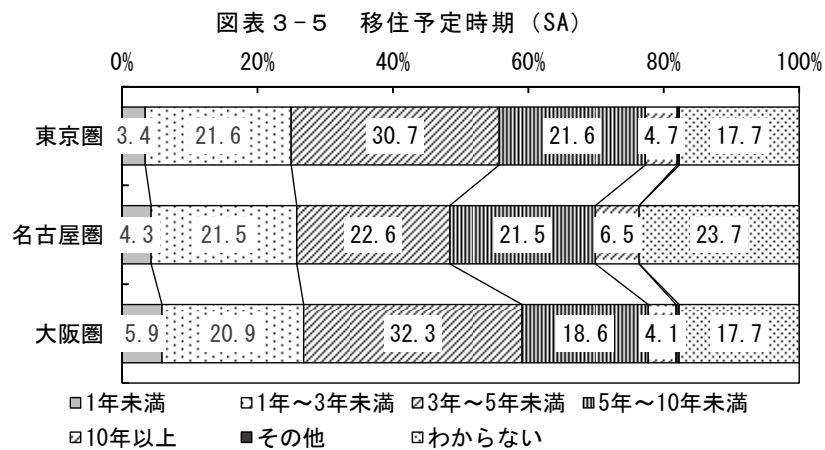
n数（東京圏 649 件・名古屋圏 87 件・大阪圏 199 件）

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、935 件とはならない。

【移住開始希望時期】

問9 実際に移住を開始するとしたら、いつごろにしたいですか。(単数回答方式)

移住の予定時期について現居住地による傾向を確認した。大阪圏は他の地域より『1年未満』が2%ほど高いなど、早い時期での移住を検討しているといえる。



		1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	その他	わからない		
合計		41	217	307	212	48	3	185		
全体		1,013	100.0	4.0	21.4	30.3	20.9	4.7	0.3	17.7
居住地	東京圏	700	24	151	215	151	33	2	124	
		100.0	3.4	21.6	30.7	21.6	4.7	0.3	17.7	
	名古屋圏	93	4	20	21	20	6	0	22	
	100.0	4.3	21.5	22.6	21.5	6.5	0.0	23.7		
	大阪圏	220	13	46	71	41	9	1	39	
	100.0	5.9	20.9	32.3	18.6	4.1	0.5	17.7		

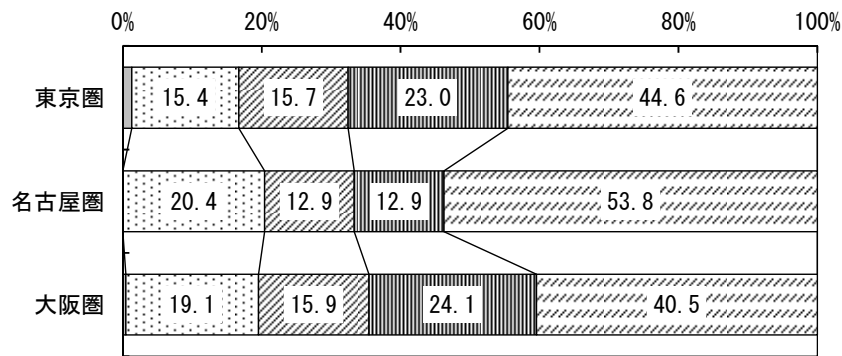
n数 (東京圏 700件・名古屋圏 93件・大阪圏 220件)

【移住や二地域居住の候補になるか】

問 12 あなたにとって十勝地域は移住や二地域居住の候補となりますか。(単純回答方式)

「十勝地域への移住の意向」について現居住地による傾向を確認した。地域による大きな差は認められなかった。

図表 3-6 十勝地域への移住意向 (SA)



- 第一候補になる
- いくつかの候補のひとつになる
- 興味があるので、「ちょっと暮らし」などの移住体験をしてみたい
- どちらともいえない
- 候補にはならない

		第一候補になる	いくつかの候補のひとつになる	興味があるので、「ちょっと暮らし」などの移住体験をしてみたい	どちらともいえない	候補にはならない	
合計		10	169	157	226	451	
全体		100.0	16.7	15.5	22.3	44.5	
居住地	東京圏	9	108	110	161	312	
		100.0	1.3	15.4	15.7	23.0	44.6
	名古屋圏	0	19	12	12	50	
		100.0	0.0	20.4	12.9	12.9	53.8
大阪圏	1	42	35	53	89		
	100.0	0.5	19.1	15.9	24.1	40.5	

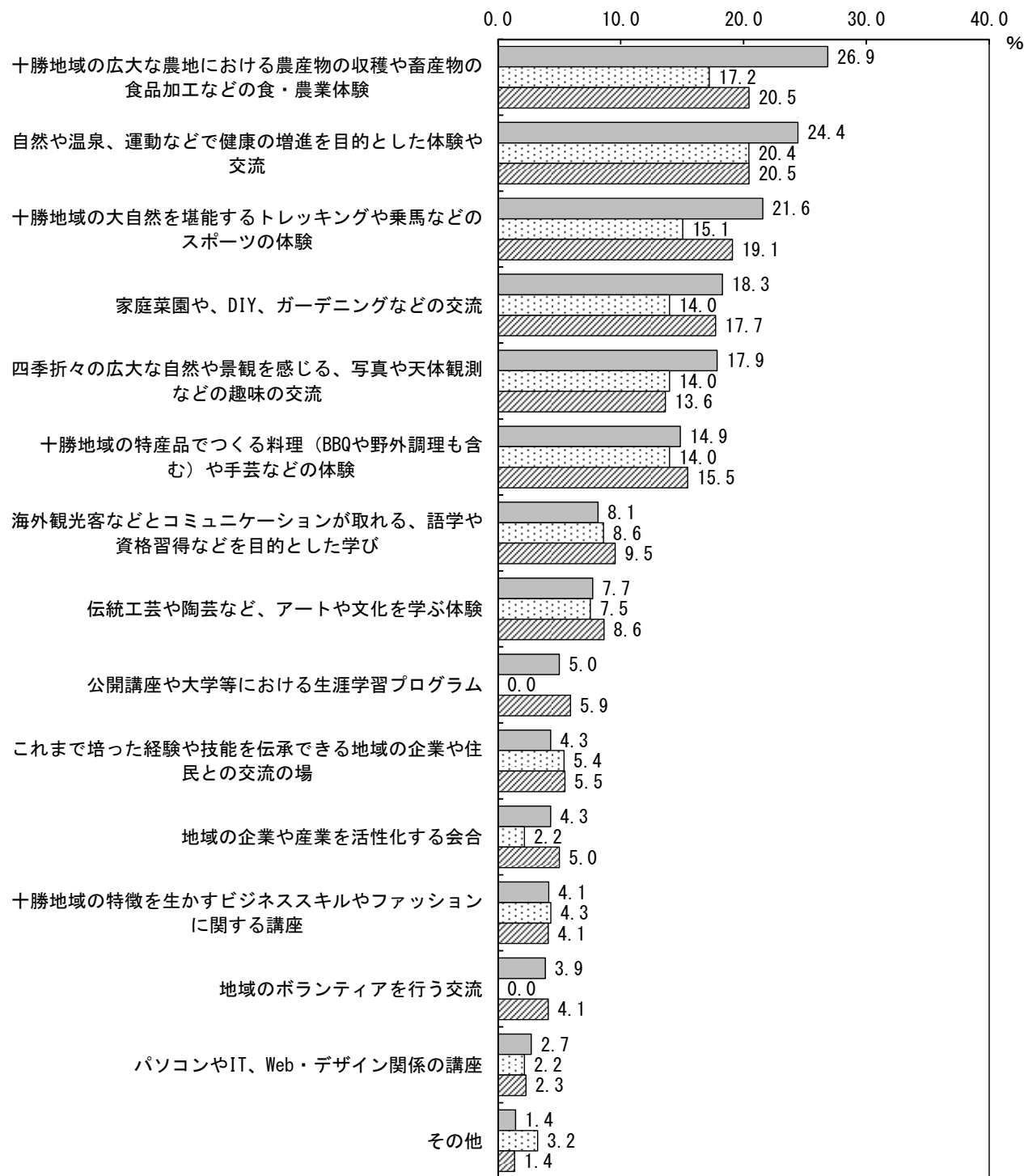
n 数 (東京圏 700 件・名古屋圏 93 件・大阪圏 220 件)

【十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」】

問 19 こんなことができるならば十勝地域に行ってみたい。という「学びや体験・交流」のメニューがありましたら教えてください。（複数回答方式）

「十勝への移住の誘引となる「学びや体験・交流」について現居住地による傾向を確認した。東京圏は他の地域に比べ「食・農業体験」が6～9%高かった。

図表 3-7 十勝地域に魅力を感じる「学びや体験・交流」のメニュー（MA）



■東京圏 □名古屋圏 ▨大阪圏

		合計	工農十 などの産物の 食・収穫や畜産 体験	増進を目的とし た体験や健康の 自然や温泉、運 動などで健康の 増進を目的とし た体験や健康の	ツの体験 レッキングや乗 馬などのスポーツ	家庭菜園や、D I Y、ガーデニ ングなどの交流	趣味の交流 感じる、写真や 天体観測などの 交流	四季折々の広大 な自然や景観を 楽しむ、写真や 天体観測などの 交流	手芸などの体験 （B B Q や野外 調理も含む）や	十勝地域の特産 品でつくる料理 （B B Q や野外 調理も含む）や	得などを目的と した学び	海外観光客など とコミュニケーション がとれる、語学 や資格習得など を目的とした学 び	文化を学ぶ体験 伝統工芸や陶芸 など、アートや
全体		1,013 100.0	249 24.6	235 23.2	207 20.4	180 17.8	168 16.6	151 14.9	86 8.5	80 7.9			
居住地	東京圏	700 100.0	188 26.9	171 24.4	151 21.6	128 18.3	125 17.9	104 14.9	57 8.1	54 7.7			
	名古屋圏	93 100.0	16 17.2	19 20.4	14 15.1	13 14.0	13 14.0	13 14.0	8 8.6	7 7.5			
	大阪圏	220 100.0	45 20.5	45 20.5	42 19.1	39 17.7	30 13.6	34 15.5	21 9.5	19 8.6			
全体		48 4.7	47 4.6	43 4.2	42 4.1	36 3.6	26 2.6	16 1.6	467 46.1				
居住地	東京圏	35 5.0	30 4.3	30 4.3	29 4.1	27 3.9	19 2.7	10 1.4	322 46.0				
	名古屋圏	0 0.0	5 5.4	2 2.2	4 4.3	0 0.0	2 2.2	3 3.2	42 45.2				
	大阪圏	13 5.9	12 5.5	11 5.0	9 4.1	9 4.1	5 2.3	3 1.4	103 46.8				

n 数（東京圏 700 件・名古屋圏 93 件・大阪圏 220 件）

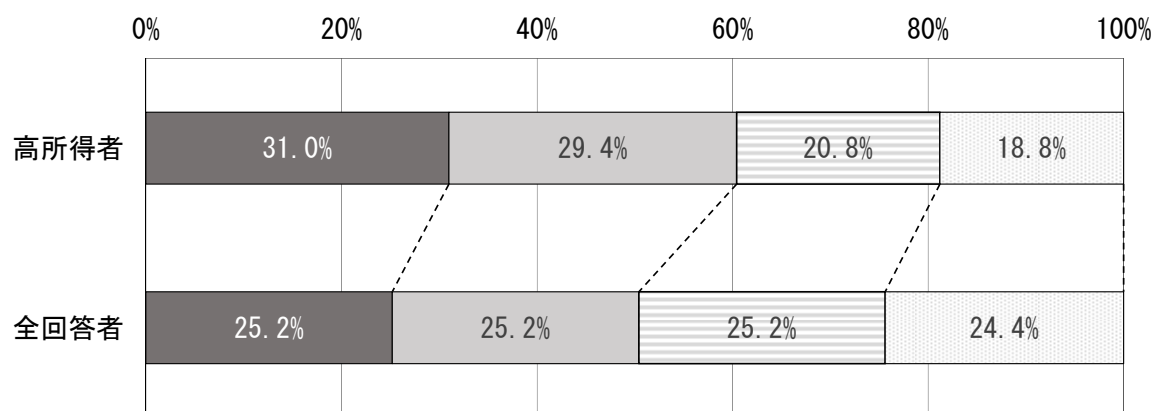
※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、1,013 件とはならない。

3-3) 高所得者の傾向について

全回答者のうち高所得者※に限定し、「移住」および「学びのメニュー」への意向などを確認した。

※ 高所得者は、金融資産 5,000 万円以上もしくは、年収 1,500 万円以上のものとした。

高所得者に分類した「回答者の性別年代」については、「男性 50 代」が 31.0%、「女性 50 代」が 29.4%、「男性 60 代」が 20.8%、「女性 60 代」が 18.8%と、下図で示すとおり全回答者の構成比と比較して男女間・世代間の偏りが生じており、この差も集計結果に影響を与えている。



■ 男性 50 代 □ 女性 50 代 □ 男性 60 代 □ 女性 60 代

男性 50 代	女性 50 代	男性 60 代	女性 60 代
31.0%	29.4%	20.8%	18.8%
(61 件)	(58 件)	(41 件)	(37 件)

〔分析対象設問〕

	調査項目
移住や二地域居住に関して	問 5 不安や阻害の要因
	問 7 「学びや体験・交流」への参加意向
	問 8 興味のある「学びや体験・交流」メニュー
十勝地域に関して	問 19 十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」

【不安や阻害の要因】

問5 移住や二地域居住先を検討する上で、不安や阻害になるものはありますか。(複数回答方式)

「移住の阻害要因」について高所得者による傾向を確認した。高所得者は全体と比較して、「移住にかかる費用」が11.5%、「移住先の仕事や収入」が16.4%低かった。

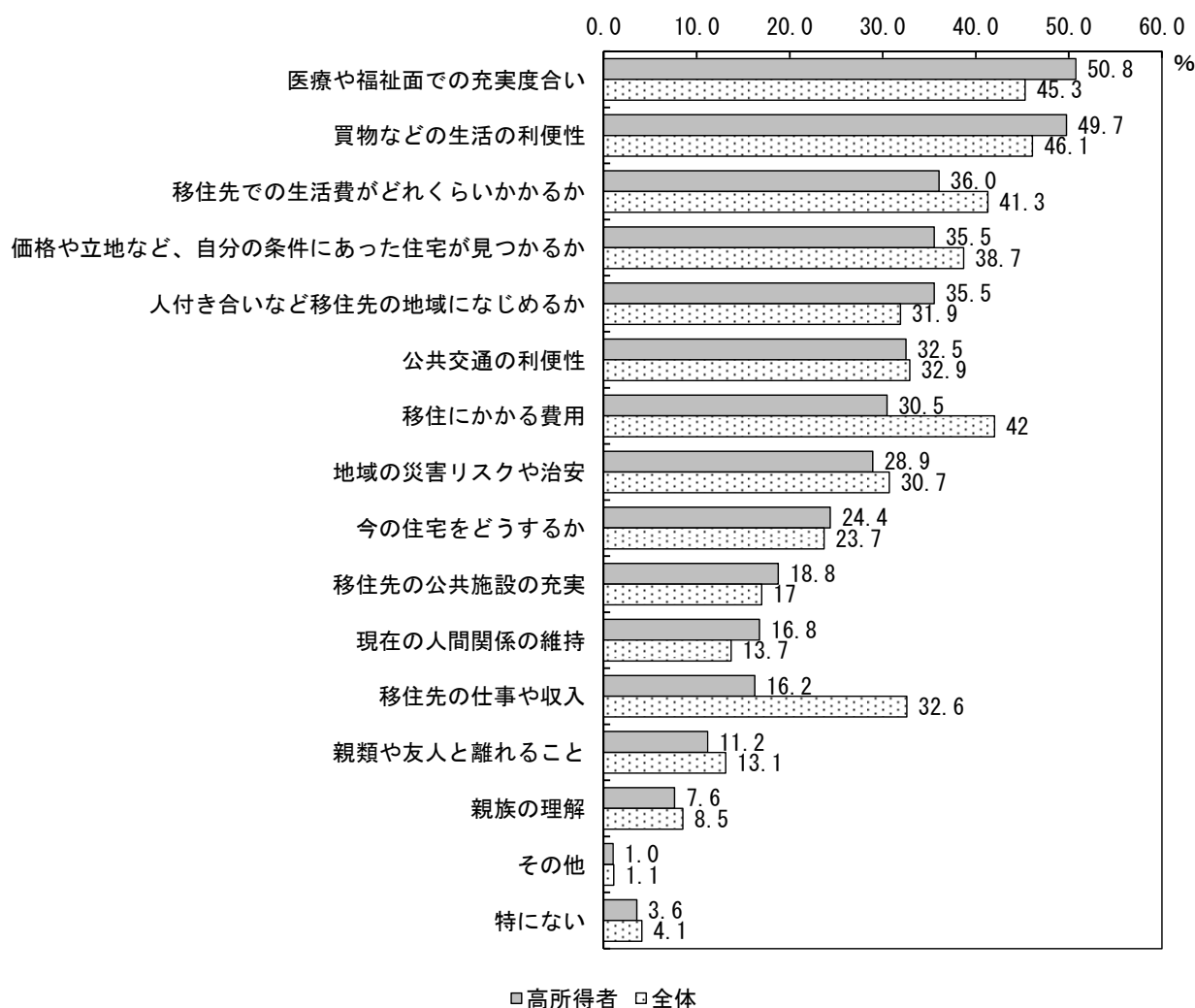
移住の阻害要因 [高所得者上位5項目] (MA)

n=197件

医療や福祉面での充実度合い	買物など生活の利便性	移住先での生活費	価格や立地など、自分の条件にあった住宅が見つかるか	人付き合いなど移住先の地域になじめるか
50.8% (100件)	49.7% (98件)	36.0% (71件)	35.5% (70件)	35.5% (70件)

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、197件とはならない。

図表4-1 移住の阻害要因 (MA)



【「学びや体験・交流」への参加意向】

問7 移住や二地域居住先で、「学びや体験・交流」に参加したいと思いますか。(単純回答方式)

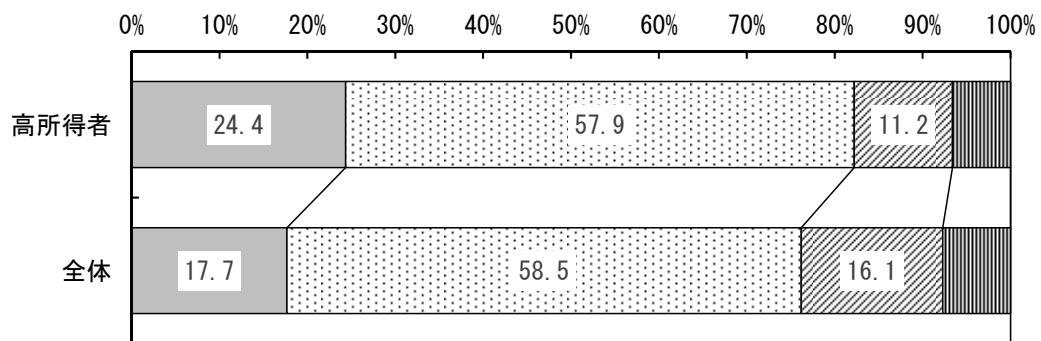
「学びや体験・交流」への参加意向について高所得者による傾向を確認した。高所得者は全体と比較して「参加したい」「内容によっては参加したい」合わせて6.1%高かった。

移住先での「学びや体験・交流」への参加意向 (SA)

n=197 件

参加したい	内容によっては参加したい	わからない	参加したくない
24.4% (48 件)	57.9% (114 件)	11.2% (22 件)	6.6% (13 件)

図表 4-2 移住先での「学びや体験・交流」への参加意向 (SA)



□参加したい □内容によっては参加したい □わからない □参加したくない

【興味のある「学びや体験・交流」メニュー】

問8 どのような「学びや体験・交流」のメニューに興味がありますか。(複数回答方式：3つまで)

関心のある「学びのメニューについて高所得者による傾向を確認した。高所得者は全体に比べ、「健康の増進を目的とした体験や交流」が4.6%低かった。これは、「本調査においては、高所得者のうち女性の占める比率が低かった」(図表2-6参照)ということの影響を受けたものと考えられる。

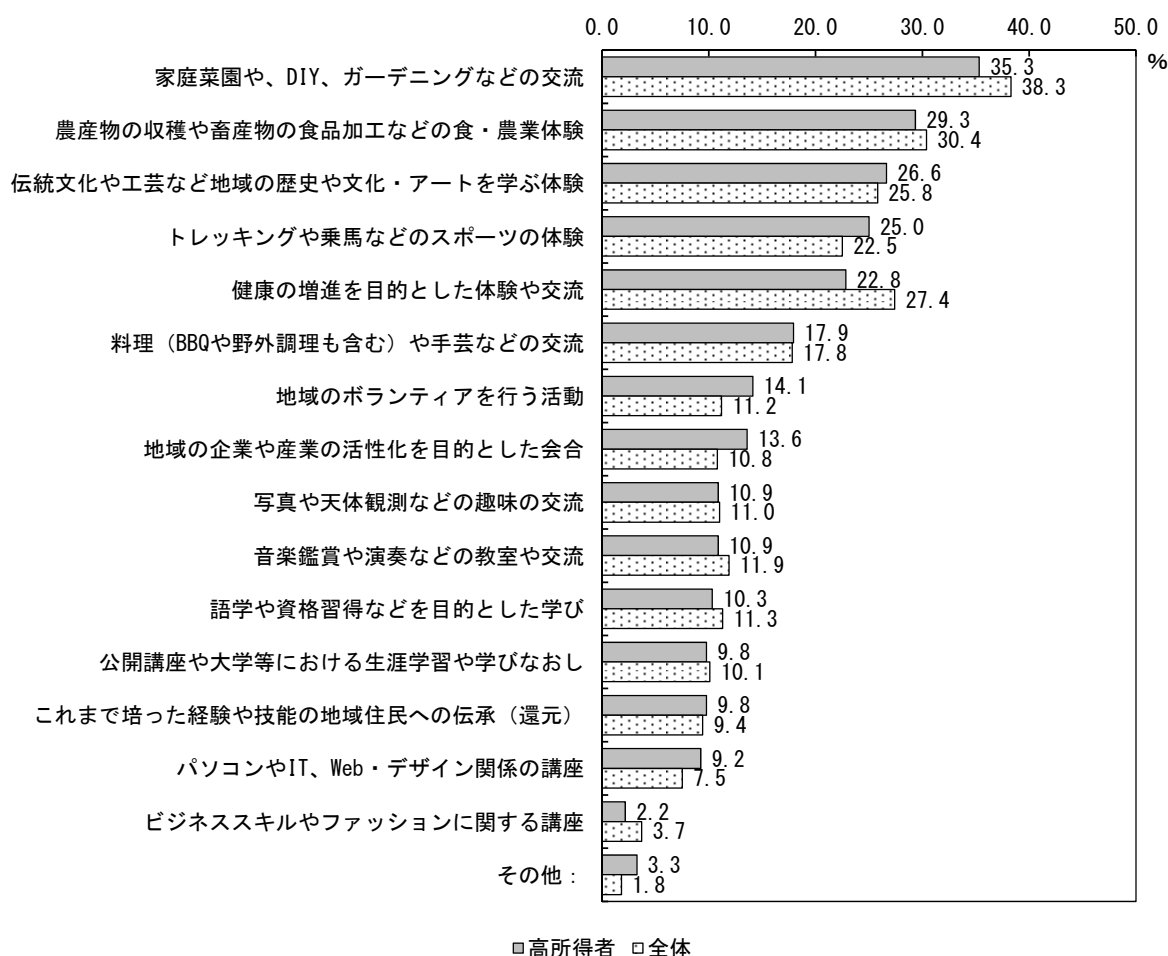
興味のある「学びのメニュー」[上位5項目](MA)

n=184件

家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流	農産物の収穫や畜産物の食品加工などの食・農業体験	伝統文化や工芸など地域の歴史や文化・アートを学ぶ体験	トレッキングや乗馬などのスポーツ体験	健康の増進を目的とした体験や交流
35.3% (65件)	29.3% (54件)	26.6% (49件)	25.0% (46件)	22.8% (42件)

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、184件とはならない。

図表4-3 関心のある「学びや体験・交流」のメニューカテゴリー (MA3)



【十勝地域に行きたくなる「学びや体験・交流」】

問 19 こんなことができるならば十勝地域に行ってみたい。という「学びや体験・交流」のメニューがありましたら教えてください。（複数回答方式）

「十勝地域への移住の誘引となる「学びのメニュー」について高所得者による傾向を確認した。高所得者は全体に比べ、「トレッキングや乗馬などのスポーツ体験」が7.5%、「写真や天体観測などの趣味の交流」が6.8%ほど高い傾向が見られた。

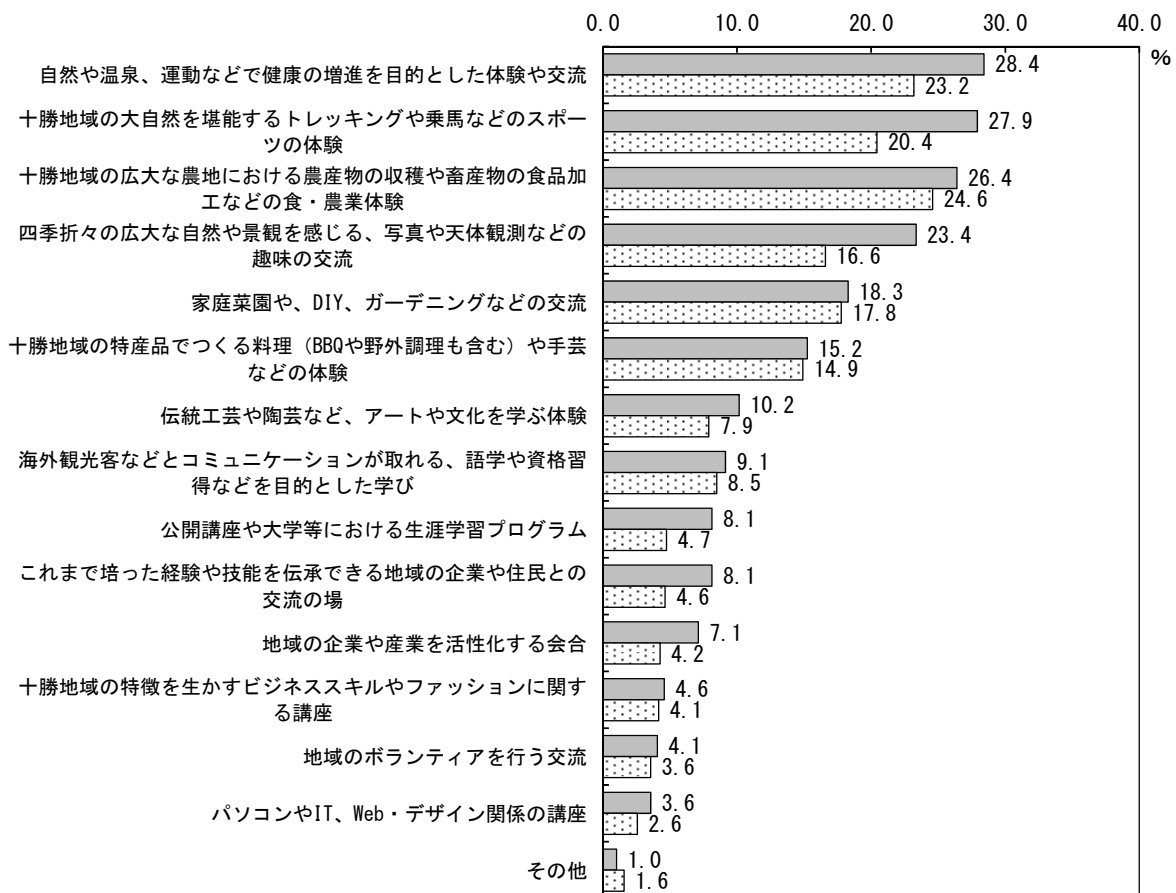
十勝地域への移住の誘引となる「学びや体験・交流のメニュー」（MA） n=197 件

自然や温泉、運動などの健康の増進を目的とした体験や交流	大自然を堪能するトレッキングや乗馬などのスポーツ体験	農産物の収穫や畜産物の食品加工などの食・農業体験	景観を感じる写真や天体観測などの趣味の交流	家庭菜園や、DIY、ガーデニングなどの交流
28.4% (56 件)	27.9% (55 件)	26.4% (52 件)	23.4% (46 件)	18.3% (36 件)

※ 回答のうち、「特になし」（35.5%）を除き記載。

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、197件とはならない。

図表 4-4 十勝地域に魅力を感じる「学びや体験・交流」のメニュー（MA）



□高所得者 □全体

2. 十勝地域への移住者を対象とした学びのニーズ調査

(1) 調査方法

1) 調査手法および対象者

現在、十勝地域に移住もしくは二地域居住をしている 50 代から 60 代の方を対象に、郵送によりアンケート調査を実施した。

対象者については、十勝管内の市町村から下記の選定要件に該当する方をご紹介いただき、アンケート調査への協力を得られた方を本調査の対象として選定したものである。

合わせてアンケート回答者の中から、聞き取り調査への協力を得られた方を対象にヒアリングを実施した。

【アンケート調査対象者の要件】

平成 28 年 8 月時点で、十勝管内市町村に居住（もしくは他地域との二地域居住）している、次の要件のいずれにも該当する方。

- 市町村が移住の相談窓口等を通じて把握している方
- 平成 22 年度～平成 27 年度にかけて、十勝管外から管内市町村に移住してきた（もしくは二地域居住を開始した）方
- 50 代もしくは 60 代の方（移住もしくは二地域居住開始の時点）

2) 調査目的

実際に十勝地域に移住された方の、移住の決め手・理由や移住前の想定、現状・希望、「学びのメニュー」への参加状況などを把握するため。

3) 回収数

全 10 件の発送を行い、全数の回答を得た。

※ なお、本項での集計結果はサンプル数が少ないため参考値である。

(2) 調査結果

※集計・分析上の注意事項

- ・ 図表中の上段は回答件数、下段は構成比 (%) を表している。
- ・ 図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表している。
- ・ 図表中の構成比 (%) については、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計は 100.0% にならない場合がある。

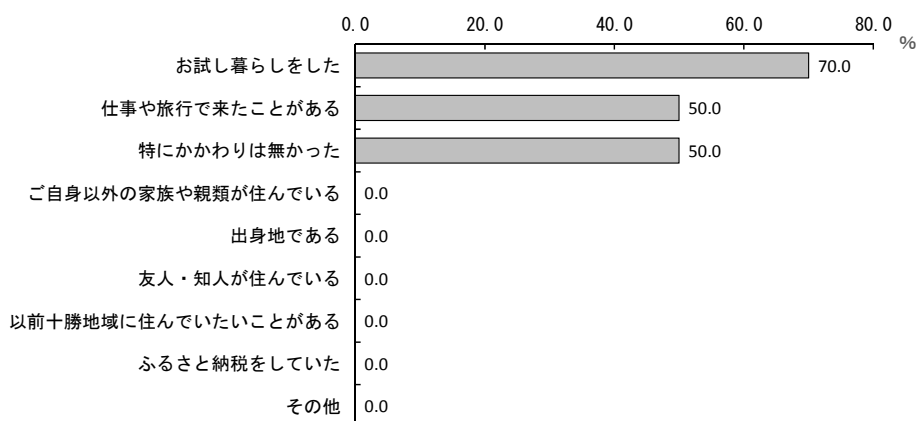
1) 十勝地域とあなたの関係について

問 1 移住前の十勝地域とのかかわり合いについて、当てはまるものをお答えください。
(複数回答方式)

問 2 [問 1 で『お試し暮らしをした』と回答された方にお聞きします]
滞在月と、滞在日数を教えてください。(自由記載方式)

- i 「十勝地域との関係性」について尋ねた(複数回答)。「お試し暮らしをした」(70.0%) が最も多く、次いで「仕事や旅行で来たことがある」(50.0%)、「特にかかわりは無かった」(50.0%)となり、他の項目については回答がなかった。
- ii 滞在月については、6月と8月が4件と、最も多かった。「お試し暮らし」の滞在日数(n=7)については、平均で65日/回、最長で180日/回、最短で13日/回であり、滞在回数については、3回が4名、1回が3名であった。

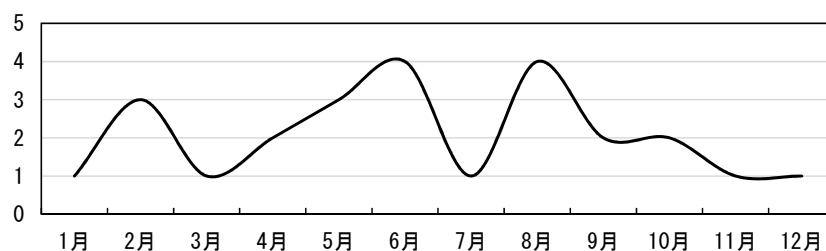
図表 5-1-i 十勝地域とのかかわり合い (MA)



n=10 件

※ 複数回答方式であるため、合計が 100%、10 件とならない。

図表 5-1-ii お試し暮らしでの滞在月



n=7 件

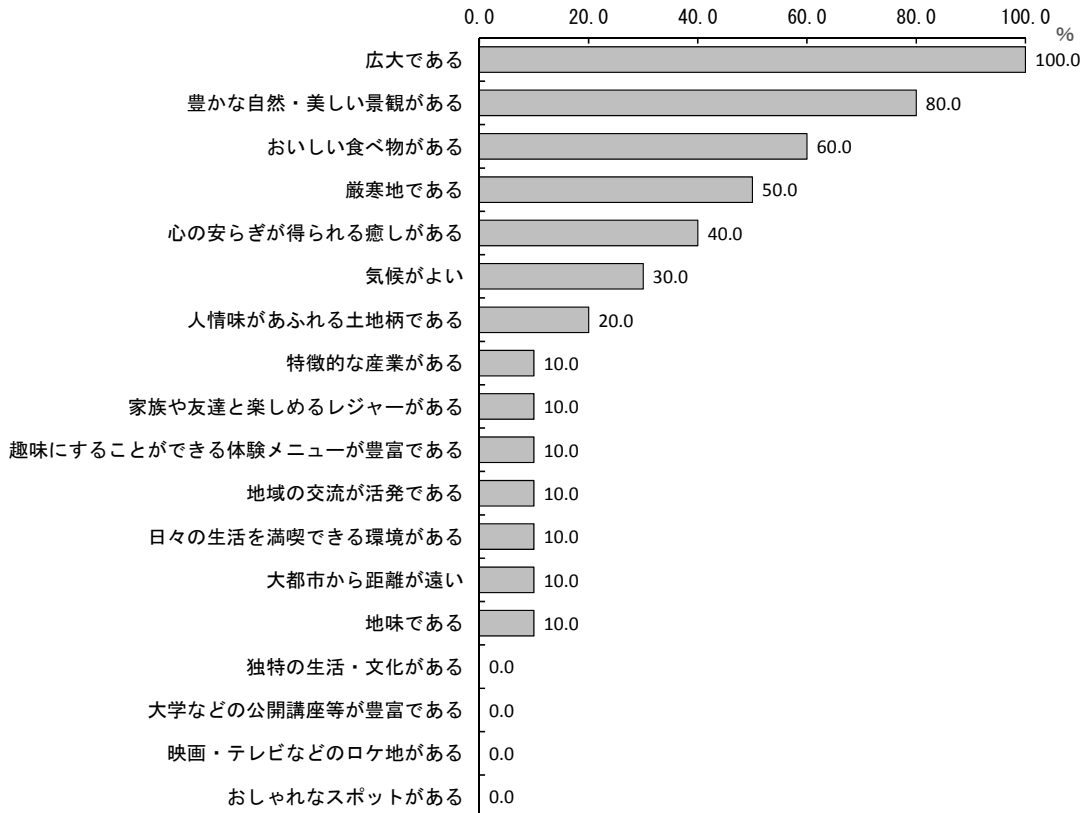
問3 十勝地域に対する移住前にお持ちのイメージや印象について、当てはまるものをお答えください。(複数回答方式)

「広大である」(100.0%)が最も多く、次いで「豊かな自然・美しい景観がある」(80.0%)、「おいしい食べ物がある」(60.0%)となった。

<分析・推測>

移住者が十勝地域に持つイメージは、自然環境、地理的環境に関する内容が多い。

図表5-2 移住前の十勝地域のイメージ(MA)



n=10 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、10件とならない。

<ヒアリング内容>

十勝のイメージは、テレビなどの映像によるイメージがほとんどであった。北海道の先入観として雪の多い「厳寒地」という印象から、『そんなところで人が快適に暮らせるのか。』といった意見が多数見受けられた。

しかし、「厳寒地」だから良いという印象を持つ方もおり、若い頃にウィンタースポーツを楽しんでいたことがある方は「厳寒地」であることを前向きに捉えていた。

2) 十勝地域に移住した理由について

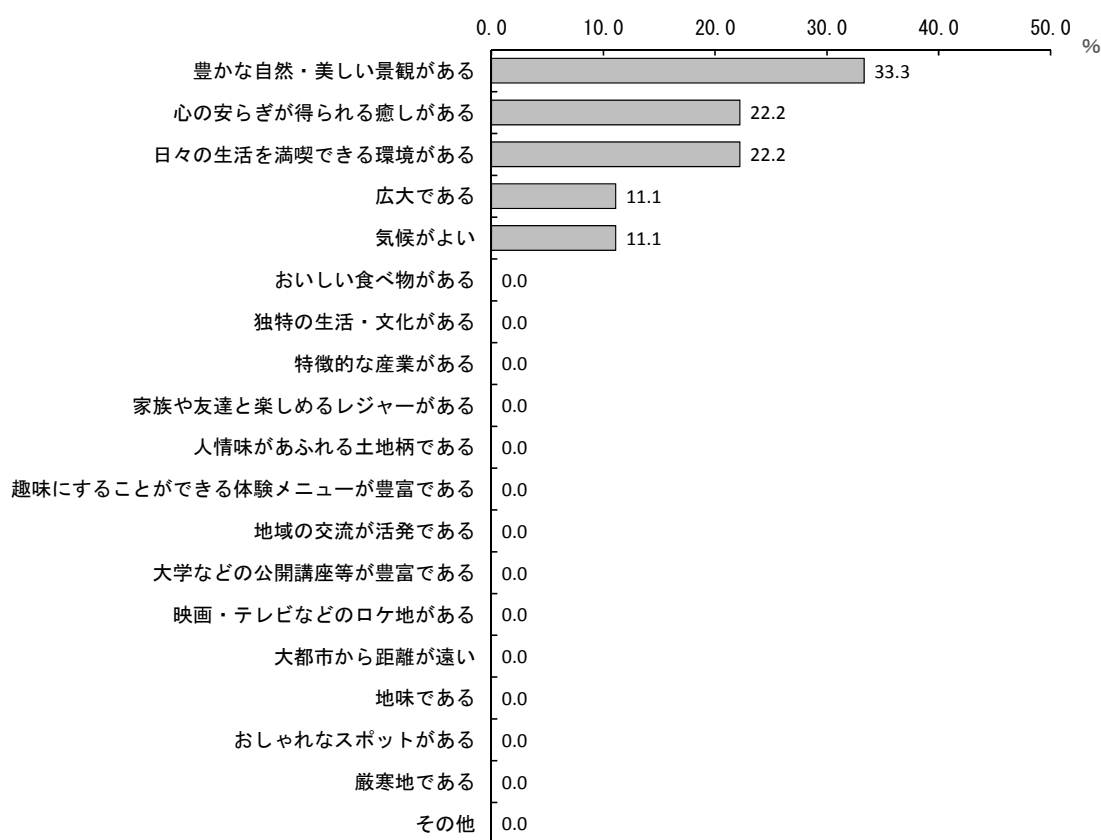
問4 十勝地域を移住先として選んだ理由として、特に決め手となったものを1つ教えてください。(単純回答方式)

「豊かな自然・美しい景観がある」(33.3%)が最も多く、次いで「心の安らぎが得られる癒しがある」「日々の生活を満喫できる環境がある」(22.2%)、「広大である」「気候がよい」(11.1%)となった。

<分析・推測>

移住の決め手として、十勝地域の環境を高く評価していることが伺える。

図表5-3 移住の決め手(SA)



n=9 件

<ヒアリング内容>

十勝地域を移住先に決めたきっかけは、『実際に十勝に来て、自分の目で周りの景色や、遠方の山を見てすぐに決めた。』という声や、『人生で一度は北海道に暮らしてみたかった。』『自分の趣味が周りを気にせずに来れそうだった。』『相談した窓口の対応がとても良かった。』という意見があった。

問5 十勝地域に移住した理由やきっかけについてあてはまるものを3つまで教えてください。(複数回答方式：3つまで)

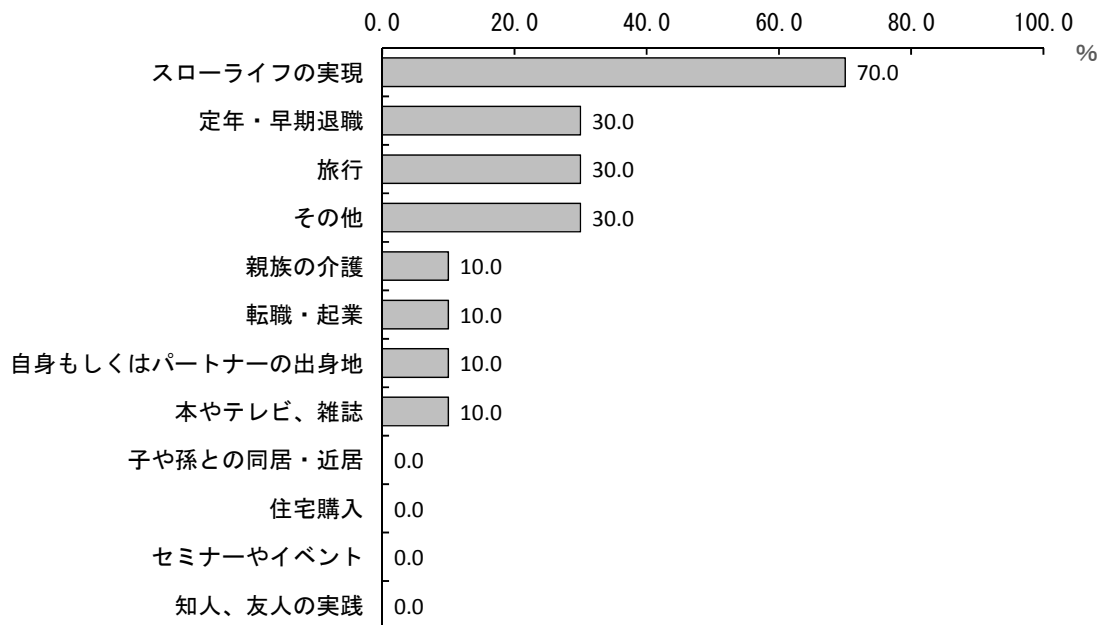
「スローライフの実現」(70.0%)が最も多く、次いで「定年・早期退職」「旅行」「その他」(30.0%)であった。

また、「その他」については、東日本大震災での避難という回答であった。

<分析・推測>

定年退職などのライフステージをきっかけとされているほか、ご自身の理想とする生活スタイルを実現したいという思いが伺える。

図表5-4 移住のきっかけ (MA3)



n=10 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、10件とにならない。

<ヒアリング内容>

「きっかけ」については、退職や家庭事情の変化など様々であったが、いずれも、『自身の生活スタイルをゆったりとしたものにしたい。』という点では共通の回答であった。

二地域居住の場合、季節により『気候が良いところを行き来したい。』という意見もあり、その理由としては「自身や親族にとって楽な環境で無理のない生活をしたい。」とのことであった。

問6 移住全般に関して、情報の入手先（複数回答方式）や移住先決定までに要した検討期間（単純回答方式）を教えてください。

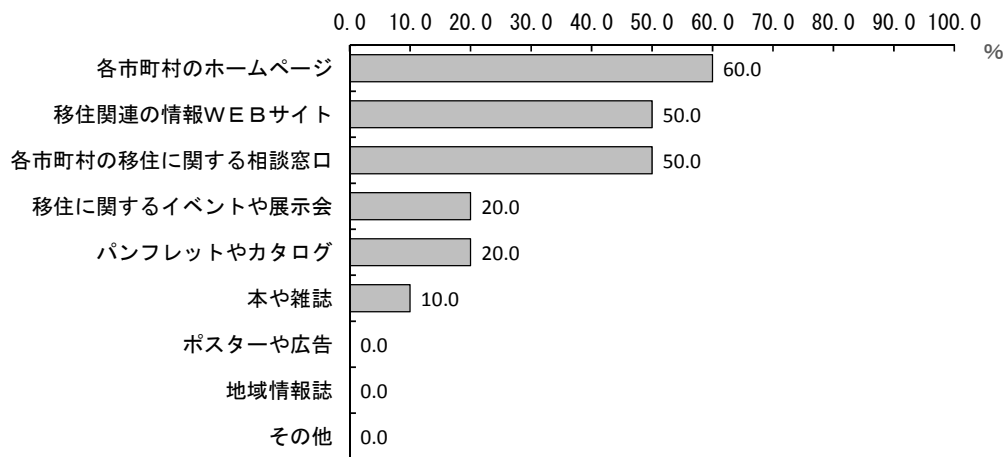
【情報入手先】

「市町村のホームページ」(60.0%)が最も多く、次いで「移住関連の情報WEBサイト」「市町村の移住に関する相談窓口」(50.0%)、「移住に関するイベントや展示会」「パンフレットやカタログ」(20.0%)となった。

<分析・推測>

図表1-3のインターネット調査の結果（移住予定者・検討者）と比較すると、「本や雑誌」を情報源とした人が少なかった。

図表5-5 移住の情報入手先 (MA)



n=10件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、10件とならない。

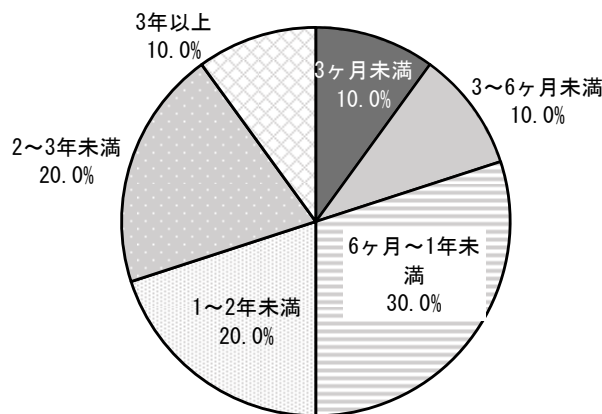
【検討期間】

「6ヶ月～1年未満」(30.0%)が最も多く、次いで「1～2年未満」「2～3年未満」(20.0%)となった。

<分析・推計>

上記、図表1-9のインターネット調査の結果（移住予定者・検討者）と比較すると、移住までの検討期間は、数年ほど短い期間で決定していることがわかった。

図表5-6 移住の検討期間 (SA)



n=10件

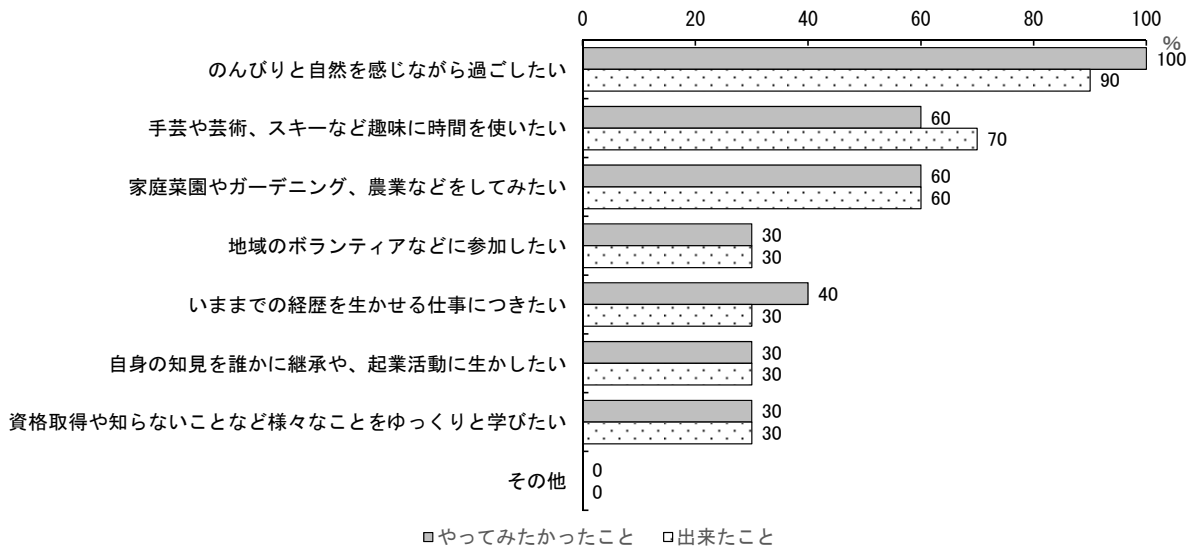
3) 十勝地域での「学びや体験・交流」について

問7 十勝地域に移住し、行ってみたいと考えていた「学びや活動」として当てはまるもの全てを「移住前に行ってみたいと思ったこと」と、「移住後、実際に行ってみたこと」それぞれについてお答えください。（複数回答方式）

概ね希望した体験・活動を実施できていることがわかった。

やってみたかった体験・活動としては、「のんびりと自然を感じながら過ごしたい」が全員の希望となっており、次いで、「手芸や芸術、スキーなど趣味に時間を使いたい」「家庭菜園やガーデニング、農業などをしてみたい」（60%）であった。

図表5-7 移住に伴う「学びや体験」の実施状況（MA）



n=10 件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、10件とならない。

<ヒアリング内容>

具体的に行ってみたかった内容は、「羊毛フェルトの作成」「卓球」「家庭菜園」「登山」「ウォーキング」という回答を得た。

回答者が希望する「学びや体験」への参加実現は、地域の方からアドバイスを受けたことによるものが多かった。逆に実現できなかったものは、『地域で同じ趣味の交流があっても、昔からのなじみの人ばかりで外部から入りにくい。』といった内容であった。そのほか、窓口がわからないという意見がみられた。

また、地域の方との交流を深めるために必要なものを尋ねたところ、趣味でもいわゆる“普通の趣味”を持つ人が集まりやすい“場”が欲しいという意見や、家庭菜園など、特に地域との交流が無くても良いと思われることでも、移住前の地域との気候の違いから、『環境に合わせた栽培について教えて欲しい。』という意見があった。

問8 十勝地域に住んでから、地域のどのような「学びや活動」に参加されましたか。(複数回答方式)
 参加されたきっかけや感想、気付いたことや問題点がありましたらご記入ください。(自由記載)

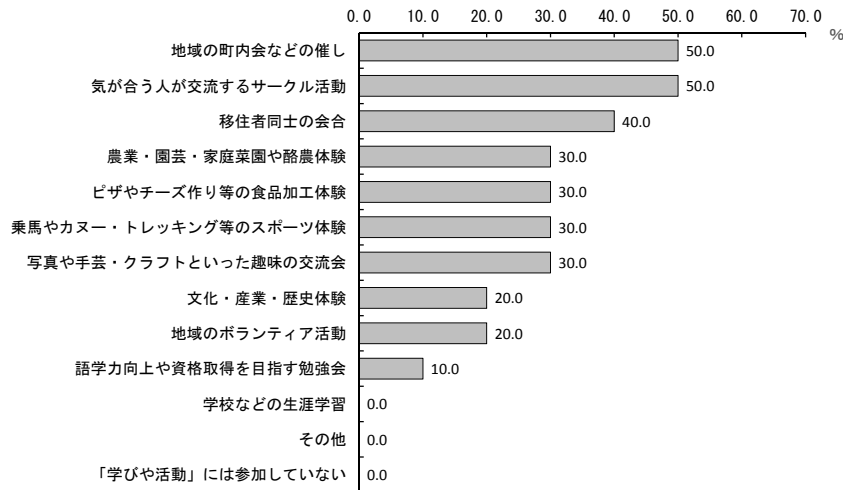
「地域の町内会などの催し」「気が合う人が交流するサークル活動」(50.0%)が最も多く、次いで、「移住者同士の会合」(40.0%)であった。

「学びや活動」には参加していない」は0%となっており、回答者全てが何かしらの活動に参加していた。

【きっかけ、感想等】

参加したきっかけとしては、「地域の人からの勧め」「役場からの紹介」「広報誌」があげられた。また、感想については、いずれも参加した内容には満足しているが、「指導者が高齢で心配」や「できるところが遠い」「畑作用に土地を見つけるのに苦労した」といった記載が見られた。

図表5-8 移住に伴い参加した「学びや活動」(MA)



n=10件

※ 複数回答方式であるため、合計が100%、10件とならない。

参加のきっかけ (情報取得源)

地域の人	5件
役場	2件
広報誌等	2件

自由記載より集計

<ヒアリング内容>

参加した「体験」について尋ねたところ、『北海道らしい体験ということで、乗馬やカヌーなどやってみたいと思ったものはいくつかあったので参加してみたが、年なので若い人のようにはできなかった。もう二度とやろうとも思わない』という意見や、『農作業や酪農となると、経験がまったくないため、積極的には参加しにくい。』という意見が聞かれた。

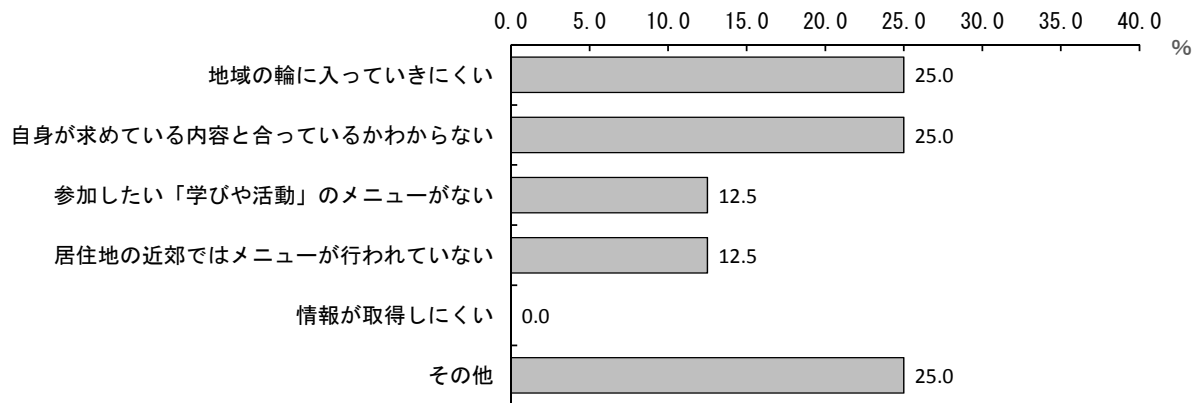
参加するには、『どの程度の作業や体力が必要なのか。』『歳に配慮されているのか。』などがわからないと、参加に至らないとのことであった。

問9 「学びや活動」への参加を検討するにあたり、課題と感ずることはなんですか。(単数回答方式)

「地域の輪に入っていきにくい」「自分が求めている内容と合っていないかわからない」(25.0%)が最も多く、次いで「参加したい「学びや活動」のメニューがない」「居住地の近郊ではメニューが行われていない」(12.5%)であった。

その他については、家庭に関する理由や、「探す方法がわからない」という内容であった。

図表5-9 「学びや活動」の課題 (SA)



n=8 件

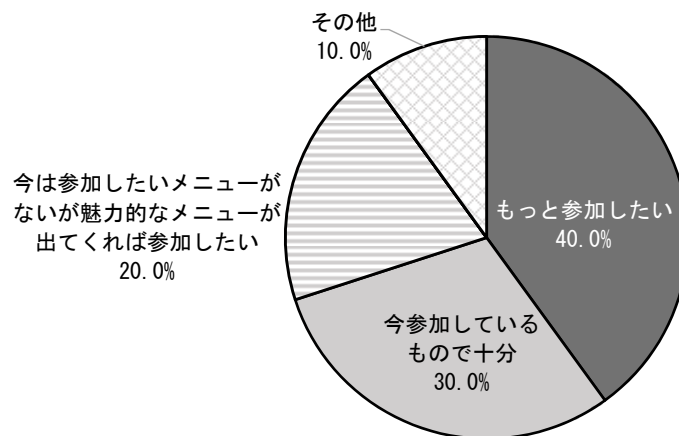
4) 今後について

問10 今後、「学びや活動」に参加する意向はありますか。(単数回答方式)

「もっと参加したい」(40.0%)が最も多く、次いで、「今参加しているもので十分」(30.0%)、「今は参加したいメニューがないが魅力的なメニューが出てくれば参加したい」(20.0%)と、参加に意欲的な回答を得られた。

その他については、「家庭に関する環境が変われば」という内容であった。

図表5-10 「学びや活動」への参加意向 (SA)



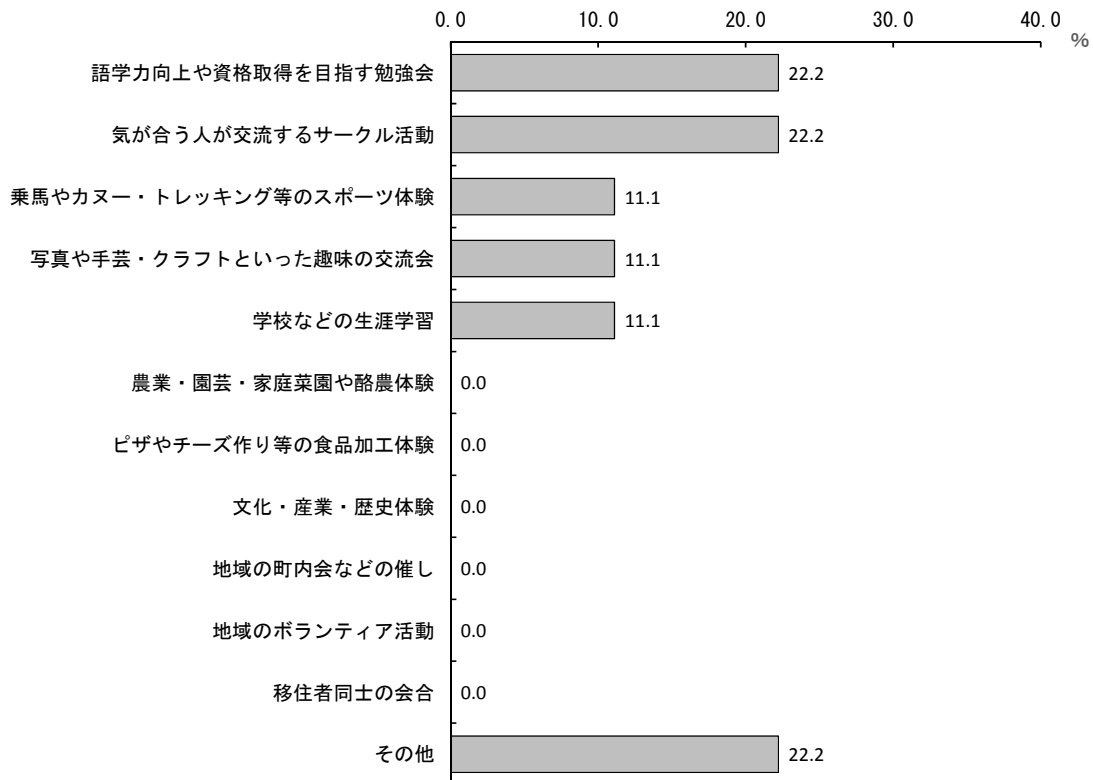
n=10 件

問 11 今後、参加してみたい「学びや活動」のメニューがありましたら教えてください。
(単数回答方式)

「語学力向上や資格取得を目指す勉強会」「気が合う人が交流するサークル活動」
(22.2%) が最も多く、次いで、「乗馬やカヌー・トレッキング等のスポーツ体験」「写
真や手芸・クラフトといった趣味の交流会」「学校などの生涯学習」(11.1%) となっ
ていた。

その他については、「山菜狩り・キノコ狩り体験」「地元の料理方法の教室」であった。

図表 5-11 参加したい「学びや活動」のメニュー (SA)



n=9 件

また、この設問では「こんなメニューがあったら」という具体的なメニュー案を求
めており、記載された回答は次のとおりであった。

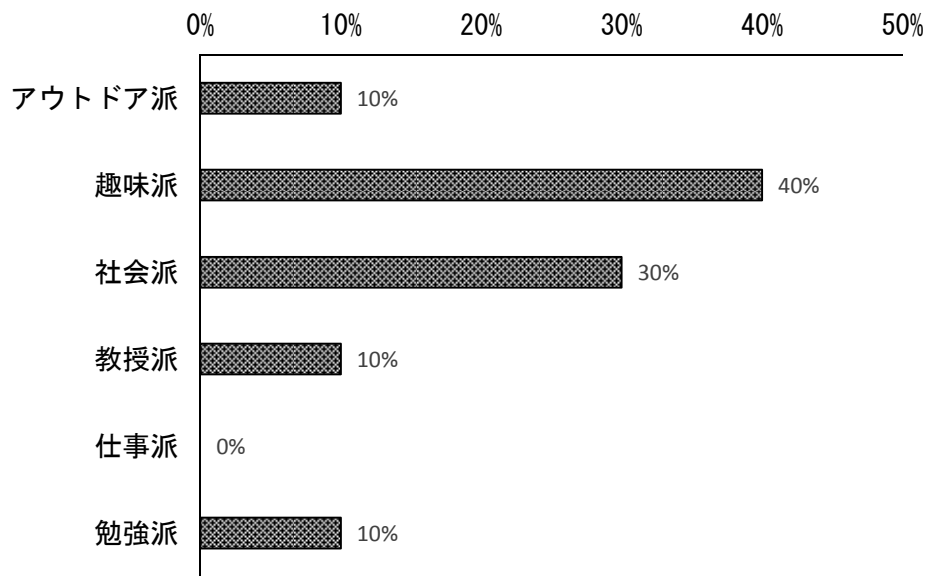
- ・ 冬場の過ごし方のサークル (クロスカントリースキー教室や団体)
- ・ 冬の林道の雪を整備してクロスカントリースキーに開放する
- ・ 身近なところで動植物に詳しい指導者とともに自然観察
- ・ 採取した山菜・キノコの料理方法を学ぶ会
- ・ 音楽などのサークルやオーケストラなどの演奏会
- ・ 地域の人達とのゴルフコンペ

5) ご回答者様ご自身の生活への考え方について

問 12 これからの生活に対する、今現在のご自身の夢や仕事に対する考え方について、あなたの考えや思いに当てはまるものを選んでください。(項目毎単数回答)

十勝に移住した方の今後の考え方に関する意向は、「趣味派」が40%で最も多く、次いで「社会派」が30%となった。

図表 5-12 回答者の今後についての考え方 (回答にあわせ集計・分類)



n=10 件

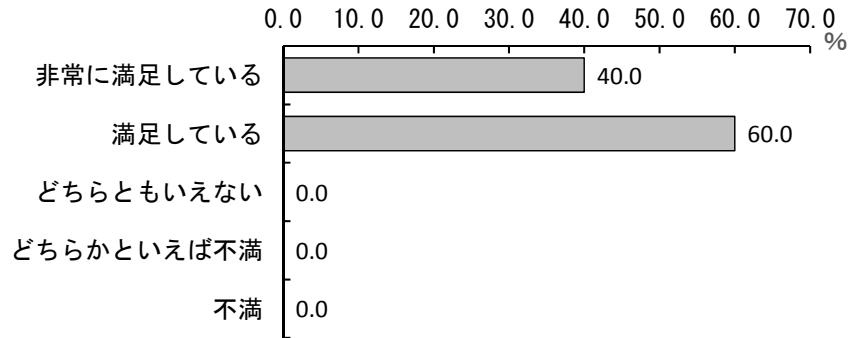
※ 回答者の今度についての考え方を類型化するため、回答者自身の考えや思考について、18 問の回答を求め、その回答から最も当てはまるとしたタイプに分類した。

	最大値	最小値	平均値	存在率
アウトドア派	4.0	1.7	3.0	10.0%
趣味派	5.0	3.0	4.2	40.0%
社会派	5.0	2.7	3.8	30.0%
教授派	5.0	1.7	3.1	10.0%
仕事派	4.0	1.0	1.7	0.0%
勉強派	5.0	1.7	2.6	10.0%

問 13 十勝地域に移住した満足度とその理由を教えてください。(単数回答)

回答者の皆が満足しており、「非常に満足している」は40.0%であった。

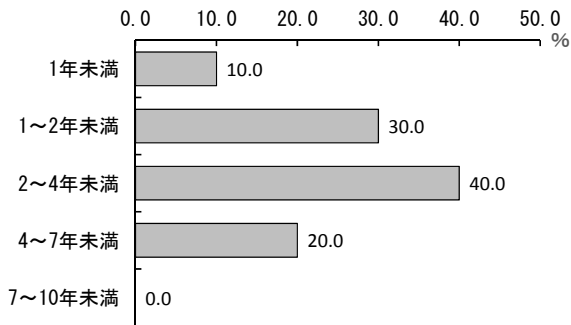
図表 5-13 十勝に移住した満足度 (SA)



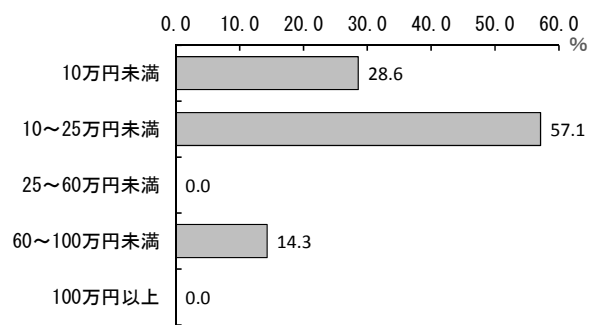
n=10 件

今回、回答を得た方の基本情報は、次のとおり。

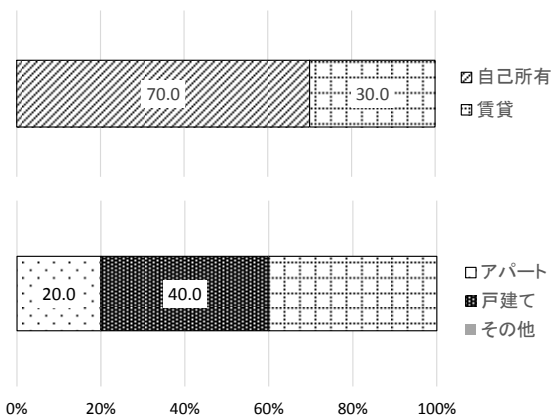
現居住年数



余暇活動への支出予算 (年間)



住居形態



移住前居住地

関東地方	4件
中部地方	1件
近畿地方	3件
中国地方	1件

Ⅲ 「学びのメニュー」のニーズ分析

1. ヒアリング内容の分析

今回、ヒアリングにご協力いただいた多くの方々からは、「十勝地域に来て良かった」との感想が聞けた。他地域から来られた方は、移住当初、近隣に知り合いがいないことから、町内会などで近隣との親交を深めているようであった。

ご協力いただいた方は、地域との係り方については、移住した方のほうが二地域居住の方に比べ積極的であるように感じた。二地域居住の場合は、「夏場を十勝地域で過ごし、北海道全体の旅行拠点とする」「療養目的である」など、移住された方とは、地域のかかわり方として目的が異なっていた。

ただ、どのように居住していても、趣味などでつながれる「仲間」のようなつながりを求めている傾向は見受けられた。

「学びのメニュー」については、どの方も「積極的に参加したい意向があるが、自身のしたいことに対して、実施されている詳細情報がわからないことから検討ができず参加していないものがある」という意見が多く、「自身の興味や求めている内容なのか」といった情報を得られる窓口を求めている様子が伺えた。

2. インターネット調査の分析

インターネット調査の結果では、十勝地域への移住意向は図表 1-12 のとおり、「第一候補になる」と「いくつかの候補のひとつになる」の合計で 17.7%であった。また、「興味があるので「ちょっと暮らし」などの移住体験をしてみたい」は 15.5%であったため、十勝地域の魅力を十分に伝えることができれば、移住が見込める層は合計で 33.2%となる。実際に移住した方の意見では、実際に地域に接したことが「移住の決め手」となっていることから、移住体験の促進にあわせ、「学びのメニュー」などを活用し、短期滞在期間中に地域の魅力を伝えていくことが重要であると考えられる。

魅力を伝える手法として、図表 1-7 のとおり、大都市圏のアクティブシニアの「学びのメニュー」に対する参加意欲が「参加したい」「内容によっては参加したい」合わせて 76.2%と高く、意向に合わせたメニューの拡充や、実施内容などの情報拡充は非常に重要であると思われる。

3. 移住予定者・検討者の今後についての考え方による思考タイプのカテゴリ

問 12 で「第一候補となる」「いくつかの候補のひとつになる」と十勝地域への移住意向を示した人（計 179 名）の、今後についての考え方や意向を把握するため、問 20 にてこれからの生活に対する、ご自身の夢や仕事に対する考え方について当てはまるものを選択いただき、考えや意向を類型化した。

回答者の今後についての考え方を類型化するため、回答者に自身の考えや思考について、次の 6 つのカテゴリに関連する計 24 問への回答を求め、その回答内容から 6 つのタイプに分類し、十勝地域への移住意向を持つ人の思考タイプを判別した。

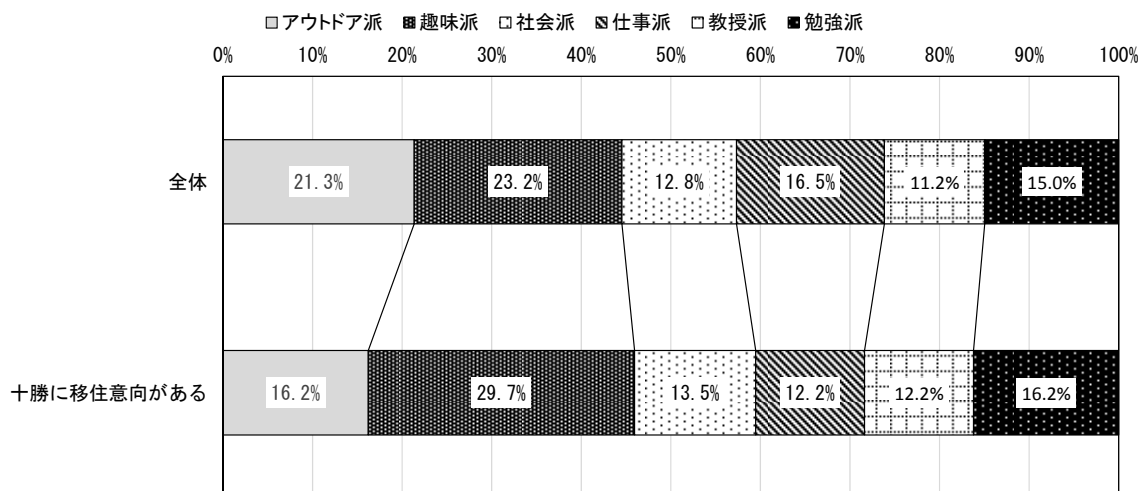
図表 6-1 自身の今後に関する考え方の 6 分類

分類	特徴
アウトドア派	農業やガーデニング、家庭菜園を楽しみたい
趣味派	これまで十分時間をかけられなかった趣味に時間を費やしたい
社会派	働きたくはないが、社会のためになることはしたい
仕事派	定年を迎えても仕事を続けたい
教授派	自分の経験や知識を活かして人にもものを教えたい
勉強派	これまで出来なかった勉強や資格を取りたい

※ 分類については、「移住・住みかえ相談の対応要領」（国土交通省）を参照した。

十勝地域に移住意向を示した人は、全体に対し、「趣味派」が 6.5% 多く、「アウトドア派」が 5.1% 低い傾向が見られた。

図表 6-2 自身の今後に関する考え方の分類と十勝への移住意向



回答者全体（1,013名）を見ると、「食」や「農」に関わる、農業や家庭菜園などに興味を持つ「アウトドア派」が21.3%であるが、十勝に移住意向を示す人（179名）では16.2%と5.1%低かった。

また、時間をかけて趣味などに打ち込みたいと考える「趣味派」は、回答者全体では23.2%なのに対し、十勝に移住意向を示した人では29.7%と6.5%高かった。

4. 思考タイプの分類による総合分析

これらのことから、大都市圏のアクティブシニアの認識では、他の地域に比べ十勝は「趣味を充実できる地域」という認識があると考えられる。そのため、個人の趣味についてのプランを充実させることは、十勝地域に移住候補地の1つとして検討している人に対し、十勝への移住を促進する効果が期待できる。

また、農業などに関心を示す「アウトドア派」については、回答者全体で21.3%、十勝に移住意向を示した人で16.2%と、ともに「趣味派」に次いで多いが、その差は、回答者全体では1.9%と僅差であるのに対して、十勝に移住意向を示す人では13.5%と差が広がっている。

この差が発生した理由として次の3つの可能性が考えられる。

- ① 十勝地域の「食」や「農」について、大都市の移住検討者に伝わっていない。
- ② 「アウトドア派」のアクティブシニアが興味を持てる環境が十勝地域に整っていない。
- ③ 十勝地域と同様のことが、北海道まで来なくても実現できる。

この3点はいずれか、もしくは複数が要因である場合、移住意向者を拡大するための対策として、①については、大都市圏の移住予定・検討者に向け、十勝地域がポテンシャルを持つ、「食」や「農」を活用したプランをアピールする。②については、「食」や「農」に関するアクティブシニアの需要を満たすプランを供給する。③については、競合となっている地域や、その地域で提供されているプランについて調査し十勝地域との比較分析を行う。

これら①～③を踏まえた「学びのメニュー」開発を実施することが重要であると考えられる。

さらに、各調査での結果から、十勝地域の『移住と「学びのメニュー」』について、SWOT分析を行った。

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かで広大な自然環境が評価されている ・他地域にない広大な農地がある ・十勝地域への移住意向者には「趣味派」の構成比が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・厳寒地である ・大都市圏から距離がある ・十勝地域の「強み」である農関連の情報が伝わっていない可能性がある

機会	脅威
<ul style="list-style-type: none"> ・移住予定者・検討者全体では「アウトドア派」の構成比が高い ・十勝への移住者は趣味などでのつながりを求める意見がある ・十勝地域に興味があり、お試し暮らし等に関心がある方が 15.5%いる ・大都市圏のアクティブシニアは「学びのメニュー」への参加意向が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴的なメニューが、他の地域で同様に提供されている可能性がある ・提供されているメニューが需要や要望を満たしていない可能性がある

この結果から「学びのメニュー」と移住促進について次のような施策が考えられる。

○ **趣味のプランを拡充する。**

これまで時間をかけられなかった趣味に時間を費やしたいと考える人が、全体に比べ多いことから、「趣味」を充実できるプランの拡充をすることは、移住促進効果が期待できる。

○ **現在提供されている「学びのメニュー」を改良し、参加しやすくする。**

提供される「学びのメニュー」は、実際に移住された方には、自分が求めている内容なのか疑問視する声も聞かれたことから、提供されているプランが、より需要に近いメニューとなるよう改良や開発することで、十勝地域への移住者の参加率を高め「老後の楽しみ方」の充実度を高め、お試し暮らし等の参加者の移住意欲を高める。

○ **「移住者」とのつながりの場として運用する。**

実際の移住者の意見では、趣味でつながれる仲間を欲する意見や、趣味の話題で地域の方とのつながりを広げている方もいることから「移住者」と「地域」、もしくは「移住者」同士でつながりを生み出す場として「学びのメニュー」が役割を担う可能性がある。

○ **地域 PR として活用する。**

大都市圏のアクティブシニアは「学びのメニュー」への参加意欲が高く、十勝地域がポテンシャルを持つ、「食」や「農」への関心が高い「アウトドア派」が多いことから、「食」や「農」に関する「学びのメニュー」を拡充し、PR を行うことで、十勝地域への移住意向者を増やせる可能性がある。

なお、今回のインターネット調査の結果から、各大都市圏の移住候補地として、競合として考えられる地域は、東京圏では長野県（軽井沢、上高地など）・栃木県（那須など）、名古屋圏では静岡県（朝霧高原、富士宮など）・岐阜県（ひるがの高原など）・滋賀県（琵琶湖周辺など）、大阪圏では岡山県（蒜山高原など）・四国 4 県と考えられる。いずれも高原地域など夏場冷涼な環境や安定した気候、別荘地域などを有している。

IV 十勝管内で実施されている「学びや体験・交流のメニュー」調査

1. 調査目的

十勝管内の各市町村で実施されている、食や自然といった地域資源を生かした「学びや教え、交流のメニュー」について情報を調査、収集・整理するもの。

2. 調査手法

十勝管内各市町村における既知のメニューについて、その実施が確認できたメニューについての情報を収集・整理し、実施団体にヒアリング調査を実施した。なお、既知のメニューの把握にあたっては、十勝管内各市町村に対し、メニューについて情報提供を依頼したほか、観光サイドからの情報収集にも努めた。

3. 調査結果

次ページ以降に掲載の一覧表のとおり。

<一覧表参照にあたっての注意事項>

- 掲載されている「学びや体験・交流のメニュー」については、2016年10月から2017年2月にて確認された情報に基づく。
- 記載されている金額や休日等については、運営者の都合により変更となっている場合がある。
- 記載されているメニューは、アクティブシニアのみを対象としたメニューとは限らない。
- 運営者からホームページ掲載への承諾が得られなかったメニューについては、表の末尾に「HP非掲載メニュー」としてまとめた。

HP 掲載メニュー

No	提供者	体験メニュー名	体験内容	体験メニュー案内	実施地域・場所	営業時間	実施期間	金額	休日	実施団体・施設	所在地	TEL	FAX	HP
帯広1	いただきますカンパニー	畑ガイドと行く農場ピクニック	農業体験	日本で唯一の「畑ガイド」が農家に代わり、農場を案内するガイドツアーです。 ご案内する農場は観光農場ではなく実際に農業を営む生産現場。楽しいだけでなく、学び多い体験となります。 更に収穫シーズンは畑で穫れたものをその場で召し上がっていただく贅沢な時間を楽しむ事が出来ます。	ツアー会場は十勝管内各所 現地集合・解散	9:00～17:00(ツアー開催時間は9:00～、11:30～、14:40～の1日3回)	5月中旬から10月末	おやつツアー(9:00～、14:30～) 3,500円 ランチツアー(11:30～) 4,500円	ツアー期間中は無休 11月～4月は土日祝定休	株式会社いただきますカンパニー	北海道帯広市西12条南29丁目2-5	0155-29-4821	050-3730-5127	http://www.itadakimasu-company.com/
帯広2	リハビリセンター 十勝農学校	酪農体験	酪農体験	生乳を使用した乳製品作り体験を通して、食品になるまでの過程を学びます。	実施団体・施設所在地に同じ	4月～10月/10:00～18:00、3月・11月・12月/10:00～17:00	定休日以外	内容によって異なる 詳細はHPへ	4月～10月/無休、3月・11月・12月/水曜日定休	ウエモンズハート リハビリ広瀬牧場	帯広市西23条南6丁目13番地	0155-33-6064	0155-33-8002	http://www.uemons.com
帯広3	一般社団法人帯広物産協会	羊毛講習	羊毛加工体験	羊毛の洗毛から、糸紡ぎの工程の講習、フェルトの講習等を体験・受講できます。	実施団体・施設所在地に同じ	【ご利用時間】9:00～21:00、【羊毛加工体験】10:00～15:00内で応相談	電話またはFAXでお問合せください	電話またはFAXでお問合せください。	11月1日～3月31日の月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)	一般社団法人帯広物産協会	帯広市八千代町西7線194	0155-60-2919	0155-60-2868	http://obihiro-bussan.jp/
帯広4	ばんえい十勝	バックヤードツアー	バックヤードツアー	一般の方が普段は入れない競馬場の裏側を見学できるツアーです。 レースに出る馬が待機する「繋籠所」や、馬と人が生活している「きゅう舎地区」、旧実況室見られます。	帯広市西13条南9丁目 帯広競馬場	開催日によって異なります。 HPをご確認ください。	毎週土・日・月曜日 競馬開催日	500円	火～金	ばんえい十勝	帯広市西13条南9丁目 帯広競馬場 スタンド1階奥総合案内所	0155-34-0825		http://www.baneikeiba.or.jp/
帯広5	道長カレッジ・フレンズ十勝	雑学ひとり旅	生涯学習	道長カレッジの連携講座として、専任講師により1ヶ月に1回、3時間の日程で開催。 過去のテーマには「十勝の歴史を訪ねて」「北前船と樽廻船」「竹鶴政孝と妻小次夫人の歩み」「幕末最後の蘭医、開港場と西洋医学の医師、開港場(息子)」などがあります。	帯広市内の会場(開催によって異なる)	12:00開演、13:00～16:00迄3時間(道長カレッジ連携講座3単位)講座	毎月1回・現在は第4金曜日	開催によって異なる。 講座内容は道長カレッジHPで検索・確認できます。	不定休	道長カレッジ・フレンズ十勝		0155-48-7890		https://manabi.pref.hokkaido.jp/college/
帯広6	アスパラランド/ベタニヤ憩いの里・夢農園	アスパラ収穫体験、ベタニヤ憩いの里・夢農園、露天風呂新づくりなど	収穫体験	アスパラの収穫時期に畑に入り感動と喜びを体感できます。 アスパラの収穫時期を過ぎてもどろろのどろろや、ハンバッチなど、各年代層の方が楽しめます。	実施団体・施設所在地に同じ	5月20日～10月31日 10:30～3:00(天候により収穫変更あり)	開園時間：平日・土曜(雨天決行) 大型ハウスのでプログラム	2,000円/1kg持ち帰りなど	日曜休業	ノースファームینگ仁田(仁田)	帯広市広野町210	0155-60-2532	0155-49-3732	http://www.umaimonotokachi.jp/
帯広7	ビート資料館	十勝の代表的な農産物、砂糖の原料となるビート栽培や糖業に関する資料を展示と解説	文化歴史体験	ビートの試作から寒冷地の作物として認められ、本格的に耕作が始まり、ビート事業が開始されて、今迄の幾度も困難を乗り越えて来た先人達の苦労を紹介しています。	実施団体・施設所在地に同じ	9:30～16:30	通年	300円(入場料)	8月15日、9月5日、年末年始(12月30日～1月3日)※他、臨時休館あり	ビート資料館	帯広市稲田町南8線14番地	0155-48-8812		https://www.sugarbeets-museum.com/
帯広8	紫竹ガーデン	クラフト体験・園芸体験	園芸・工芸体験	クラフト体験はドライフラワーリース作り、押し花絵ハガキ作り、花いっばいの帽子作りができます。 ワイルドフラワー種子による花壇作り(園芸体験)もお楽しみいただけます。	実施団体・施設所在地に同じ	8:00～18:00	4月下旬～11月上旬	要問合せ	期間中無休	紫竹ガーデン	帯広市美栄町西4選107	0155-60-2377	0155-60-2378	http://shichikugarden.com/
帯広9	帯広百年記念館	常設展示・博物館講座などのプログラム	文化歴史体験	博物館講座：十勝・帯広の歴史・自然・考古・アイヌ文化などについて、調査研究結果をわかりやすく紹介する講座です。	実施団体・施設所在地に同じ	常設展示室/9:00～17:00(入場は16:30まで)、創造活動センター/9:00～22:00(夜間の利用がないときは17:30まで)	月1・2回程度	380円(入場料)	月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(土・日は開館)、年末年始(12/29～1/3)	帯広百年記念館	帯広市緑ヶ丘2番地	0155-24-5352	0155-24-5357	http://www.octv.ne.jp/~hyakunen/
帯広10	帯広畜産大学	公開講座	生涯学習	本学で学生へ提供している授業を、一般向けに開放し受講していただくものです。哲学、心理学、教育学、法学、食文化、家畜と環境など幅広い分野の授業を身につけることができます。半年で15回の授業を受けていただき、所定の回数以上出席した方に修了証書を進呈します。第一線で活躍する研究者の講義を学生とともにみっちり受けることができます。	実施団体・施設所在地に同じ	8:30～17:15	4月～6月、10月～2月	要問合せ	土・日・祝日	国立大学法人帯広畜産大学教育研究支援部学務課	帯広市稲田町西2線11番地	0155-49-5411	0155-49-5319	http://www.obhiro.ac.jp/index.html
帯広11	畜産物加工研修センター	ソーセージ作り・乳加工体験	食品加工体験	地場産の生乳や肉を使った加工研修体験。主にソーセージの手づくり体験やチーズの手づくり体験、大人から子どもまで簡単手軽に楽しめます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00～17:00	不定期 ※広報おひろをご確認ください	要問合せ	毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日)、年末年始(12月29日から1月3日まで)	(有)五日市	帯広市八千代町西4線194番地	0155-60-2514	0155-60-2372	
帯広12	帯広市内コミセン・福祉センター・小学校等	コミュニティ講座	地域での様々な教室や体験	健康・スポーツ(健康体操、ヨガ、ディスコン、走り方教室ほか) 芸術・文化(人形劇、マジック、下の句かるた、コンサートほか) 教養・知識(帯広発祥の地巡り、帯広の歴史物語ほか) 地域活動(各小学校まわり、高齢者と子どもの交流会ほか) 家庭生活(AED講習会、交通安全、調理教室、そば打ちほか) ※その他、地区によりいろいろな講座を開催しています。	市内各所	8:45～17:30	通年	要問合せ	土・日・祝日	帯広市生涯学習部生涯学習課	帯広市西5条南7丁目1番地	0155-65-4192	0155-23-6142	http://www.city.obhirohokkaido.jp/

No	提供者	体験メニュー名	体験内容	体験メニュー案内	実施地域・場所	営業時間	実施期間	金額	休日	実施団体・施設	所在地	TEL	FAX	HP
音更1	ガーデンスパ十勝川温泉	体験工房	食品加工体験など	生ハムやチーズをはじめ、味噌・豆腐など十勝の食材を使った手作りの加工体験ができます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00～21:00	通年(メニューにより異なる)	メニューにより異なる。詳細はHPへ。	不定休	十勝川温泉協同組合	音更町十勝川温泉北14丁目	0155-46-2447	0155-46-2533	http://www.tokachigawa.jp/
音更2	北海道・川の釣りガイド・山口	釣りガイド、釣り講習、釣リツアー	スポーツ体験	北海道のすばらしい大自然の中、川と湖で、釣りガイド、釣り講習、釣リツアーを行っています。ぜひ、エキサイティングな野生魚の釣りに挑戦してください。釣りは、フライ、ルアー、ミヤウ釣り、テンカブに対応しています。釣りを未経験の方からベテランまで、安全楽しく、釣れる釣りを目指しています。	川など	お客様のご都合により随時開催	お客様のご都合により随時開催	要問合せ	年中無休	北海道・川の釣りガイド・山口	音更町共栄台東13丁目3番地	0155-31-3355		http://www.h6.dion.ne.jp/~twfgyama/index.html
音更3	十勝ネイチャーセンター	カヌー、熱気球等アウトドアアクティビティ	スポーツ体験	十勝川温泉街を中心に四季を通じて様々なアウトドアアクティビティを提供しています。	実施団体・施設所在地に同じ	各体験により異なる(オフィス9:00～18:00)	各体験により異なる	要問合せ	無休(オフィス:12/31～1/5)	十勝ネイチャーセンター	音更町十勝川温泉南12丁目1-12	0155-32-6116	0155-32-6117	http://www.nature-tokachi.co.jp/
士幌町1	伝統農業保存伝承館	土幌の農業を実際の道具を見ながら知ることができる歴史資料館	歴史や暮らしを学ぶ	農業王国十勝、土幌の農業の歴史を実際の道具を見ながら知ることができる資料館。土幌の農業の歴史を知る貴重な道具を展示しています。	上士幌町宇中土幌幹線86 伝統農業保存伝承館	5月～10月 9:00～17:00 11月～4月 10:00～15:00	通年	要問合せ	火曜日・11月～4月	士幌町教育委員会	士幌町宇中土幌幹線167番地士幌町総合研修センター内	01564-5-4733		
上士幌1	NPO法人上士幌コンシェルジュ	誕生会	移住者同士の交流	先輩移住者が、月に1回、移住者や生活体験者、町民が一品持ち寄りでき、持ち寄った料理を食べながら、情報交換と交流を行います。この会で知人、友人が出来たかという方あり。	上士幌町宇中土幌ふれあいプラザ	18:30～	月1回	要問合せ	なし	NPO法人上士幌コンシェルジュ	上士幌町宇中土幌3線231番地 しみほろ情報館内	01564-2-3993		
上士幌2	ひがし大雪自然ガイドセンター	湖上横断！タウシュベツ橋ツアー	スノーシュー体験	氷結の糠平湖を横断します。真冬の見学ツアーはスノーシューを用い、氷結した糠平湖上を往復約4キロメートルを歩きます。寒い気温そして雪の中を歩くため、平地や雪のない季節に歩(4キロよりはきつ)と思えますが、ゆっりのんびりのペースで歩きます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00～	9:00～12:30	3,700円(要予約)	不定休	NPO法人 ひがし大雪自然ガイドセンター	上士幌町かみむら湯泉北地区44-3 糠平温泉文化ホール内	01564-4-226		http://www.guidecentre.jp/index.html
鹿追1	鹿追町ライディングパーク	パークゴルフ	パークゴルフ	4コースからなるパークゴルフ場が併設しており、大雪山を背に日高山脈を見ながらプレーが出来ます。他にはないロングホールが自慢です。小さなお子様にもお楽しみいただけるショートホールを含め、36Hをご用意しています。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00～17:00(12月～2月は18:00閉館) パークゴルフ:9:00～17:00	※パークゴルフ:4月下旬～11月上旬	300円	年末年始(※パークゴルフ:月曜(祝日の場合は営業))	鹿追町役場 馬草支所 地域振興係	河東郡鹿追町馬草西3丁目	0156-67-2345	0156-67-2348	https://www.town.shi-kaolig.jp/kurashi/kyoiku_ikuji/park/riding/
鹿追2	鹿追町ライディングパーク	乗馬	乗馬体験	道東随一の設備を誇るライディングパークは広大な緑が美しい馬の公園です。場内では乗馬教室を開いているので初心者の方でも気軽にレッスンが受けられ、子供から大人まで乗馬体験をします。北海道の自然の中で、優しい馬とふれあってみませんか？小さなお子様や乗馬が初めての方でも安心の初心者のお客様向け乗馬体験メニューをご用意しています。	実施団体・施設所在地に同じ	夏季営業時間 9:30～16:30 冬季営業時間 10:30～15:00(11月～3月まで)	通年	620円(引馬による体験乗馬)～内容によって異なる	年末年始(※H29年度より月曜定休予定)	鹿追町ライディングパーク	河東郡鹿追町馬草西2丁目9	0156-67-2345	0156-67-2348	https://www.town.shi-kaolig.jp/kurashi/kyoiku_ikuji/park/riding/
鹿追3	鹿追町ワーキングセンター	食品加工体験(肉製品、乳製品、農産加工品)	食品加工体験	センターでは手作り加工体験研修ができ、ソーセージやハムなどといった肉製品、アイスクリームやバターなどの乳製品を作れます。また、季節や時期に合わせて食品やお菓子など(農産加工品)にも挑戦でき、個人からサークル・団体と幅広い方が利用しています。	実施団体・施設所在地に同じ	月曜日～金曜日 8:30～17:15	通年	8時間未満 105円/時間 8時間以上 1,258円/日	土・日・祝祭日・年末年始	鹿追町役場 農業振興課 ワーキングセンター係	河東郡鹿追町柏ヶ丘2番地3	0156-66-2985	0156-66-1021	https://www.town.shi-kaolig.jp/kurashi/kyoiku_ikuji/park/nogei/park/
鹿追4	とから鹿追ジオパーク ジオパークビジターセンター	ビジターセンターの見学、ガイドツアー	自然・寒冷地文化体験	とから鹿追ジオパークは、2013年12月に国内33地域域のジオパークとして認定され、他のジオパークには見られない「凍れ(しづれ)」という特徴を持っています。ジオパークにてジオパークの概要を学べる他、実際に足を運んで然別湖の生態系や風穴を見学するガイドツアーなど、自然豊かな鹿追の大地について学ぶことが出来ます。	施設所在地に同じ	9:00～17:00	通年	内容によって異なる	火曜・祝日の翌日	とから鹿追ジオパーク推進協議会	北海道河東郡鹿追町馬草西29線28	0156-67-2089	0156-67-2099	http://www.shkaolig-story.jp/index.html
鹿追5	鹿追町民ホール	各種サークル活動(手話、囲碁、大正琴、水墨画、写真など)	趣味の会や、学習会など	大正琴やコーラス、また社交ダンスやハワイアンダンス等楽しみながら体を動かせるもので、50種類以上のサークルが活動しています。気軽に参加できる無料のサークル活動となっており、様々な年代が集まる交流の場となっています。体験や内容等、気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00～22:00	通年	無料	年中無休	鹿追町教育委員会 社会教育課 社会教育係	河東郡鹿追町東3丁目2(鹿追町民ホール内)	0156-66-3300	0156-66-1859	https://www.town.shi-kaolig.jp/kurashi/kyoiku_ikuji/dantai/
鹿追6	陶芸工作館	陶芸講座	陶芸体験	鹿追焼は、美濃地区から出土する、真質の粘土を原料としています。この土は、陶芸に適し、その作品は、北国十勝の荒々しい風雪に耐え抜いた男性的な土の肌と、その素材の色合いは、多くの魅力を秘めています。陶芸は、想像力を働かせて、何もないところから作っていく楽しさがあります。世界に1つ1つ、あなただけのオリジナル作品を作ってみませんか。	実施団体・施設所在地に同じ	基礎講座 週1回(月 9:30～12:00)、夜間講座 週1回(月 18:30～21:30)	4月上旬～9月下旬	受講料1ヶ月 1,080円/人 材料粘度1kg 800円 65歳以上は、受講料無料	要問合せ	鹿追町役場 商工観光課 陶芸係	河東郡鹿追町東3丁目2番地(鹿追町民ホール内) 該当	0156-66-3738		https://www.town.shi-kaolig.jp/kurashi/kyoiku_ikuji/art_culture/togei_kosaku/
鹿追7	ポレアルフォレスト	スノーハイキング、カヌー、登山	スポーツ体験	然別湖を中心に、夏はカヌー、ハイキング、登山、冬はスノーシューハイキングのガイドをしています。自然を観察しながらゆったり過ごしていただく、少人数制のプログラムです。夏は大雪山や阿寒方面など、十勝を拠点に出かける登山プログラムのガイドも行っています。ご希望にあわせてアレンジすることもできますので、お気軽にお問合せください。	実施団体・施設所在地に同じ	電話受付時間8:00～19:00(ガイド中は出られないこともあります)	各プログラムによって異なります	要問合せ	元旦	ポレアルフォレスト	鹿追町馬草東2-15	0156-67-2677		http://www.boreal-forest.jp

No	提供者	体験メニュー名	体験内容	体験メニュー案内	実施地域・場所	営業時間	実施期間	金額	休日	実施団体・施設	所在地	TEL	FAX	HP	
鹿追8	三部牧場	牧場体験、ネイチャーツアー	酪農体験	北海道の農業体験、牧場体験をしてみませんか！五右衛門風呂に入り、星を満喫してはどうですか！ツリーハウスでの宿泊をしてみてください。	実施団体・施設所在地に同じ	受付/8:00～19:00	4月中旬～11月末まで	要問合せ	不定休	三部牧場	鹿追町柏ヶ丘16-3	0156-66-2802	0156-66-2804	http://www.sanbufarm.com/	
新得1	新得そばの館	手打ちそば造場体験コース	そば打ち体験	手打ちそば造場では専門講師と共に約一時間そば打ちを実践することが出来ます。自分で打ったそばはその場で試食することも。残った分はお土産としてお持ち帰りいただけます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00～17:00(要予約)	通年	1人2,500円から	無休	新得そばの館 手打ち体験造場	北海道上川郡新得町基線102番地	0156-64-5888	0156-64-5728	http://shintokusoba.com	
新得2	Be Wild(ビーワイルド)	体験ステンドグラス	ステンドグラス制作体験	ガラスカットからはじまり、オリジナル作品を作ることができます。	実施団体・施設所在地に同じ	10:30～17:00	通年	3,800円から	木・金	喫茶 ビーワイルド	北海道上川郡新得町字新得基線103(北新得)	0156-64-5200	0156-64-5200	http://bewildinfo/	
新得3	裕蜂の里	雉狩り、ハス Capp 狩り、カシス狩り、ブルーベリー狩り、ぶどう狩り	収穫体験	全て体にやさしい無肥料、無農薬で育てた野菜や果物狩り体験できます。	実施団体・施設所在地に同じ	10:00～15:00	7月・8月の各日曜日/ぶどうのみ10月の各日曜日	要問合せ	要問合せ	裕蜂の里	北海道上川郡新得町字屈足トムラウソ	0156-65-3545	0156-65-3545	015635-3545	
新得4	ウエスタンビレッジ サホロ	ホーストレッキング	乗馬体験	北海道の自然を馬の背から見ると、目線の位置が高いので広く森の中を見渡すことができます。散歩を行くいろいろな野生動物を見ることができ、近づくことも馬と一緒にだからです。途中川で馬に水を飲ませ牧場に帰ります。乗馬が初めての方でもここでは馬の旅を体験することで大自然を肌で感じることができそうです。	実施団体・施設所在地に同じ		夏シーズン/4月末～10月末日、冬シーズン/12月～4月末日	初心者ホールドレッキング10,800円～	不定休	ウエスタンビレッジ サホロ	北海道上川郡新得町狩勝高原	0156-64-4111	0156-64-7070	http://www.sahoro.jp	
新得5	共働学会新得農場	モッツアレラチーズ作り・フレッシュチーズ作り・バター作り	食品加工体験	チーズやバターが出来るのを目の当たりにして、自分で作ったチーズやバターをその場で食べることができる。	実施団体・施設所在地に同じ	10:00～17:00	チーズ/6月～11月の水・土、バター/通年(日曜を除く)	内容によって異なる。詳細はHPへ。	4月～11月/無、12月～3月/日曜	農事組合法人 共働学会新得農場	北海道上川郡新得町字新得9-1	0156-69-5600	0156-64-6162	http://www.kyodogakusha.org/	
新得6	友夢牧場	酪農体験、食品加工体験(バター、アイスクリームづくり)	酪農体験	大規模酪農の現場や、バイオガスのプラントの様子など、環境に配慮した循環型酪農を体感していただけます。バターなどの乳製品加工体験も行っていきます。	実施団体・施設所在地に同じ	7:00～16:00	4/25～10/31	要問合せ	期間中無休	(有)友夢牧場	新得町上佐堤基線108	01566-9-6006	01566-9-6006		
新得7	TOM 十勝アウトドアメイツ	アウトドアアクティビティ	スポーツ体験	十勝川上流部でラフティングやカヌー体験などの観水体験を実施しています。	実施団体・施設所在地に同じ	8:00～19:00	4月下旬～10月末日	要問合せ	期間中無休	十勝アウトドアメイツ	新得町字屈足基線240番地	0156-65-2411		http://www.t1.plala.or.jp/tom555/	
清水1	十勝千年の森	十勝ナチュラルチーズ作り体験	食品加工体験	スケールの大きな北海道ガーデンです。広大な自然の中に、美しい北海道ガーデン、現代アート、山羊舎、チーズ工房があり、アクティビティではセグウェイの試乗やガイド付きのツアーなどができます。	実施団体・施設所在地に同じ		シーズンにより異なる(例:2016年度 4月29日～6月30日 9:30～17:00 7月1日～8月31日 9:00～17:00 9月1日～11月3日 9:30～16:00)	シーズンにより異なる(例:2016年度 開園期間/2016年4月29日(金)～11月3日(木))	開園期間は基本無休 ※天候により閉園あり	有限会社ランランファーム	北海道清水町羽帯南10線	0156-63-3000	0156-63-3031	http://www.tmf.jp/	
清水2	十勝千年の森	セグウェイ体験 ※年齢・体重制限あり	自然体験		実施団体・施設所在地に同じ			8,800円							
清水3	あすなるファーム	バターづくり体験	食品加工体験	ポイントは気合いと根性で降り続けるのみ！瓶の中の生クリームがバターに変化していく様子が見えて、視覚と手から伝わる感覚で楽しめる。遺伝子組換え飼料を与えず、科学肥料や農薬を使わない広々とした放牧地で育てた牛から搾った生乳をもとにつくった生クリームが原料です。	実施団体・施設所在地に同じ	受付時間/8:30～17:30	通年	要問合せ	年中無休	(有)あすなるファーム	清水町清水第4線65番地	0156-62-2277	0156-62-7213	http://asunaro-farming.co.jp	
芽室1	芽室町中央公民館ほか	高齢者学級めむろ柏樹学園	学習体験や趣味の交流	毎月の学習日のほか、学園祭や修学旅行もあり、高齢者の皆さんの生きがいづくりの場となっています。	実施団体・施設所在地に同じ	毎月1～2回(午前2時間、午後2時間)	毎年5月～翌3月	9,000円/年	要問合せ	芽室町教育委員会	芽室町東3条3丁目1番地	0155-62-9730	0155-62-7037	http://www.memuro.niet/guide/15guide/15402.htm	
芽室2	JAめむろ農畜産物加工調理体験施設「緑のめくみ館」	地元の食材を使った料理や加工品の製造体験	料理教室 食品加工体験	芽室町の食育の拠点として安心安全な食材を使った料理や加工品の製造が体験でき、手作りの楽しさ、食材としての地産産の良さを理解してもらおうとともに、生産者と消費者が交流できる場になることを目的としています。施設にはパン・ケーキ・豆腐・みそ・ソーセージなどをつくる機材が揃っています。5月～10月の期間は、地産産食材を使用した料理講習会、親子料理教室を開催しています。	実施団体・施設所在地に同じ		午前9時～午後4時(片付け、清掃を済ませること) ・通年利用可、指導員あり、施設利用料あり ・詳しくはお問合せ下さい。	通年	内容によって異なる。	JAめむろ	芽室町東めむろ3条南1丁目1めむろのり～む内(営業棟裏隣)	緑のめくみ館(0155-62-9339) JAめむろ農畜産物 常務情報課(0155-62-2313)			JAめむろホームページ(ja-memuro.or.jp)にて料理講習会開催案内掲載

No	提供者	体験メニュー名	体験内容	体験メニュー案内	実施地域・場所	営業時間	実施期間	金額	休日	実施団体・施設	所在地	TEL	FAX	HP	
中札内1	文化連盟事務局	文化・芸能体験	茶道、郷土芸能など所属する団体による	中札内村では幅広い種類の文化団体が活動しており、平成28年4月現在では茶道や郷土芸能といった18団体209名が中札内文化連盟に加盟しています。	実施団体・施設所在地に同じ	内容、所属団体により異なる。詳細はHPへ。	内容、所属団体により異なる。詳細はHPへ。	内容、所属団体により異なる。詳細はHPへ。	要問合せ	中札内文化連盟	河西郡中札内村東4条南6丁目1番地 中札内文化創造センター内	0155-67-2929	0155-67-2563	http://www.vill.nakasatsumai.hokkaido.jp/kyoiku/bunkagegutsu/bunkaermei_kamei.html	
中札内2	中札内文化創造センターなど	ポロシリ大学(高齢者大学)	スポーツ交流 学習講座 地域交流など	毎月1回の定例授業とクラブ活動に参加することができます。定例授業では、子ども達や他市町村との交流、レクリエーションや保健福祉などの講義を受けることができます。またクラブ活動が7つ(舞踊、書道、陶芸、大正琴、コーラス、スポーツ)あり、元氣よく笑顔いっぱい活動しています。	実施団体・施設所在地に同じ	教育委員会(8:30~17:15)	4月~3月(毎月1回の定例授業とクラブ活動)	2,000円/年	土日	中札内村教育委員会(ポロシリ大学)	河西郡中札内村東4条南6丁目1番地	0155-67-2929	0155-67-2563	http://www.vill.nakasatsumai.hokkaido.jp/	
更別1	更別村農村環境改善センター 更別村社会福祉センター	水中ウォーキング、スタンドグラス体験など	開催される内容による	更別村の高齢者が、健康で明るく生きがいのある日々を送るために、学習や実習を通して仲間づくりの中から心身の安定を図り、社会の一員としての自覚を深める。内容は村民希望者に様々な講座を開催している。	実施団体・施設所在地に同じ		毎月2回(第2・第4水曜日)		要問合せ	要問合せ	更別村教育委員会 更別村末広学級	河西郡更別村字更別南2線96番地11	0155-52-3171	0155-52-3173	http://www.sarabetsu.jp/
更別2	十勝さらべつ熱中小学校	講義の開催、地域の人材育成・異業種間交流、地域間交流、特産品開発	学習講座	熱中小学校は、自分の力や思いを大きく膨らませることができる場所です。各業界から講師を招き、最先端のビジネスに関する知識やノウハウを学ぶことができます。また、想いのある個人同士、一緒にアクションを起こす仲間作りができる場を提供しています。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~17:00	1期=半年ごとに開校されます。生徒募集も半年に一度です。2017年度は上期4月~9月、下期10月~3月で開校します。原則として、毎月1~2回、土曜日に2限ずつ開催します。		年末年始	一般社団法人 北海道熱中開拓機構	更別村南1線93-38	0155-66-4554	0155-66-4555	http://www.necchu-hokkaido.com/	
大樹1	大樹町生涯学習センター	大樹町こびき大学	趣味の交流 文化学習など	毎月2回、町内の高齢者を対象に大樹町生涯学習センターで「こびき大学」を開講しています。大樹町在住の60歳以上の方なら誰でも入学可能で、現在77名のこびき大生が入学しています。大学には写真学部、料理学部、ダンス学部、陶芸学部などの様々な学部があり、それぞれ専門の講師を招き、文化芸術を楽しむ学んでいます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~22:00	年中		年末年始、ホールのみ月曜日(月曜が祝日の場合その翌日)	大樹町教育委員会 社会教育課	広尾郡大樹町双葉町6番地1	01558-6-2133		http://www.town.taki.hokkaido.jp/soshiki/s_hakai_kyoku/shakai_kyoku/shisetsu_gakusy_u_center.html	
大樹2	インカルシベ白樺	森の生活体験	自然体験など	センターハウスとコテージで宿泊することもでき、白樺林に囲まれてのんびりと過ごいただけます。自然の中で季節に合わせて白樺樹液の採取やスノーシュー・収穫した作物の料理など様々な体験が可能です。	実施団体・施設所在地に同じ		通年		要問合せ	要問合せ	有限会社インカルシベ白樺	大樹町南106-1	01558-6-3824	01558-6-3857	http://www.netbeetn.jp/sirakaba/
広尾1	ファームイン望風林	ファームイン	酪農体験 収穫体験 自然体験	地元のカラマツでつくられたバリアフリーのコテージ。豊かな自然や資源を感じながらのんびりと農村体験ができます。	実施団体・施設所在地に同じ	随時	通年		無休	有限会社岡田牧場	広尾町字数別852-1	090-9524-3044		https://www.bouhurn.com/	
幕別1	井田牧場	牧場体験	酪農体験 食品加工体験	酪農教育ファーム認証を受けている牧場です。乳牛の搾乳体験や、実際に絞った牛乳でアイスクリーム作りを体験できます。	実施団体・施設所在地に同じ	要相談	要問合せ		6/15~7/15(繁忙期)	井田牧場	幕別町忠類東宝141	01558-8-2933		http://www.makubetsu.jp/kankobussan_kyo_kai/	
幕別2	うらがみミート	ソーセージ作り体験	食品加工体験	忠類地域唯一の肉屋さんです。昔ながらのソーセージ作りが体験できます。燻煙用の薪割りもできます。	実施団体・施設所在地に同じ	要相談	要問合せ		要問合せ	不定休	うらがみミート	幕別町忠類白銀町213	01558-8-2211		
幕別3	ノースポール・ステイブル ヒルカワ	乗馬体験(ホーストレッキング)	乗馬体験	引き馬から本格的なホーストレッキングまで「馬で遊べること」なら何でも体験可。(要予約)	実施団体・施設所在地に同じ	要相談	要問合せ		要問合せ	不定休	ノースポール・ステイブル ヒルカワ	幕別町忠類共栄161-3	01558-9-8700		
幕別4	忠類工房&ミニ牧場いがらし	糸紡ぎ体験	手芸体験	木製の機械を使って綿羊の毛から1本の糸を作り出す「糸紡ぎ体験」。ポニーや羊たちとの触れ合いも楽しめます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~16:00	要問合せ		要問合せ	不定休	忠類工房&ミニ牧場いがらし	幕別町忠類南町104-1	090-9082-2530		
幕別5	ナウマン象記念館	ナウマン象関係の展示物の見学	文化・歴史体験	昭和44年に旧忠類村でナウマン象の化石が発見されました。記念館では当時資料をあげての大発掘作業の様子や迫力の全身青銅復元模型などを展示しています。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~17:00	通年	300円	火曜日(祝日の場合は開館・翌水曜日休館) 年末年始	ナウマン象記念館	幕別町忠類白銀町369番地の1	01558-8-2826	01558-8-2826		
池田1	主に池田町田園ホール	池田町シニアカレッジ 遊ゆう大学	学習講座など	町内在住の60歳以上の方を対象に年間10回程度の授業を開催しています。授業では毎回講師を招き、「文化」「経済」「行政」「福祉」「健康」など、広く一般教養を学習しています。大学祭等のイベントもあります。また、在校生が自主的にクラブを組織し、和気あいあいと楽しく活動を行っています。	実施団体・施設所在地に同じ	8:45~17:30	通年(年に10回程度、授業を実施)		土日祝日	池田町教育委員会 教育課 社会教育係	中川郡池田町字西1条7丁目11番地	015-572-5222	015-572-5900		

No	提供者	体験メニュー名	体験内容	体験メニュー案内	実施地域・場所	営業時間	実施期間	金額	休日	実施団体・施設	所在地	TEL	FAX	HP	
池田2	いきがセンター	陶芸	陶芸体験	高齢者に必要なのは手厚い介護ではなく「いきがい」のある生活という考えで開始した事業。昭和47年から44年間続いている池田町内で採取した粘土を復元し行う陶芸教室。作品はワイン城等で販売し、売り上げを町と本人で折半する。4月から10月まで開催。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~15:00	4月~10月	1,000円/月	金・土・日	池田町役場保健福祉課	中川郡池田町字利東町18番地の1	015-572-3153			
池田3	ワイン城	ワイン城ガイドツアー	学習体験	ワイン城の隠れた魅力を感じ、十勝ワインをさらに身近に感じて頂くための案内を行っております。 ・1回:20分 ・毎日3回(11:30~、13:30~、14:30~)	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~17:00	毎日3回(11:30~、13:30~、14:30~) ※10月第1日曜日(ワイン祭り当日)、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆時期等は休み	無料	年末年始	池田町観光協会	中川郡池田町字清見83	015-572-2286	015-572-2250	http://www.kankou-keda.com/	
豊頃1	える夢館	英会話教室	学習体験	英会話に興味のある者が集まりAET ジャネットさん(カナダ出身)を講師にフリートークで交流しています。移住者の参加者もいるので移住後の情報を共有することができます。	実施団体・施設所在地に同じ	19:00~21:00	毎週水曜日(講師の都合により不定期に休講する場合があります)	詳細については要問合せ。	開催日以外	英会話同好会	中川郡豊頃町茂岩本町166番地	015-579-5801			
豊頃2	二宮報徳館	郷土学習	文化体験	豊頃町の町づくり、人づくりの礎となっている『報徳のおしえ』について学ぶことができます。 ※報徳のおしえとは二宮尊徳が提唱した『至誠』『勤勞』『分度』『推譲』のおしえです。	実施団体・施設所在地に同じ	10:00~16:00	4月~11月	詳細については要問合せ。	土日、祝祭日	豊頃町教育委員会	中川郡豊頃町二宮2460番地	015-579-5801			
豊頃3	茂岩山自然公園管理棟	陶芸	陶芸体験	自分だけの陶芸品を作成できます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~15:00	毎週月曜日、火曜日	詳細については要問合せ。	不定期	茂岩ねんどクラブ	豊頃町茂岩60番地1	015-579-5801			
本別1	農産物ものづくり館(ゲンキキッチン)	料理・食品加工体験(研究・講習)	食品加工体験	「豆のまち・本別町」の「豆」や「小ま」などの地場産品を使い、新商品開発や加工技術研究のほか、たくさんの調理技術を学ぶことができる料理講習など、相談に応じて体験が可能です(有料)。	実施団体・施設所在地に同じ	原則 午前9時~午後10時	食品加工・料理講習会:月2回程度実施	詳細については要問合せ。	土・日曜日及び国民の祝日に関する法律に関する休日	本別町	中川郡本別町北3丁目1番地1	0156-22-6688	0156-22-6688	www.town.honbetsu.hokkaido.jp	
本別2	本別町図書館(担当部局)	本のまち夢づくり講演会	学習体験	毎年読書の秋に開催する、作家、絵本作家、児童文学者などによる講演会を実施しています。	実施団体・施設所在地に同じ	平日 9:00~17:15、 土日開館日 9:00~15:00(開館時間)	10月上旬~中旬(H27実績:10月2日 18:30~、H28実績:10月18日 18:30~)	無料	第2・4・5日曜日、祝祭日、年末年始、特別整理期間	本別町図書館	本別町図書館:中川郡本別町北2丁目	0156-22-5112	0156-22-5112		
本別3	本別町歴史民俗資料館(担当部局)	資料館企画展	歴史・文化学習	7月~8月の企画展「7月15日本別空襲を伝える」をはじめ、年2~3回の展示会を開催している。収蔵資料を中心に地域の歴史、自然、産業、文化からテーマを選定。展示関連講座やワークショップを実施しています。	実施団体・施設所在地に同じ	平日 9:00~17:00、 土曜日 9:00~15:00 ※企画展により変更する場合があります	通年	詳細については要問合せ。	日曜日、祝祭日、年末年始 ※企画展準備期間は休館する場合があります	本別町歴史民俗資料館・中川郡本別町北2丁目	本別町歴史民俗資料館:中川郡本別町北2丁目	0156-22-5112	0156-22-5112		
本別4	提供内容によって異なる	ママに前講座	希望内容による学習	自ら考え、行動する人達への支援をおこなっています。町民や団体、町職員が講師になって少人数グループなどに美術や民謡から暮らしに関わる知識の習得に関する講座まで様々なメニューを揃えています。受講グループはもちろん、講師となる「まちの先生」も随時募集中。	実施団体・施設所在地に同じ	通常9:00~17:00までの2時間を目安に実施	年間を通じて実施	詳細については要問合せ。	土日祝日	窓口:本別町企画振興課(講師は町民や団体、町職員)	本別町北2丁目4番地1	0156-22-8121	0156-22-3237	http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/living/cat6/post_29.html	
足寄1	足寄動物化石博物館	化石体験 ミニ発掘	学習体験	いろいろな道具を使って、石の中から本物の化石(アンモナイトや三葉虫など)や、鉱物(水晶やルビー、ラピスラズリなど)の結晶を掘り出します。掘り出したものは持ち帰ることができます。開館中は予約不要でいつでも体験が可能です。	実施団体・施設所在地に同じ	9:30~16:30	開館中は常時体験が可能	400円	毎週火曜日、祝日の場合はその翌日、12月30日~1月6日は休館	足寄町動物化石博物館	北海道足寄郡足寄町郊南1丁目29番25	0156-25-9100	0156-25-9101	http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp/	
足寄2	足寄動物化石博物館	レプリカづくり体験	学習体験	アショアやデスモステルスの日蝕、アンモナイト、三葉虫などの化石を調べながら、化石の石膏レプリカづくりを楽しむことができます。	実施団体・施設所在地に同じ	9:30~16:30	開館中は常時体験が可能	200円	毎週火曜日、祝日の場合はその翌日、12月30日~1月6日は休館	足寄町動物化石博物館	北海道足寄郡足寄町郊南1丁目29番25	0156-25-9100	0156-25-9101	http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp/	
陸別1		気動車運転体験	趣味の体験					2,000円~							
陸別2	ふるさと銀河線りくべつ鉄道	気動車乗車体験	趣味の体験	平成18年に廃線になったちほく高原鉄道ふるさと銀河線で使用されていた、本物の気動車の運転体験ができる施設。	実施団体・施設所在地に同じ	9:00~16:30(受付は16:00まで)	4月下旬~10月下旬	300円	火曜日・水曜日	陸別町商工会	〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線69-1	0156-27-2244	0156-27-2791	http://rikubetsu-railwayjindo.com/	
陸別3		足こぎトロッコ体験	スポーツ体験					300円							

No	提供者	体験メニュー名	体験内容	体験メニュー案内	実施地域・場所	営業時間	実施期間	金額	休日	実施団体・施設	所在地	TEL	FAX	HP
陸別4	りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)	プラネタリウム、観望会	自然体験	日本最大級の115cmの反射望遠鏡を備える公開天文台です。1階展示室では、銀河の森、オーロラ、宇宙の美しい天体展示、宇宙探検コンピュータや70インチ大型モニターによる宇宙の体験学習ができます。2階は大 型望遠鏡ドーム、小型望遠鏡観望室、大勢の人が星空を楽しめる屋上広場となっています。	実施団体・施設所在地に同じ	4月～9月/14:00～22:30、10月～3月/13:00～21:30	休日以外	300円(入館料)～	月曜日・火曜日/5月第3週月曜日～第4週金曜日(望遠鏡メンテナンスのためお休みとなります) ・12月30日～翌年1月5日まで ・ただし5月3～5日、8月14～16日は、日	りくべつ宇宙地球科学館	陸別町宇遠別	0156-27-8100	0156-27-8102	https://www.rikubetsu.jp/tenmon/
浦幌1	パラグライディング十勝	パラグライダー タンデム体験など	スポーツ体験	北太平洋に面する十勝太を拠点に開催しています。十勝だから感じる圧倒的なスケール感。ぜひ肉眼で素晴らしい景色を堪能してください。	実施団体・施設所在地に同じ	10:00～16:00	4月～10月	10,000円	なし	パラグライディング十勝	浦幌町昆布刈石 十勝太パラグライダー基地	090-3773-9138	0155-32-6660	http://tokachi-tnp.com/
浦幌2	町立博物館	知っとこ！うらほろ、浦幌の近代化遺産、豊北植物調査会、K-Pgの森を歩く、古文書教室、資料を磨く会	文化学習 自然体験等	浦幌の自然、歴史、生活、文化を大きな6つのコーナー(自然からのメッセージ、アサギの世界・石器と土器の文化、十勝浦幌の自然誌、アイスノクらし、十勝浦幌のあゆみに分けて展示しています。また、周辺地域の遺跡や植物調査会など行っています。	実施団体・施設所在地に同じ	10:00～17:00	要問合せ	入館料無料 展示以外の催しについては要問合せ。	月曜日(祝日の場合はその翌日)、国民の祝日の翌日(ただし、土曜日、日曜日及び国民の休日に当たるときを除く)、年末年始	浦幌町立博物館	浦幌町字桜町16番地1(浦幌町教育文化センターらほろ21内)	015-576-2009	015-576-2452	
浦幌3	うらほろ観光おもてなし協議会	浦幌町での各種ツアー・体験	収穫体験等	1.初日の出&初詣ツアー(太平洋を眼下にしてみのご来光を眺めます) 2.秋の野菜収穫体験 3.満天の星空観望会(開催時期によって星座の位置が違います)	実施団体・施設所在地に同じ		初日の出&初詣ツアー1月1日、秋の野菜収穫体験10月上旬、星空観望会11月又は2月に開催	要問合せ	要問合せ	うらほろ観光おもてなし協議会	十勝郡浦幌町字本町100番地(浦幌町商工会内)	015-576-2186	015-576-2180	浦幌町商工会HP (http://www.tokachi-jp.com/)に事業を掲載